

決算に係る主要な施策の成果

平成24年度

伊勢市

目 次

○ 決算に係る主要な施策の成果

一 一般会計

議 会 費	1
総 務 費	2
民 生 費	18
衛 生 費	37
労 働 費	49
農 林 水 産 業 費	52
商 工 費	60
観 光 費	64
土 木 費	72
消 防 費	89
教 育 費	98
災 害 復 旧 費	121
公 債 費	122
国民健康保険特別会計	123
後期高齢者医療特別会計	126
介護保険特別会計	127
観光交通対策特別会計	132
都市計画税の充当状況	135
費目別不納欠損の状況	136

主要な施策の成果

【一般会計】

(款) 1. 議会費 (項) 1. 議会費 (目) 1. 議会費

(単位 千円)

予算現額 361,796 千円
 決算額 357,809 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				357,809

議会事務局

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 政務調査費	6,952	市議会各会派の市政に関する調査研究を推進し、議員活動の充実を図るため、月額30,000円に会派構成議員数を乗じた額を会派に対して交付した。 なお、必要経費を支出した後、残余がある会派からは、当該残余額の返還を受けた。 (政務調査費は、平成25年度から政務活動費に変更)	109
2. 議会広報経費	9,021	○「いせ市議会だより」発行 市議会活動を市民に広報するため、「いせ市議会だより」を発行、各戸配布した。 年間発行 4回 ○市議会放映 市議会活動を市民に広報するため、市議会本会議と予算・決算特別委員会をケーブルテレビで録画放送した。 会議があった日の翌日午後2時と午後7時からの2回放送 本会議放映 1日2回 延べ23日 予算・決算特別委員会放映 1日2回 延べ12日 ○会議録インターネット配信 市議会本会議の会議録をインターネットを通じて配信し、情報公開の充実を図った。	109

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 1. 一般管理費

(単位 千円)

予算現額 1,980,018 千円
 決算額 1,964,973 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
37	6,133		3,244	1,955,559

情報調査室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 行財政改革推進事業	630	第二次行財政改革大綱実施計画の一つの取組である事業総点検を実施した。事業総点検は、平成23年度から平成25年度にかけてすべての施策事業を点検するものであり、外部委員（行政改革推進委員5名）による外部点検と、情報戦略局による内部点検からなる。外部点検については計4回開催し、17事業を点検した。 (委員報酬) 120,000円	111

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>地域自治推進事業</u>	36,897	「ふるさと未来づくり」を推進するにあたって、各小学校区に「地区担当職員」を配置し、地域自らのまちづくりを支援するとともに、その取り組みに対する地域住民の理解促進と気運の醸成を図った。また、地域リーダー養成のための研修会や市民の自治意識の啓発のための講演会を開催した。 ○平成24年度 10組織（10地区）設立 ・明倫地区まちづくり協議会（H24. 4. 1設立） ・神社地区まちづくり協議会（H24. 5. 29設立） ・修道まちづくり会（H24. 6. 16設立） ・佐八学区まちづくりの会（H24. 11. 1設立） ・大湊町未来づくり委員会（H24. 11. 22設立） ・四郷地区まちづくり協議会（H24. 12. 19設立） ・高城まちづくりの会（H25. 2. 17設立） ・進修まちづくりの会（H25. 2. 24設立） ・浜郷地区まちづくり協議会（H25. 2. 25設立） ・中島学区まちづくり協議会（H25. 2. 27設立） 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 44,146,000円 ・新たなまちづくり講演会 1回開催 ・まちづくり人材養成講座 2回開催 ・ふるさと未来づくり職員研修会 4回開催 ・市民活動補償保険加入料 ・ふるさと未来づくり支援補助金 13組織（14地区） 【過去2カ年度の実績】 平成23年度 13,936,499円（設立済 3組織（4地区）） 平成22年度 11,335,126円（設立済 3組織（4地区）） 【事業を取りまく状況等】 平成27年度の制度開始を目指して、地区みらい会議が14地区に立ち上がり、さらに3地区が設立準備会を立ち上げた（平成24年度末現在）。	111

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 4. 人材育成推進費

(単位 千円)

予算現額 5,608 千円
 決算額 5,337 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			111	5,226

職員課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 職員研修事業	5,337	伊勢市職員としての意識の向上及び必要な知識の習得を図るため、一般研修を行った。また、職員の職務遂行能力を高めるために、専門研修等に派遣した。 (1) 実施実績 ①一般研修(人材育成カレッジ除く) 研修数16回 受講者数 652名 ②一般研修(人材育成カレッジ) 研修数53回 受講者数 1,361名 ③派遣研修 研修数59回 受講者数 122名 (2) 研修評価(受講者自身による評価) ①業務向上度 研修全体 69.8% 一般研修 67.8% 派遣研修 92.6% ②意識向上度 研修全体 58.8% 一般研修 55.7% 派遣研修 94.4%	113

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 6. 広報広聴費

(単位 千円)

予算現額 48,265 千円
 決算額 46,588 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			2,416	44,172

広報広聴課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 広報いせ発行业	23,215	「広報いせ」を毎月1日と15日に発行し、市政の方針や事業計画・各種制度の概要、市の行事予定、市民活動情報などを広く市民に広報し、理解と協力を求めるとともに、市民参画意識の高揚に努めた。	113

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. CATV広報いせ 放送事業	17,360	<p>特集番組とお知らせ番組に分け、地域に根ざした行政情報番組を制作し放送した。</p> <p>特集番組については、地元を中心に活動しているタレントをリポーターとして起用し、分かりやすく親しみをもって見られる番組づくりを行った。また、ケーブルテレビ放送終了後にYouTubeへも掲載し、加入者以外も視聴可能とした。</p> <p>お知らせ番組「伊勢市テレビ広報『絆』」は、行政情報だけでなく、市民活動・ボランティアに関する情報や、市民が参加した行事やできごとの紹介のほか、観光企画課と連携し、河崎在住のカナダ人落語家・桂三輝（かつらさんしゃいん）氏を起用し伊勢の魅力を紹介する新コーナー「桂三輝の『伊勢で一席』」を平成24年6月から放送開始した。</p> <p>また、特別番組として平成24年12月に「認知証サポーター養成講座」を放送した。</p>	113
3. <u>インターネット情報発信事業</u>	3,466	<p>平成24年3月末にホームページをリニューアルし、自動翻訳サービスを利用した外国語対応（英語、中国語、ポルトガル語）、防災行政無線と連携した放送内容の自動掲載やスマートフォンでの閲覧対応、YouTubeを利用した動画での情報配信などを行った。</p> <p>また、利用者にとって、魅力があり、誰もが利用しやすいホームページを構築するため、アクセシビリティ調査に基づく職員研修を開催し、職員の技術向上を行った。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 3,467,000円 ・伊勢市ホームページのシステム使用及び運用管理にかかる経費。 ・トップページ利用件数（平成24年4月1日～平成25年3月31日）…806,508件（67,209件/月）</p> <p>【過去2カ年度の実績】 ・トップページ利用件数（平成23年4月1日～平成24年3月30日）…799,920件（66,660件/月） ・トップページ利用件数（平成22年4月1日～平成23年3月31日）…680,057件（56,671件/月）</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ○平成24年3月末に伊勢市ホームページをリニューアルし、高齢者や障がい者に配慮したホームページとなった。 《リニューアル時に新たに導入した主な機能》 ・音声読み上げ、ふりがな、文字拡大などの機能 ・災害時などの緊急情報提供機能 ・防災行政無線放送内容の自動掲載 ・検索機能の充実 ・地図サイトを活用した情報 ・スマートフォン向けホームページ ・動画配信 ・自動翻訳サービスを利用した外国語対応（英語、中国語、ポルトガル語） ・ブログ</p>	113

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 各種相談事業	2,525	市民からの多様な相談に対応するため、法律・行政・交通事故・登記などの市民相談を実施した。 法律相談については、毎週月曜日に実施し、利用者は331人（1回平均6.5人）であった。	113

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 8. 電算事務管理費

(単位 千円)

予算現額 365,214 千円
決算額 351,969 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,904	8,681			335,384

総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 住民情報システム管理経費	186,079	<p>住民基本台帳、税及び福祉サービス等の基幹システムである総合住民情報システムの保守管理等を行い、システムの安定稼働を図った。</p> <p>また、市税等に関する各種帳票の印刷業務並びに総合住民情報システムの稼働において必要となる各種資料・情報を作成するためのイメージデータの読取業務やデータ入力穿孔業務等について、外部委託を行い、事務の効率化と経費削減を図った。</p> <p>①住民情報システム管理経費 58,202,179円 ②各種帳票及び資料情報等作成経費 91,335,033円 ③住民情報システム更新経費 36,542,100円</p> <p>【当初予算における内容、計画】 ①住民情報システム管理経費 60,342,000円 ②各種帳票及び資料情報等作成経費 140,172,000円 ③住民情報システム更新経費 44,963,000円</p> <p>【過去2カ年間の実績】 平成23年度 496,744,020円 ①住民情報システム管理経費 75,180,975円 (内 繰越明許分 12,421,500円) ②計算処理、各種帳票及び資料情報等作成経費 146,197,213円 ③住民情報システム更新経費 275,365,832円 平成22年度 228,141,623円 ①住民情報システム管理経費 91,503,349円 ②計算処理、各種帳票及び資料情報等作成経費 136,638,274円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・住民情報システム管理経費において、法改正対応等に伴う個別のシステム改修や一部の業務が不要となったこと、住民情報システム更新業務において一部の業務が不要となったこと、等により不用額が発生した。 ・市税等各種帳票及び資料情報等の作成については、委託件数の減による不用額が発生した。 ・今後も、システムの安定稼働を図るとともに、関連業務の推進に努めていく。</p>	115

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 行政情報システム 管理経費	146,827	<p>文書総合管理・財務会計・出退勤・人事給与・グループウェア等の行政情報システム（内部情報系）やインターネットシステム並びにネットワークシステムの賃貸借及び保守管理を行い、各システムの安定稼働を図った。</p> <p>また、平成24年度に保守サポート期限を迎えたインターネットシステム及び行政情報系ネットワークシステムについては、最新の通信技術を利用する中で更新を行い、通信回線の構成見直し、機器の規模適正化等を図り、安定性、経済性並びに津波被害対策を考慮した全庁的なネットワーク環境を再構築した。</p>	115
3. ITセキュリティ 対策事業	14,043	<p>インターネットシステムの再構築において、外部からの不正アクセスを検出・防御する装置やファイヤーウォール等の更新を行うとともに、情報漏洩対策（添付ファイル暗号化）サーバの設置等を行い、外部との情報通信環境におけるセキュリティ対策レベルの向上を図った。</p> <p>その他、ウイルス対策ソフトの更新等を行い、市民の大切な情報資産の安全管理と情報セキュリティの向上を推進した。</p>	115

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 9. 企画費

(単位 千円)

予算現額 10,372 千円
 決算額 8,399 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				8,399

情報調査室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 情報調査一般経費	2,253	<p>全庁的な行財政情報の効率的な収集方法として行財政情報サービスを利用した。また、公共施設の課題・問題点について、整理した情報を分かりやすくまとめた公共施設マネジメント白書を発行した。</p>	115

行政経営課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>1. 総合計画推進事業</p>	<p>1,267</p>	<p>平成20～24年度を計画期間とする「みんなのまちの計画（伊勢市総合計画）」の実現を目指し、必要となる取り組みの検討・実践、及び実現状況の確認を行った。 (1) 伊勢市まちづくり市民会議の運営（分科会・運営委員会等の開催） ①自治と行政のしくみ 開催 9回：延べ参加者 52人 ②人権・教育・文化 開催12回：延べ参加者 91人 ③環境 開催12回：延べ参加者119人 ④生活・健康・福祉 開催10回：延べ参加者 92人 ⑤防災・防犯 開催11回：延べ参加者 49人 ⑥産業 開催11回：延べ参加者 77人 運営委員会 開催12回 交流会 開催 1回 全体会 開催 1回 準備委員会 開催 8回 (2) 市民アンケート 計画に定める指標の現状の値を把握するため、市民を対象としたアンケート調査を行った。 期 間：平成24年8月6日～平成24年8月31日 対象者：市内在住の15歳以上の方から無作為抽出4,000名（1,000名×4種類） 調査票： 「生活・健康・福祉」、「防災・防犯＋交流都市基盤」 「人権・教育・文化＋環境」、「自治と行政のしくみ＋産業」 回答率：41.9%（回収数 1,677通）</p>	<p>115</p>
<p>2. 首都圏情報発信事業</p>	<p>2,710</p>	<p>企業誘致・観光誘客等の推進及び医師の確保等を目的とし、首都圏における情報発信・収集機能を強化するため、首都圏において特命員を配置している。特命員の活動により形成される、首都圏の企業、団体、個人等による人的ネットワークを活用し、企業訪問・観光誘客宣伝・医師確保に伴う情報収集等を行った。 ○活動日数：238日（面談数：626回） ○職員に同行した企業等訪問：38社（49回） ○特命員の紹介による『ふるさと納税』：申込7件 ○「外国人観光誘客セミナー」（観光企画課）、「伊勢市企業立地セミナー ～産業人交流会 in 東京～」（産業支援課）の開催に向け、参加者との連絡調整等を行った。 ○市立伊勢総合病院の医師招聘及び奨学基金に係る取組において、病院のPR、医師に関する情報提供及び関係者との面会時における調整等を行った。</p>	<p>115</p>

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 10. 市史編さん事業推進費

(単位 千円)

予算現額 18,303 千円
 決算額 16,263 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			12,681	3,582

文化振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市史編さん事業	16,263	『第四巻 近代編』を平成24年6月に刊行し、『第三巻 近世編』を平成25年2月に刊行したことにより、全8巻の刊行を終了した。	115

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 11. 男女共同参画推進費

(単位 千円)

予算現額 1,935 千円
 決算額 1,908 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	216		20	1,672

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 男女共同参画推進都市事業	1,522	主に市民の意識啓発のための取り組みを、公募市民で組織する「男女共同参画れいんぼう伊勢」に委託し、協働して実施した。また、市民、事業所へのアンケート調査を実施し、その結果を踏まえ、男女共同参画社会の実現に向け、総合的・計画的に施策を推進するため「第2次基本計画」を作成した。 主な取り組み (1) パートナーの日啓発講演会 (2) 三重県内男女共同参画連携映画祭 (3) イクメン講座パパスクール(3回シリーズ) (4) 縁結び応援事業 (5) 家事マイスターをめざそう! (6) 伊勢まつりでの啓発	117

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 18. 財産管理費

(単位 千円)

予算現額 592,409 千円
 決算額 210,537 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		64,500	1,540	144,497

管財契約課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 庁舎等整備経費	21,073	東庁舎設備改修工事設計業務委託 老朽化による空調及び照明等の改修工事に伴う設計業務委託を行った。	119
2. 庁舎耐震改修事業	43,646	<p>庁舎を安全に長期利用していくと共に災害時においても市役所としての機能を維持し、迅速な災害対応を行っていくため必要な耐震補強工事設計業務委託及び耐震補強工事を行った。</p> <p>(1)本館耐震補強工事設計業務委託 3,591千円 (2)本館耐震補強工事 40,045千円</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 51,526千円 ・設計業務委託 5,126千円 ・耐震補強部材取付工事 30,000千円 ・回廊手すり取替工事 8,000千円 ・階段壁改修工事 8,400千円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・階段壁のコンクリートブロックの解体を予定していたが、詳細調査の結果コンクリートブロックの倒壊の恐れがないことが判明したため、解体を中止し、化粧珪酸カルシウム板貼りに変更した。</p> <p>・本事業施行後、本館のIs値は0.72から0.80となり、目標Iso値0.75を上回った。</p>	119
3. 庁舎津波浸水対策事業	3,304	エネルギー棟新築工事設計業務委託 三重県より発表された東海・東南海・南海3連動地震による津波の予測図に基づき、浸水による本庁舎の停電予防対策を主としてエネルギー棟を本館北側に新設し津波浸水に備えるため設計業務を委託した。	119

二見総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 庁舎等整備経費	5,998	<p>光の街コミュニティセンター裏山からの流水を側溝整備等により管理することで、施設の維持向上と緊急避難場所としてのエリアを確保した。</p> <p>・側溝整備工事 4,668千円 ・防護柵設置工事 1,260千円 ・裏張コンクリート工事 70千円</p>	119

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 20. 市民交流推進費

(単位 千円)

予算現額 72,007 千円
 決算額 66,017 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			5,783	60,234

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 市民活動促進事業	13,360	平成16年4月に公設公営でいせ市民活動センターを稼動し、同年7月には、指定管理制度を導入して公設民営で稼動。平成24年度から第4期目(5カ年)の指定管理者を特定非営利活動法人いせコンビニネットに選定し管理運営を行った。 平成24年度指定管理料 12,352,000円	121
2. コミュニティ助成事業補助金	5,700	(財)自治総合センターからの助成金を財源とし、コミュニティ組織である自治会に補助金を交付した。 交付決定団体は4自治会	121
3. 元気なまちづくり協働事業補助金	8,540	市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が各地域において主体的に取り組む事業に対して、補助金を交付した。 交付決定団体は141自治会	121
4. <u>活性化活動事業補助金</u>	1,457	市内で活動する地域グループや活動団体が、元気で活気溢れる地域づくりに貢献し、市民自治の担い手としての活動を継続的に続けられるよう、その経費の一部を補助した。 【申請団体数】19団体、【交付団体数】14団体 【交付金額】1,400,000円(100,000円×14団体) 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 1,494,000円 ・補助金 1,400,000円(100,000円×14団体) ・審査会・報告会 各1回開催 ・審査員 6人 【過去2カ年度の実績】 平成23年度 800,000円(100,000円×8団体) 平成22年度 600,000円(100,000円×6団体) 【事業を取りまく状況等】 年度によって申請団体数にばらつきがみられる。 新たな市民活動団体の支援につながるよう、中間支援組織等へも周知を強化する予定。	121
5. 伊勢のまつり開催事業	6,583	市民が「見て」、「参加して」楽しめる行事を通じて、市民の一体感の醸成を図るとともに市民文化の向上に寄与し、ふるさとづくりの推進を図ることを目的とした「伊勢まつり」を開催した。 平成24年度は総勢68団体の代表者等からなる実行委員会により企画・運営を行った。 【開催日】平成24年10月6日(土)、7日(日) 【会場】高柳商店街周辺～県道鳥羽松阪線～伊勢市駅周辺 【参加団体数】214団体(6,704人) 【観客数】約15万人	121

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 21. 自治区振興費

(単位 千円)

予算現額 137,980 千円
 決算額 137,837 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				137,837

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 地区連絡員事業	101,893	行政の運営を円滑に且つより効果的に行うため、市内に地区連絡員(177人)を配置し、行政情報等の伝達を行った。 (1)市の広報紙等の配付(各月2回) (2)その他市長が特に必要と認める職務	頁 123
2. 区長謝礼事業	7,270	市内173自治会の活動について、行政委員等その候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を交付した。	123
3. 振興助成金事業	27,244	地域における自治活動を支援・推進するため市内173自治会に助成金を交付した。	123
4. 総連合自治会運営補助金	1,430	伊勢市総連合自治会に加盟する163自治会の事業活動を支援するため補助金を交付した。	123

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 22. 国際交流事業費

(単位 千円)

予算現額 1,253 千円
 決算額 1,188 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			85	1,103

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 国際交流推進事業	807	<p>○外国人住民の防災意識の向上を図るため、県の作成している「防災ガイド」中国語版、ポルトガル語版、英語版、タガログ語版、スペイン語版、韓国語版の全戸配布を行った。</p> <p>○伊勢市国際交流協会を通じ、国際交流の趣旨普及、情報提供、講演会・交流会の開催及びボランティア活動の推進に努めた。また他団体とも協力し、国際交流のまちづくりを推進した。</p> <p>○三重県市町多文化共生ワーキングに参加し、県内各市町の多文化共生に関する施策について意見交換を行った。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 1,259,000円 ・伊勢市国際交流協会補助金 650,000円 ・日伊国際交流プロジェクト 150,000円 ・出張旅費（三重県市町多文化共生ワーキング等） 34,000円 ・外国人向け防災ガイド等作成・郵送他 365,000円 ・表敬訪問時等記念品費 60,000円</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成23年度 732,720円 ・記念品 53,400円 ・出張旅費 26,320円 ・防災研修用飲料水 3,000円 ・伊勢市国際交流協会補助金 650,000円 平成22年度 674,420円 ・出張旅費 24,420円 ・伊勢市国際交流協会補助金 650,000円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 平成23年度から、在住外国人全世帯への防災ガイド等の配布を行っている。平成24年度は県の作成している防災ガイドを郵送した。 今後も、防災ガイドをはじめとする生活ガイド等の翻訳資料を随時作成、修正を行い、在住外国人などへの配布を行う必要がある。</p>	頁 123
2. 全米桜フェスティバル親善訪問事業	381	<p>平成24年は伊勢にゆかりのある尾崎弔堂がアメリカに桜を贈ってから100周年の年で、市長が全米桜フェスティバルに参加し、神宮式年遷宮等の伊勢のPRを行った。</p>	123

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 23. コミュニティセンター費

(単位 千円)

予算現額 18,136 千円
 決算額 14,968 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,183			795	12,990

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 地区コミュニティセンター防災対策事業	2,366	震災時等に避難所となる地区コミュニティセンターのガラス面への飛散防止フィルム等の貼付け工事を行った。 【施工費】2,365,650円(国補助率50%) 【施工施設】大湊・豊浜・北浜・浜郷地区コミュニティセンター	頁 123

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 24. 防犯活動推進費

(単位 千円)

予算現額 55,007 千円
 決算額 46,043 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,040				45,003

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 防犯啓発事業	4,408	「伊勢市防犯活動の推進に関する条例」の目的を達成するため、地域安全活動を推進した。 ○地域安全講習会の開催 各自治会・老人会等を対象に地域安全講習会を精力的に開催して、防犯意識の高揚と自主的な防犯活動の啓発に努めた。平成24年度の講習会開催状況は、次のとおりである。 平成24年度 21回 560名参加 ○街頭啓発活動の実施 振り込め詐欺及び街頭犯罪被害防止のため、伊勢警察署員及び伊勢度会地区生活安全協会職員と街頭啓発に努めた。平成24年度の実施状況は、次のとおりである。 平成24年度 25回 ○地域安全展の開催 伊勢度会地区生活安全協会と共催で、伊勢まつり会場内に「地域安全展」のコーナーを設け、幼児から高齢者を対象に防犯・暴力団排除意識の高揚に努めた。 日時 ・平成24年10月7日(日) 内容 ・防犯啓発チラシ及び啓発物品の配布 ・似顔絵 ・防犯機器等の展示 ・その他啓発用品の配布	頁 123

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 防犯灯設置等補助金	31,709	<p>夜間の犯罪を防止し、安全な市民生活の確保を図るため、自治会が実施する防犯灯の整備に対して補助金及び助成金を交付した。</p> <p>補助金額 31,709,460円 (16,484灯) 内訳 整備 3,320,850円 (114灯) 修繕 4,428,880円 (3,165灯) LED取替 6,944,130円 (660灯) 電気 17,015,600円 (12,545灯)</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 40,452,000円 (17,355灯) 内訳 整備 4,560,000円 (158灯) 修繕 6,102,000円 (4,068灯) LED取替 14,055,000円 (937灯) 電気 15,735,000円 (12,192灯)</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成23年度 24,931,022円 (16,166灯) 内訳 整備 3,098,710円 (131灯) 修繕 7,118,340円 (4,143灯) 電気 14,047,590円 (11,856灯) 小俣まちづくり協議会LED化推進事業 666,382円 (36灯) 平成22年度 22,869,240円 (15,764灯) 内訳 整備 3,085,080円 (136灯) 修繕 6,244,160円 (3,920灯) 電気 13,540,000円 (11,708灯)</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・自治会の整備等に対し補助を行う制度であり、補助金申請の有無、防犯灯の消耗状態、電気料金の価格変動により、交付決定額を決定するため、予算と差異が生じる。 ・平成24年度から概ね10年計画で、省電力でCO2排出量の削減、長寿命のLED防犯灯への移行を進めている。</p>	125

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 25. 交通対策費

(単位 千円)

予算現額 189,734 千円
決算額 81,976 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,509		132	80,335

交通政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 駐輪場管理事業	2,626	<p>公共の駅前駐輪場の自転車等の長期放置を防止するため、機能喪失長期放置自転車等の整理撤去を行い、美観の確保、駐輪場利用者の利便性の確保並びに道路の安全通行の確保に努めた。</p> <p>平成24年度は、市内駐輪場等で604台の長期放置自転車を撤去した。</p>	125

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. コミュニティバス 運行事業	61,968	<p>コミュニティバスの運行により、現況の鉄道・バス路線網を最大限活用することで、市全体における公共交通体系を構築し、市民生活の利便向上を図った。</p> <p>コミュニティバス運行事業 61,967,890円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス運行業務 53,891,350円 ・コミュニティバスデマンド運行業務 6,521,726円 ・コミュニティバス運行に伴う施設整備費等業務 336,000円 ・コミュニティバス乗込み利用実態調査業務 344,736円 ・その他の経費 874,078円 <p>○利用者数 77,404人 (バス：73,480人、デマンド：3,924人)</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 91,190,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス運行業務 75,742,000円 ・コミュニティバスデマンド運行業務 12,700,000円 ・コミュニティバス運行に伴う施設整備費等業務 1,170,000円 ・コミュニティバス乗込み利用実態調査業務 386,000円 ・その他の経費 1,192,000円 <p>【過去2カ年度の実績】 平成23年度 コミュニティバス運行事業 79,756,509円 ○利用者数：74,964人 (バス：72,094人、デマンド：2,870人※1) ※1 平成23年8月より運行 平成22年度 コミュニティバス運行事業 92,903,030円 ○利用者数：77,004人</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国からの補助金が、事業者へ直接交付されたこと及びデマンド型サービスの運行が、見込みの回数より実績の運行回数が少なかったため、当初予算に比し決算額が減額となった。 ・おかげバスの利用者アンケート及び市民アンケートを実施し、市民ニーズの把握に努めた。 ・高齢化率の増加等により、移動手段をもたない、いわゆる「交通弱者」が今後も増える傾向にあることから、コミュニティバス運行の必要性は高いが、継続していくには、利用者の増加を図りつつ、運行ルートの見直しなどの効率化についても併せて検証していく必要がある。 	125
3. 路線バス運行維持 事業	11,941	<p>廃止路線代替バス、不採算路線バスの運行を維持し、地域住民の交通手段の確保を行った。</p> <p>廃止路線代替バス（玉城線） 6,176,100円 地方バス路線維持費負担（沼木線） 5,765,000円</p>	125

(款) 2. 総務費 (項) 2. 徴税費 (目) 1. 税務総務費

(単位 千円)

予算現額 361,250 千円
 決算額 357,965 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	198,846		12,468	146,651

収 税 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 口座振替事務費	2,023	納税者の利便性向上のため、市県民税(普通徴収)、固定資産税・都市計画税、軽自動車税について、口座振替納付を行なっている。 ・口座振替での収納税額 5,138,982,930円 ・支出経費 金融機関口座振替取扱手数料 1,744,307円 ゆうちょ銀行郵便振替取扱手数料 82,380円 ゆうちょ銀行自動払込取扱手数料 196,400円	127

(款) 2. 総務費 (項) 2. 徴税費 (目) 2. 賦課徴収費

(単位 千円)

予算現額 108,929 千円
 決算額 102,297 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			554	101,743

課 税 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 固定資産評価システム経費	40,544	適正・公平な課税を行うため、以下の業務を行い、その経費を支出した。 ○固定資産土地評価及び地番図・家屋図修正業務委託 24,990千円 土地分合筆、家屋新增築及び滅失等に伴う地番図・家屋図データの更新と固定資産評価システムへの取り込み ○土地鑑定評価(時点修正)業務委託 10,012千円 平成24年評価替え用に決定した鑑定評価額は、平成23年1月1日の価格基準日における評価額のため、地価下落等に伴う変動を反映させ、現状に則した価格とするための時点修正 ○家屋評価計算業務委託 5,305千円 家屋評価計算及び評価情報等データの総合行政情報システムへの連携	127

収 税 課

(単位 千円)

事 業 名	決 算 額	施 策 の 成 果	決算書 頁
1. コンビニ収納経費	4,693	<p>納税者の利便性向上のため、市県民税(普通徴収)、固定資産税・都市計画税、軽自動車税について、コンビニエンスストアでの収納を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストアでの収納税額 820,419,268円 ・支出経費 <ul style="list-style-type: none"> 収納代行手数料 4,276,829円 電話回線使用料 86,109円 システム構築委託料 315,000円 システム器具購入費 15,261円 	127
2. 徴収管理一般経費	38,792	<p>高額滞納者等、整理困難事案を三重地方税管理回収機構へ移管し、徴収率の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移管実績 <ul style="list-style-type: none"> 移管件数 61件 移管総額 80,617,682円 (H24年度移管事業分) ・収納額実績 <ul style="list-style-type: none"> 内訳 59,088,934円 (H23年度移管事案に係る収納額) 22,426,101円 (H24年度移管事案に係る収納額) 36,662,833円 ・負担金 <ul style="list-style-type: none"> 均等割額 100,000円 処理件数割額 8,540,000円 徴収実績割額 7,534,000円 計 16,174,000円 	127

(款) 2. 総務費 (項) 6. 監査委員費 (目) 1. 監査委員費

(単位 千円)

予算現額 31,687 千円
決算額 31,523 千円

決 算 額 の 財 源 内 訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				31,523

監査委員事務局

(単位 千円)

事 業 名	決 算 額	施 策 の 成 果	決算書 頁
1. 工事等技術調査委託経費	101	<p>公共工事の品質の確保・向上に役立てるため、随時監査として工事監査を3件実施した。監査の執行にあたっては、専門知識を有する外部に委託したことにより、監査手法の向上を図った。</p> <p>設計金額1億円以上10億円未満の工事1件、300万円以上1億円未満の工事2件</p> <p>監査実施工事名 伊勢市駅前広場整備工事 観光案内サイン設置工事 豊北漁港護岸改良工事</p>	133

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 1. 社会福祉総務費

(単位 千円)

予算現額 1,239,387 千円
 決算額 1,220,008 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
50,935	358,598		32,555	777,920

生活支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 福祉ボランティア 育成事業負担金	8,821	<p>ボランティア活動事業を推進するため、伊勢市社会福祉協議会が実施するボランティアコーディネーターの配置等福祉ボランティア育成事業に対し支援し、地域住民の福祉ニーズに応じたボランティア団体活動への支援、育成の拡充を図った。</p> <p>【平成24年度】 8,821,260円 ・ボランティアコーディネーター 1名 ・ボランティア団体活動助成 24団体 ・福祉協力校助成 小中高等学校計39校 ・ボランティア活動保険助成 2,490人 ・ボランティア講座・研修会、福祉体験等</p> <p>【平成23年度】 8,381,220円 ・ボランティアコーディネーター 1名 ・ボランティア団体活動助成 23団体 ・福祉協力校助成 小中高等学校計36校 ・ボランティア活動保険助成 2,880人 ・ボランティア講座・研修会、福祉体験等</p>	133
2. 民生委員協議会補助金	11,467	<p>各地区民生委員・児童委員の研修活動及び地域住民における要保護者や老人・母子家庭・身体障がい者などの生活実態を把握するとともに、適切な相談・助言・指導などの福祉活動を行った。</p>	133
3. 福祉健康センター 施設改修事業	17,791	<p>福祉健康センターは竣工後25年が経過し、各設備において老朽化が進んでおり、利用者へのサービスの向上と適正な維持管理に努めるため、トイレ及び通路のストレッチャーガードの老朽化により改修を行った。また、利用者の快適な利用の確保のため、ロビーの照明改修を行った。 (主なもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ及び通路改修 12,721千円 ・ロビー照明改修 4,713千円 	133
4. ハートプラザみそ の等管理事業	43,054	<p>23年度から指定管理者制度を導入し、利用者へのサービスの向上と適正な維持管理に努めた。また、多目的ホールの空調設備について、老朽化に伴い不具合が生じたため、23年度及び24年度で改修を行い、利用者の安全と快適な利用の確保に努めた。 (主なもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度繰越(多目的ホール空調改修) 6,721千円 ・平成24年度指定管理委託 33,464千円 	133

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 社会福祉協議会運営事業負担金	103,402	伊勢市社会福祉協議会を通じて、市民の多様な福祉ニーズに対応したサービスを提供し、地域福祉の推進に努めた。	135

二見総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 老人福祉センター等管理事業	6,523	地域の高齢者や市民に対し、各種の相談業務や健康増進事業及び教養娯楽等のための便宜を図り、明るく生きがいのある生活支援の場として貸し出し施設の維持管理を行った。	133

小俣総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 老人福祉センター等管理事業	834	地域の高齢者をはじめ住民の教養の向上及びレクリエーション等を行うコミュニティの場として設置された施設である小俣老人福祉会館と小俣商工会、度会教育会館の3施設からなる合同会館の維持管理にあたった。	133
2. 保健福祉会館管理事業	10,298	高齢者をはじめ住民の健康増進・教養の向上およびレクリエーション等の場として小俣町内6カ所に設置した保健福祉会館の維持管理にあたった。	133

御菌総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. なごみのやかた管理事業	151	高齢者の福祉活動、健康増進、文化・教養の高揚など介護予防を図る施設として、管理運営を行った。 (年間利用者延人数 3,520人)	135

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 2. 障害者福祉費

(単位 千円)

予算現額 1,958,055 千円
 決算額 1,813,193 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
880,635	438,087		5,060	489,411

障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 障害者地域生活支援事業	98,967	<p>障がいのある人が、その有する能力や適性に応じ自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者自立支援法に基づき、地域生活支援事業を実施した。</p> <p>1. 障害者地域生活相談支援事業 障害者相談支援センターの運営を社会福祉法人へ委託し、訪問、来所、電話等により相談を受け付け、福祉サービスに関する情報提供、ケースマネジメント等を行った。 委託先 社会福祉法人三重済美学院</p> <p>2. 日常生活用具給付事業 在宅の重度心身障がい者（児）等に対し、特殊マット、入浴補助用具等を給付することにより、日常生活の安定を図った。 給付件数 2,283件</p> <p>3. 身体障害者情報保障事業 (1) 手話通訳設置事業 庁内に手話通訳者を配置し聴覚障がいのある人とその他の人の意思疎通を仲介することにより、コミュニケーション支援の充実を図った。 窓口対応件数 182件 (2) 手話通訳者・要約筆記者派遣事業 聴覚障がい者等とその他の人の意思疎通を仲介するために手話通訳者・要約筆記者を派遣することにより、聴覚障がい等がある人の社会参加の向上を図った。 手話通訳者派遣件数 110件 要約筆記者派遣件数 29件 (3) 手話奉仕員養成事業 聴覚障がいや手話に関する基礎的な知識について学び、聴覚障がい者の社会参加を支援する手話奉仕員の育成を目的として手話奉仕員養成講座基礎課程を、また、手話通訳者の増員及び手話通訳者派遣事業の充実を図るため、手話奉仕員ステップアップ講座を開催した。（奉仕員：コミュニケーションがとれるもの） ・手話奉仕員養成講座基礎課程（4月～9月、全30講座） 受講人数 23名 ・手話奉仕員ステップアップ講座（全12回） 受講人数 21名 (4) 点字広報・声の広報発行事業 広報を点字及び朗読することにより、視覚障がい者の情報保障の充実を図った。</p>	頁 135

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. <u>障害者外出支援事業</u>	8,517	1. 重度障害者タクシー料金助成事業 在宅の重度障がいのある人に対し、タクシー料金を助成することにより、社会的活動への参加促進と経済的負担の軽減を図った。また、平成24年度より1乗車につき助成券を3枚まで使用可能とし、より利用しやすいよう制度の変更を行った。 タクシー券利用枚数 11,933枚 2. 重度身体障害者リフトタクシー助成事業 下肢、体幹機能の障がいがあり車いすを利用する方を対象に、リフト付タクシーの利用料金を助成し、社会的活動への参加促進と経済的負担の軽減を図った。 リフト付タクシー券利用枚数 1,184枚 【当初予算における内容、計画】 重度障害者タクシー券利用枚数 10,277枚 重度身体障害者リフト付タクシー券利用枚数 1,224枚 【過去2カ年間の実績】 平成23年度 重度障害者タクシー券利用枚数 9,080枚 重度身体障害者リフト付タクシー券利用枚数 1,283枚 平成22年度 重度障害者タクシー券利用枚数 8,305枚 重度身体障害者リフト付タクシー券利用枚数 625枚 【事業を取りまく状況等】 対象者が増加傾向にあり、また、助成券の利用限度枚数の引き上げ等により、今後も利用枚数は増加する見込みである。	135
3. 障害者生活環境等整備事業	261	1. 心身障害者訪問理美容サービス事業 理・美容院に出向くことが困難な身体に障がいのある人に対し、居家でサービスが受けられるよう出張料相当分を助成した。 支給人数 2人 2. 重度心身障害者紙おむつ等支給事業 重度心身障がいのある人に対し、紙おむつ等の購入に要する経費の一部について、紙おむつ等利用券を支給した。 支給人数 7人	135

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 障害者福祉運営対策経費	74,041	<p>1. 身体障害者福祉センター運営事業 社会適応訓練（パソコン教室等）等を行う身体障害者デ イサービス事業を実施するとともに、身体障害者福祉セン ターを利用する障がいのある人の利便性の向上や、社会参 加を促進するため、身体障害者福祉センターの運営を伊勢 市社会福祉協議会へ委託した。 年間利用人数 1,033人（身体障害者デイサー ビス事業）</p> <p>2. 重度身体障害者デイサービスセンター運営事業 創作的活動又は生産活動の機会の提供、その他の身体機 能又は生活能力の向上のための支援を行う生活介護事業を 実施するため、重度身体障害者デイサービスセンター「く じら」の運営を伊勢市社会福祉協議会へ委託した。 平均利用人数 12.7人</p> <p>3. 障がい者就労支援施設運営事業 雇用されることの困難な障がいのある人に就労・生産活 動の機会を提供するとともに、就労に必要な知識及び能力 の向上のために必要な支援を行う就労継続支援事業を実施 するため、障がい者就労支援施設「ひまわり」、「工房そ みん」、「小俣さくら園」、「御菌しらぎく園」の運営を 伊勢市社会福祉協議会へ委託した。 平均利用人数 ひまわり 11.8人、 工房そみん 11.4人、小俣さくら園 13.8人、 御菌しらぎく園 6.2人</p> <p>4. 自立更生事業補助金 市内の障害者団体に対し、その活動経費を助成し、会員 の自立更生を図った。 助成団体 9団体</p>	135
5. 障害者啓発事業	378	<p>1 2月3日～9日にわたる「障害者週間」の意義を広く 市民に啓発し、ノーマライゼーションの理念を普及するた め、街頭啓発と作品展示を実施した。</p>	137
6. 障害者手当等給付 事業	65,644	<p>在宅で重度の障がいのある人に対し、その障がいによっ て生じる負担軽減を図り、その福祉を増進するため、特別 障害者手当等を支給した。</p>	137

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 障害者自立支援対策臨時特例交付金特別対策事業	13,388	<p>1. 新体系定着支援事業（事業運営安定化事業を含む） 新体系移行後の事業所が事業を円滑に実施するため、経営の改善に関する計画を策定・実施している事業所に対し、従前の月払いによる報酬額の90%を保障し、事業終了後の安定的な事業運営を支援した。 事業費 12,079,432円</p> <p>2. 相談支援体制充実強化事業 基幹相談支援センター事業の新規運営等に当たり、必要な設備整備、事業を発展させるための求人、広告、従業員の研修等を行う者に対し、補助金を交付し、相談支援体制の充実強化を図った。 補助金額 489,000円</p> <p>3. 障害者情報支援基盤整備事業 (1) 携帯型補聴器誘導システムの整備 会議等における聴覚障がい者への情報支援を図るため、携帯型難聴者用磁気ループシステムを整備した。 事業費 334,950円 (2) デイジー図書録音再生機等の整備 視覚障がい者の読書支援等を図るため、デイジー図書録音再生機等を整備した。 事業費 370,650円 (3) 音声認識ソフト（ノートパソコン）の整備 聴覚障がい者の情報保障、窓口業務の円滑化を図るため、音声認識ソフト（ノートパソコン）を整備した。 事業費 113,557円</p>	137
8. <u>障がい者にやさしいまちづくり事業</u>	8,675	<p>1. 障がい者外出支援対策アドバイザー業務 平成22、23年度に実施した市内の公共施設、公共交通機関、商業施設などのトイレ等のバリアフリー調査情報をもとに、現在の状況を検証するとともに、写真、所在地、電話番号等の基本情報を加えた情報を記載した「障がい者外出支援対策トイレマップ」を作成し、市ホームページへ掲載した。 事業費 829,500円</p> <p>2. オストメイト対応トイレ設備整備事業 オストメイト（人工肛門・人工膀胱保有者）の方の社会参加を促進するため、市所管の公共施設にオストメイト対応トイレ設備を整備した。 整備施設 5施設 事業費 6,927,900円</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 15,220,000円 ・障がい者外出支援対策アドバイザー業務委託 ・オストメイト対応トイレ設備整備工事費 整備施設 5施設</p> <p>【過去2カ年間の実績】 平成23年度 ・障がい者外出支援対策アドバイザー業務 829,500円 ・オストメイト対応トイレ設備整備事業 5施設 6,090,000円 ・ピクトサイン設置事業 6施設 21箇所 488,250円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・伊勢市やさしさプランの障がい者サポートプロジェクトとして平成25年度までの3年間でオストメイトの方の社会参加を促進するため、市所管の公共施設へオストメイト対応トイレ設備の整備を計画している。</p>	137

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
9. 障害者介護給付等事業	1,485,141	障害福祉サービス等の利用について、介護給付費等の支給を希望・申請した人に対し、支給決定し給付費の支給を行った。	137
10. 障害者支援施設等防災対策事業	2,436	1. 重度身体障害者デイサービスセンター（くじら）ほか飛散防止フィルム貼付工事 窓ガラス等への飛散防止フィルムの貼付により、地震等によるガラス破損時における通所者の安全確保・避難経路の確保を図った。 事業費 1,564,500円 2. 非常用ポータブル電源の整備 停電等による電源供給停止時においても、扇風機、吸痰器等が使用できる状態を確保するため、ポータブル電源を1台整備した。 事業費 871,500円	137
11. 地域支え合い体制づくり事業	4,771	「三重県おもいやり駐車場利用証制度」開始に伴い公共施設の駐車場におもいやり駐車場区画を確保し、対象区画であることを示すための路面シートを設置した。 設置箇所 129区画	137

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 3. 医療支給費

(単位 千円)

予算現額 771,665 千円
決算額 747,656 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	300,731			446,925

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 障害者医療費支給事業	246,979	身体障害者手帳1級から4級または療育手帳A1からB1の市民で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。 また、精神障害者保健福祉手帳1級で受給資格のある方に対して、通院医療費を助成した。 1 医療費の助成 ・助成額 236,697千円 ・延件数 52,466件 2 証明書料の助成 ・助成額 10,282千円 (うち郵送料 627千円) ・延件数 48,273件	137
2. 65歳以上障害者医療費支給事業	175,067	後期高齢者医療被保険者である身体障害者手帳1級から4級または療育手帳A1からB1の市民で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。 また、精神障害者保健福祉手帳1級で受給資格のある方に対して、通院医療費を助成した。 1 医療費の助成 ・助成額 175,067千円 ・延件数 64,333件	137

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. <u>こども医療費支給事業</u>	212,380	<p>小学校卒業前までの乳幼児等で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。 また、中学生の入院医療費を助成した。 なお、小学生の通院及び中学生の入院にかかる医療費に関しては9月から新たに助成を開始した。</p> <p>1 医療費の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額 190,863千円 (うち小学生通院及び中学生入院分 37,514千円) ・延件数 110,393件 (うち小学生通院及び中学生入院分 20,443件) <p>2 証明書料の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額 21,517千円 (うち小学生通院及び中学生入院分 4,019千円) ・延件数 107,586件 (うち小学生通院及び中学生入院分 20,096件) <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>当初予算額 240,142,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療費の助成 214,109,000円 <p>【内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> 義務教育就学前乳幼児分 158,397,000円 助成対象年齢拡大による増加分 55,712,000円 <ul style="list-style-type: none"> ・証明書料の助成 26,033,000円 <p>【内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> 義務教育就学前乳幼児分 18,222,000円 助成対象年齢拡大による増加分 7,811,000円 <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度 <ul style="list-style-type: none"> 医療費の助成 157,520,567円 (93,057件) 証明書料の助成 18,114,000円 (90,570件) ・平成22年度 <ul style="list-style-type: none"> 医療費の助成 157,342,300円 (95,193件) 証明書料の助成 18,107,400円 (90,537件) <p>【事業を取りまく状況等】</p> <p>少子化の進行に伴い、安心して子育てができる環境づくりが求められるなか、平成24年9月から小学生の通院にかかる医療費と中学生の入院にかかる医療費を新たに助成対象とした。</p>	137
4. 一人親家庭等医療費支給事業	76,743	<p>母(父)子家庭の親及び子、または父母のいない子で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。</p> <p>1 医療費の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額 70,927千円 ・延件数 29,788件 <p>2 証明書料の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額 5,816千円 ・延件数 29,081件 	137

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 寡婦医療費支給事業	18	配偶者と死別し、その時に20歳未満の方を扶養していた、現在婚姻状態にない60歳以上70歳未満の女性で、受給資格のある方に対して医療費の一部を助成した。 1 医療費の助成 ・助成額 17千円 ・延件数 4件 2 証明書類の助成 ・助成額 1千円 ・延件数 4件	137

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 5. 心身障害児通園施設費

(単位 千円)

予算現額 47,986 千円
決算額 47,574 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			19,771	27,803

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. おおぞら児童園運営事業	18,029	障がいをもつ児童の発達の促進と障がいの軽減を図るため、通園による訓練や療育、相談等を行った。 発達療育 延べ1,007人、感覚運動遊び 延べ1,035人 放課後デイ 延べ 718人、作業療法 延べ 712人 言語療法 延べ 433人、相談 延べ 198人 機能回復訓練延べ 14人	139
2. おおぞら児童園管理事業	2,858	おおぞら児童園の施設を維持管理し、通園児の安全かつ快適な施設利用を図った。	139

(款) 3. 民生費 (項) 2. 老人福祉費 (目) 1. 老人福祉推進費

(単位 千円)

予算現額 3,443,143 千円
決算額 3,424,989 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	191,278		84,846	3,148,865

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 老人福祉施設建設等補助金	5,328	利用者の安心・安全を確保するため、地域密着型サービス施設が行うスプリンクラー整備及び自動火災通報装置整備に係る経費に対して補助を行った。 ○スプリンクラー整備 補助件数 2件 ○自動火災通報装置整備 補助件数 2件	141

長 寿 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生きがい活動支援通所事業	4,706	在宅の高齢者で、介護保険で「非該当」と認定された者、又は自立とみなされる閉じこもりがちで虚弱な方々を対象に、デイサービスセンターへの通所により、教養講座・日常動作訓練・趣味創作活動等のサービスを提供することにより、社会的孤立感の解消・心身機能の維持を図るとともに、要介護状態への進行の予防を図った。	139
2. 外出支援サービス事業	14,883	65歳以上のねたきり及び歩行が全介助状態である下肢の不自由な高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な者に対し、移送用車両（リフト付タクシー等）の利用を支援し、高齢者の福祉の増進を図った。	139
3. 軽度生活援助事業	796	老衰・心身の障がい及び傷病等の理由により日常生活の援助が必要な高齢者に対して、軽易な日常生活上の援助を行うことにより、在宅での生活の継続を図った。	139
4. 緊急通報体制等整備事業	5,989	虚弱な一人暮らし高齢者や重度身体障害者に対し、緊急通報装置の貸与を行うことにより、緊急事態発生時に迅速かつ適切に対処できる体制を整備し、一人暮らし高齢者等の日常生活の安全確保を図った。	141
5. <u>老人乗合バス運賃助成事業</u>	22,618	<p>75歳以上の高齢者を対象に、市内全線有効の寿バス乗車券（100円券40枚または1回乗りきり乗車券12枚）を交付し、定期バス乗車運賃の助成を行い、高齢者の外出を容易にして孤立感の解消に努めるとともに、移動に伴う経済的な負担の軽減を図った。</p> <p>寿バス乗車券 交付者数 9,956人 (内訳) 100円券 9,039人 乗りきり券 917人</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 27,367,000円 (75歳以上高齢者数 約20,500人 交付率見込55%)</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成23年度 20,801,931円 (交付者数 9,758人) (100円券 8,992人・乗りきり券 766人) 平成22年度 21,381,069円 (交付者数 9,639人) (100円券 8,999人・乗りきり券 640人)</p> <p>【事業を取りまく状況等】 民間バス会社の路線廃止などの要因もあり、現在三重県内でバスの運賃助成を行っている市町はほとんどない。運賃等使用する路線によって満足度は異なるが、バスを交通手段としている高齢者への外出支援としては一定の効果がある。</p>	141

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. 老人福祉センター 運営事業	1,662	高齢者を対象にした高齢者教室を実施し、利用者の社会参加及び文化活動の促進を図った。また、老人クラブや高齢者サークルへ活動の場を提供し、高齢者の交流、情報収集の拠点となった。平成18年9月より指定管理者による運営となっている。	141
7. 老人クラブ補助金	11,322	伊勢市老人クラブ連合会及び各地区単位老人クラブの社会奉仕活動や健康増進等に対して、補助金を交付し、生きがいの場としてのクラブ活動を充実させた。	141
8. 敬老祝品贈呈事業	1,843	市内に在住する年度末時点で満88歳・100歳の高齢者に対し、敬老と長寿を祝福し、感謝の意を表すため敬老祝品を贈呈した。(最高齢者への贈呈は生涯に1回) 88歳 5,000円相当 630人 100歳 10,000円相当 27人	141
9. 救急医療情報キット 配備事業	24	一人暮らし高齢者等の要援護者に対し救急時の対策として、要援護者に係る情報を救急隊員や病院関係者へ迅速・的確に伝えるため、救急医療情報キットを配備した。	141
10. 老人ホーム入所措置 事業	248,526	おおむね65歳以上の高齢者で、居宅において養護を受けることが困難な者を、養護老人ホームへ入所措置した。 延べ措置人員 養護老人ホーム 1,519人	141
11. 地域支え合い体制 づくり事業補助金	7,964	社会福祉法人や住民組織等による、先進的・パイロット的事業の立ち上げ、見守り活動チーム等の人材育成等を支援する事業に補助金を交付し、高齢者や障がい者等に対する地域における日常的な支え合い活動の体制づくりの推進を図った。	143
12. 地域支え合い体制 づくり事業	2,118	要援護者登録情報や個別支援プラン等を一元的に管理し、汎用的に閲覧等が可能となる要援護者管理システムを整備した。	143

小俣総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 保健福祉会館運営 事業	1,776	地域住民で組織する各保健福祉会館運営委員会において計画する事業の実施及び保健福祉会館を会場に、高齢者を対象とした健康体操教室を開催した。	141

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 1. 児童福祉総務費

(単位 千円)

予算現額 536,240 千円
 決算額 521,406 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,764	149,597	29,300	9,923	328,822

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 児童送迎バス負担金	2,000	へん地にある保育所の児童送迎にかかる負担を軽減するために、社会福祉法人一字郷福祉会みどり保育園の送迎バス運行経費の一部を負担した。	143
2. 子育て支援ショートステイ事業	76	出産、病気等の緊急一時的な理由があるとき、児童養護施設で児童を保護し、経済的理由等で一時的に保護が必要となった母子を母子生活支援施設で保護するため、3施設に事業を委託した。 延べ利用人数 6人 延べ利用日数 10日	143
3. 病児・病後児保育事業	11,460	児童が病気あるいは病気回復期にあるために集団保育が困難である間、当該児童を専用スペースで預かることにより、保護者の子育てと就労の両立支援を行った。 延べ利用人数 752人 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 11,469千円 病気あるいは病気回復期で集団保育が困難な児童の保育を医療機関に委託した。 【過去2ヵ年度の実績】 平成23年度 延べ利用人数 1,141人 平成22年度 延べ利用人数 800人 【事業を取り巻く状況等】 核家族化や女性の社会進出による共働き家庭の増加により、児童の保育施設の需要が高まっている。	145
4. ファミリーサポートセンター事業	8,230	会員間の相互援助活動により、仕事と子育ての両立を図るため一時的に子どもを預かる会員組織である「いせファミリー・サポート・センター」の運営を行った。 年度末会員数 414人 活動件数 1,504件	145

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 放課後児童対策事業	126,745	<p>昼間、保護者のいない家庭の児童（主に小学校低学年児）を対象に、放課後の遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図った。 放課後児童クラブ数 21箇所</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 144,183千円 放課後、就労等で保護者がいない家庭の児童について、健全育成活動を行うため、放課後児童クラブの運営を委託した。</p> <p>【過去2ヵ年の実績】 平成23年度 21箇所 平成22年度 19箇所</p> <p>【事業を取り巻く状況等】 核家族化や共働き家庭の増加により、小学校低学年の児童等の放課後児童クラブの需要はますます高まっている。</p>	145
6. 一般保育事業補助金	49,189	<p>公立保育所職員と民間保育所職員の給与の格差等を是正するため、民間保育所に対し補助した。 民間保育所 16箇所</p>	145
7. 低年齢児保育推進事業補助金	7,438	<p>0・1歳児にゆとりのある保育を実施することにより、児童の心身の発育発達を一層促すため、延長保育、休日保育、一時保育等特別保育事業を実施し、0・1歳児が定員もしくは入所児童数のいずれか多い方の1割以上入所している保育所で、基準を超えて配置する保育士に必要な経費を補助した。 民間保育所 8箇所</p>	145
8. 延長保育促進事業補助金	54,813	<p>通常の保育時間を超えて長時間保育（9時間以上）を実施している保育所に対して、職員の加配及び処遇改善を図るために要する経費を補助した。 民間保育所 16箇所 うち国庫補助対象（11時間以上）6箇所</p>	145
9. 地域活動事業補助金	4,250	<p>保育所を基点とした地域住民の主体的な子育て支援の促進を図るための事業を実施する民間保育所に対し活動にかかる経費を補助した。 民間保育所 17箇所</p>	145
10. 障害児保育事業補助金	11,718	<p>保育所での集団保育が可能で、かつ保育に欠ける障がいをもつ児童を受け入れている保育所で、基準を超える保育士配置に必要な経費及び運営の健全化を図るための経費を補助した。 民間保育所 8箇所 対象児童（中度）11人 （重度）3人</p>	145
11. 休日保育事業補助金	1,335	<p>日曜・祝日等に保育を行う民間保育所に対して、その事業経費を補助した。 民間保育所 1箇所</p>	145

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
12. 一時保育事業補助金	520	保護者の傷病・入院、災害・事故、育児疲れの解消等のために、保育所に入所していない児童の一時的な保育を行う保育所に対し、その経費を補助した。 民間保育所 1箇所	145
13. 民間保育所施設防災対策事業補助金	8,089	保育所施設の防災対策強化のため、民間保育所が行うガラス飛散防止フィルム貼付工事等にかかる経費を補助した。 民間保育所 11園	145
14. 子ども家庭支援ネットワーク事業	319	伊勢市子ども家庭支援ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）を設置して、要保護児童とその家族の早期発見と適切な支援のため、関係機関との連携を図り児童虐待の防止に努めた。	145
15. <u>子ども家庭相談センター事業</u>	10,531	保健師及び社会福祉士、家庭児童相談員、女性相談員、発達支援相談員、臨床心理士（非常勤）を配置し、子育てや児童虐待、DV（配偶者等による暴力）や女性に関する相談を受け付け、助言指導等を行った。 また、平成24年度から発達支援相談員による保育所及び幼稚園への巡回訪問等を行い、発達障がい児の早期発見や適切な支援を図った。 ・児童相談件数 : 109件 ・女性相談件数 : 95件 ・発達支援相談件数 : 205件 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 11,200千円 主な経費内訳 家庭児童相談員 : 2人 4,585千円 女性相談員 : 1人 2,213千円 発達支援相談員 : 1人 2,226千円 臨床心理士 : 1人 1,457千円 【過去2ヵ年度の実績】 平成23年度 ・児童相談件数 : 76件 ・女性相談件数 : 78件 平成22年度 ・児童相談件数 : 66件 ・女性相談件数 : 75件 【事業を取りまく状況等】 全国的に児童虐待相談件数が過去最高を更新する中で、児童虐待又は要保護児童（支援が必要な児童）の相談件数の増加が見込まれる。 児童虐待、DV、発達障がいに対する社会的関心が、高まる中で、相談支援体制の充実が求められている。	145
16. 民間認定こども園施設整備事業費補助金	97,228	民間認定こども園開設のための施設整備費を補助した。 幼保連携型認定こども園 1箇所	145

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
17. 就学前の子どもの教育・保育推進事業	403	国の就学前の子どもの教育・保育の一元化という大きな政策の転換を受け、これまで市が策定してきた「就学前の子どもの教育・保育に関する整備方針」及び「就学前の子どもの教育・保育に関する施設の整備計画」の抜本的な見直しを行うため、アンケート調査を行うとともに検討委員会を開催し、平成25年2月18日に提言を受けた。	145

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 2. 児童措置費

(単位 千円)

予算現額 3,251,795 千円
決算額 3,235,424 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,791,037	481,685		278,782	683,920

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童入所施設措置事業	5,040	児童の福祉に欠ける世帯の母子を支援施設に入所措置することで、家庭生活の安定保護を図るとともに、自立への支援を行った。 利用件数 2件	147
2. 子ども手当支給事業	2,088,688	子どもの健やかな育ちを社会全体で応援するという趣旨のもとに、中学3年生までの子どもを養育する保護者に対し、子ども手当(平成24年4月分からは「児童手当」)を支給した。 受給者数 9,399人 対象児童延べ人数 188,985人 (H25.3末現在)	147

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 3. 父母子福祉費

(単位 千円)

予算現額 584,803 千円
決算額 580,834 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
204,215			1,000	375,619

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 高等技能訓練促進費等事業	27,186	ひとり親家庭の自立の促進を図るために、看護師等の資格養成機関で修業する一人親家庭の父又は母に対し、生活費の負担減を図るための補助金を支給した。 高等技能訓練促進費 20人 入学支援修了一時金 8人	147
2. 児童扶養手当支給事業	550,677	父又は母と生計を同じくしていない児童を養育しているひとり親家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図るために、手当を支給した。 受給資格者数 1,402人	147

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 4. 児童福祉施設費

(単位 千円)

予算現額 1,543,831 千円
 決算額 1,515,055 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
30,259	2,255		298,938	1,183,603

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 臨時保育士等経費	382,766	市立保育所に嘱託保育士等を配置した。 ・嘱託保育士 98人 ・嘱託看護師 14人 ・嘱託調理員 17人 ・嘱託業務員 13人 ・臨時保育士 48人 ・臨時調理員 10人 ・文書集配職員 1人	147
2. 低年齢児保育推進事業	4,648	延長保育、休日保育、一時保育等特別保育事業を実施し、定員もしくは入所児童数のいずれが多い方の1割以上0・1歳児が入所している保育所において0・1歳児に対して国の基準を超えて保育士を配置した。 市立保育所 2箇所	147
3. 保育所地域活動事業	2,062	保育所を基点とした地域住民の主体的な子育て支援の促進を図るための事業を実施した。 市立保育所 11箇所	147
4. 地域子育て支援センター事業	53,242	子育て家庭の交流の場の提供、子育てに関する講座の開催、育児不安についての相談指導、子育てサークル支援などを行った。 子育て支援センターきらら館、小俣子育て支援センター明倫保育所、二見浦保育園、しごうこども園	147
5. 障害児保育事業	48,306	保育所での集団保育が可能で、かつ保育に欠ける障がいをもつ児童の入所する保育所に保育士及び保育補助員を加配した。 市立保育所 13箇所 対象児童 (中度) 19人 (重度) 8人	147
6. 延長保育促進事業	8,322	11時間を超えて長時間の保育を実施した。 市立保育所 2箇所 (大世古保育所、保育所きらら館)	149
7. 休日保育事業	3,341	日曜日、祝日等の保護者の就労等により、家庭で子どもの保育が困難な場合に、保護者の子育てと仕事の両立を支援するため、休日保育を行った。 市立保育所 1箇所 (保育所きらら館)	149

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
8. 一時保育事業	14,139	<p>保護者の傷病・入院、災害・事故、育児疲れの解消等のために、保育所に入所していない児童の一時的な保育を行った。</p> <p>保育所きらら館、小俣子育て支援センター しごうこども園</p> <p>延べ利用児童数 1日利用 1,751人 半日利用 772人</p>	149
9. 市立保育所施設整備事業	13,855	<p>保護者が安心して児童を預けられるよう、施設整備を行い、安全かつ快適な環境の整備を図った。</p> <p>ゆりかご園調理室空調機取替工事 五峰保育園空調機等取替工事 二見浦保育園照明設備改修工事 二見浦保育園小荷物用昇降機改修工事 明倫保育所調理室排水溝改修工事 御薊第二保育園職員便所等改修工事 御薊第一保育園複合遊具取替工事 大世古保育所調理室増築工事 きらら館下水道接続工事 御薊第一保育園洗場改修工事 大世古保育所給水管改修工事</p>	149
10. 市立保育所施設防災対策事業	17,574	<p>保育所施設の防災対策強化のため、ガラスフィルム貼付工事を行った。</p> <p>市立保育所 14園</p>	149
11. 市立認定こども園運営経費	54,276	<p>認定こども園において就学前児童の教育・保育を行った。</p> <p>市立認定こども園 1箇所（しごうこども園） 延べ利用児童数 1,197人</p>	149
12. 市立認定こども園維持管理経費	3,889	<p>認定こども園の施設を維持管理し、入園児童の安全かつ快適な保育環境を維持した。</p> <p>市立認定こども園 1箇所（しごうこども園）</p>	149

(款) 3. 民生費 (項) 4. 生活保護費 (目) 2. 扶助費

(単位 千円)

予算現額 2,294,822 千円
 決算額 2,250,442 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,724,534	85,329			440,579

生活支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 各種扶助事業	2,250,442	<p>健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長することを目的とした生活保護法の理念に基づいて、適正な保護の実施に努めた。</p> <p>平成24年度実績</p> <p>被保護世帯数 1,009世帯 被保護人員 1,301人 被保護率 10.1%</p> <p>種別 円</p> <p>生活扶助 637,010,301 住宅扶助 238,250,128 教育扶助 9,029,497 介護扶助 61,367,174 医療扶助 1,267,597,646 生業扶助 5,551,410 葬祭扶助 2,365,937 保護施設事務費 29,269,712 合計 2,250,441,805</p>	頁 151

(款) 3. 民生費 (項) 5. 人権政策費 (目) 1. 人権施策管理費

(単位 千円)

予算現額 70,411 千円
 決算額 66,307 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	21,113			45,194

人権政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 人権施策推進事業	1,202	伊勢市人権施策推進協議会と協力して、人権尊重の理念に関する市民相互の理解を深めるため、市内小中学校の児童生徒を対象とした人権尊重啓発ポスター募集事業や市民を対象とした人権セミナーの開催など人権意識の高揚に努めた。	151

(款) 3. 民生費 (項) 5. 人権政策費 (目) 2. 人権啓発推進費

(単位 千円)

予算現額 896 千円
 決算額 895 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	218			677

人権政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 人権啓発推進事業	320	人権啓発パンフレット・物品を作成し、「差別をなくす強調月間」及び「人権週間」を中心に、企業啓発、街頭啓発などで配布した。設置場所と啓発場所を増やしたことで多くの住民等の人権意識への関心を高めることができた。	153
2. 非核平和推進事業	575	非核・平和第34回空襲展を実施。昨年度の来場者数を上回り、戦争の悲惨さと平和の大切さを訴えていくことができた。 また、日本非核宣言自治体協議会からの情報提供やポスターを活用したミニ原爆被災展を実施し、広く住民へ非核・平和の周知を行った。	153

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 1. 保健衛生総務費

(単位 千円)

予算現額 910,417 千円
 決算額 787,246 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
49,279	43,312	237,800	7,264	449,591

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢広域環境組合負担金(斎場)	39,583	1市3町で構成する伊勢広域環境組合斎場で火葬業務を行った。 共通経費 446千円(平等割10%加入事務数割90%) 運営経費 30,859千円(実績割100%) 建設経費 8,278千円(平等割10%人口割90%)	153
2. 伊勢広域環境組合負担金(し尿)	225,541	1市2町で構成する伊勢広域環境組合クリーンセンターでし尿等の適正処理を行った。 共通経費 2,715千円(平等割10%加入事務数割90%) 運営経費 187,765千円(実績割100%) 建設経費 21,548千円(平等割10%人口割90%) 公債費 13,513千円(元利補給金)	153
3. 生活排水対策啓発事業	216	伊勢市まちづくり市民会議環境分科会にて、各家庭における生活排水対策の啓発活動等に取り組んだ。 実施事業：勢田川七夕大そうじ、水生生物による水質調査、エコクッキング教室など	153
4. 狂犬病予防事業	2,216	狂犬病予防法に基づき、獣医師会と協力して、畜犬登録受付と狂犬病予防注射を行った。 畜犬登録件数 578頭 狂犬病予防注射接種件数 5,617頭	153
5. 環境審議会経費	339	地球温暖化防止を推進するため、「伊勢市地球温暖化防止実行計画(区域施策編)」の策定を環境審議会へ諮問し、答申をいただいた。(平成24年12月策定) また、伊勢市環境基本計画の進捗状況や施策内容等について、ご意見をいただいた。 平成24年度審議会委員21人、審議会開催数5回	155
6. 合併処理浄化槽設置整備事業補助金	138,884	公共用水域の汚濁防止、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、合併浄化槽設置者に対し補助し、合併浄化槽の普及に努めた。 公共下水道認可区域外 361基 135,332千円 公共下水道認可区域内 30基 3,552千円	155

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. <u>太陽光発電普及促進事業</u>	20,164	<p>新エネルギーの導入促進および普及啓発のため、太陽光発電システム設備設置者に対し補助金1件あたり6万円を交付した。 ※平成23年度までは「家庭用新エネルギー普及促進事業」として実施。</p> <p>平成24年度 20,164千円 ・補助金 60,000円×335件 他</p> <p>平成23年度からの繰越 1,260千円 (家庭用新エネルギー普及促進事業) ・補助金 60,000円×21件</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 25,285千円 ・補助金 60,000円×420件 他 繰越予算額 1,380千円 (家庭用新エネルギー普及促進事業) ・補助金 60,000円×23件</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 (家庭用新エネルギー普及促進事業) 平成23年度 23,833千円 ・補助金 60,000円×397件 他 平成22年度 4,800千円 ・補助金 60,000円×80件</p> <p>【事業を取りまく状況等】 平成23年度までは「家庭用新エネルギー普及促進事業」として、住宅用にのみ補助を行ってきたが、再生可能エネルギー導入に対する市民意識の高まり、また、平成24年7月からの新しい電力買取制度の導入を受け、平成24年度より、対象を事業所等へも広げ、「太陽光発電普及促進事業」として、さらなる太陽光発電システムの普及促進を行った。 なお、平成24年度分として395件の申請を受け付けたが、年度内に完了しなかった60件については、繰越し対応とした。</p>	155
8. <u>エネルギー教育促進事業</u>	682	<p>市内の小中学校のエネルギー環境学習・活動を促進するため、エネルギー教育に要する経費を上限2万円で支援した。</p> <p>支援金額 682千円 (全36小中学校) ・消耗品費 579千円 ・備品購入費 65千円 他</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 720千円 上限20千円×36校 ・消耗品費 570千円 ・報償金 100千円 ・費用弁償 50千円</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】※新規事業のため実績なし</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・各校がそれぞれの状況に合わせて立てた実施計画に沿って実施できるよう、予算流用を行い対応した。 ・当事業は、各校におけるエネルギー環境教育・活動の基礎をつくるために行うこととしており、3年間試験期間として実施する。</p>	155

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
9. 高麗広地区飲料水浄化施設等設置補助金	371	高麗広地区においては上水道施設がないことから、良質で安全な飲料水の確保のために、自家用井戸や浄水施設等を設置した当該地区住民に対し補助を行った。 平成24年度 補助件数：2件 補助金額：371千円	155
10. 犬猫不妊手術費等補助金	1,994	犬猫の適正飼育を図るため、不妊手術費の一部助成を行った。 補助金交付件数 犬189匹 猫429匹	155
11. 環境フェア等開催事業	334	環境問題に対する意識啓発のため、また、環境に関する市の取組への理解と協力を得るため、環境フェアを開催した。 開催日 平成24年10月21日 開催場所 三重県営サンアリーナ 主催 伊勢市まちづくり市民会議環境分科会、伊勢市	155

小俣総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 離宮の湯管理運営事業	10,738	地域住民の福祉の充実及び公衆衛生の向上を目的に、平成17年4月1日から営業を開始した。また、平成19年4月1日からは民間のノウハウを生かすために指定管理者制度を導入し管理運営を行っている。毎月6回程度のかわり湯を実施し、利用拡大に努め、市民の憩いの場として多くの方に利用していただいた。 平成24年度利用者数 37,093人	155

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 2. 保健センター費

(単位 千円)

予算現額 1,298,320 千円
決算額 1,292,437 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,142	1,150		23,113	1,267,032

行政経営課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 病院事業会計繰出金	1,068,074	病院事業に対して、通常の繰出金のほか、不良債務解消のための追加繰出しを行った。 ・通常分 550,000千円 ・追加分 518,074千円	157

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 健康・医療電話相談事業	9,339	<p>市民の安心と救急医療体制の保持を図るため、健康、医療をはじめ、介護、育児やメンタルヘルスなどの、市民の心と体の様々な相談に、医師や看護師などの専門家による24時間年中無休、通話料無料の電話相談サービスをティーベック㈱に委託し実施した。6,854件の相談があった。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 9,616,000円 ・委託料 9,450,000円 ・チラシ印刷 165,375円</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成23年度 5,502,000円 ・相談件数 3,232件 (H24.9.1~H25.3.31) 平成22年度 実施なし</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・24時間年中無休体制での対応により、市民の安心と救急医療体制保持への一助とするため、平成23年9月1日から実施。</p>	157
2. 一次救急医療事業	4,091	<p>休日・夜間応急診療所への医師派遣調整及び救急医療知識の普及啓発並びに情報提供業務を伊勢地区医師会に委託し、休日及び毎夜間における一次救急医療体制の確保を図るとともに、救急医療体制を確保するため、市民に救急業務に関する正しい理解と知識を深めてもらうよう周知に努めた。</p> <p>また、突然の心停止時に早期に対応できるよう、救命措置に必要なAED(自動体外式除細動器)を市の主要18施設に設置するとともに、市民が参加するイベントなどで活用できるよう貸出用も配備し、貸出を行った。</p>	157
3. 病院群輪番制病院運営費補助金	34,454	<p>病院群輪番制は、一次救急医療体制に併せ、市内の2病院(伊勢赤十字病院、市立伊勢総合病院)が、輪番制により、休日及び夜間における重症救急患者の受け入れに対応する二次救急体制を確保するためのものであり、この補助金はその運営費を補助するものである。</p> <p>平成24年度は18,440人の受け入れがあり、市民の安心・安全確保に大きく貢献した。</p>	157
4. 健康文化都市推進事業	2,171	<p>生涯を健康で暮らせるような「健康文化都市」をめざし、健康づくり指針に基づき生活習慣病予防を中心に健康づくり活動を推進した。健康文化週間及び健康の日の啓発事業や、健康づくりアドバイザー養成講座、重点事業への取組みとして、低カロリー・バランス食のレシピ集の発行やウォーキングマップの発行、講座等を実施した。</p>	157
5. 食生活改善推進事業	770	<p>健康づくりの基本となる食生活を適正なものにするため、食生活改善推進員の養成と、推進員の自主的な活動に対する支援を行った。</p>	157

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 3. 予防費

(単位 千円)

予算現額 391,382 千円
 決算額 338,741 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	56,735		1,006	281,000

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 予防接種事業	218,049	全ての定期予防接種を県内の実施医療機関で実施し、対象者に接種を行った。また、未接種者に対し勧奨通知を送付し、接種率の向上を図った。	頁 157
2. 肺炎球菌予防接種助成事業	3,198	肺炎の予防及び重症化を防止するため、任意予防接種である肺炎球菌ワクチンを接種した方(65歳以上)に対し、接種費用の助成を行った。	157
3. <u>子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業</u>	117,494	<p>任意予防接種である子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン接種を無料で受けることができるよう委託事業を実施した。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 144,131,000円 ・子宮頸がん予防ワクチン 延べ3,271件 ・ヒブワクチン 延べ5,077件 ・小児用肺炎球菌ワクチン 延べ4,141件</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成23年度 146,753,318円 ・子宮頸がん予防ワクチン 延べ3,256件 ・ヒブワクチン 延べ4,248件 ・小児用肺炎球菌ワクチン 延べ5,053件 平成22年度 ①子宮頸がん予防接種助成事業 62,637,148円 ・8月～2月(市単) 延べ2,496人 ・2月～3月(国補助) 延べ1,341人 ②乳幼児任意予防接種助成事業 24,730,276円 ・2月～3月(国補助) ヒブワクチン 延べ1,125人 小児用肺炎球菌ワクチン 延べ1,246人</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・子宮頸がんを予防するため、平成22年8月から市単独事業として子宮頸がん予防ワクチン接種者に助成を開始した。平成23年2月からは、国の子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業が開始され、3ワクチン接種について委託事業として実施した。予防接種法の改正により、平成25年4月1日から定期接種化された。</p>	157

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 4. 成人保健推進費

(単位 千円)

予算現額 269,134 千円
 決算額 263,074 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
9,931	10,214		1,668	241,261

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 成人健康診査事業	9,704	40歳以上の保険が無い方を対象にした健康増進法健康診査及び、40・45・50・55・60歳及び65歳～70歳の女性に骨粗しょう症検診を実施して、生活習慣病を早期発見し、市民の健康増進に努めた。	157
2. がん検診事業	246,451	市内の医療機関、保健センター及び地域において、胃・子宮・大腸・乳・前立腺及び肺がん検診を実施した。日本人の死因第1位であるがん(悪性新生物)を早期発見し、早期治療につながるよう努めた。	157
3. 歯周疾患検診事業	5,746	40歳～50歳及び55歳、60歳、65歳、70歳の市民を対象に、市内及び度会郡内の実施歯科医院で歯周疾患の検診を実施した。 2,140人が受診し、歯周疾患の早期発見、早期治療に寄与し、8020運動を推進した。	157
4. 成人健康相談事業	648	40歳以上の市民を対象に、血圧測定、検尿をはじめ、個別の健康相談、栄養相談を行い、疾病の早期発見及び健康の増進に努めた。 延べ119回、529人の相談を行った。	157
5. 訪問指導事業	100	保健師等が家庭訪問を行い、本人及びその家族321人に対し、生活習慣病の予防や介護予防、保健サービスと医療・福祉等のサービスの調整を図った。	159

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 5. 母子保健推進費

(単位 千円)

予算現額 147,957 千円
 決算額 134,776 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
523	27,484		389	106,380

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 子育て支援教室事業	543	妊娠期、乳幼児期に各教室を実施し、妊娠・出産・子育てに関する正しい知識の普及や子育ての不安の解消、仲間づくりの支援を図った。1,080人の参加があった。	159

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 発達支援教室事業	1,954	1歳6か月児健康診査等により、言語発達等に観察が必要な親子に対し、育児支援・助言を行い、健全育成を図るとともに、子育てに悩みを持つ保護者のネットワークづくりに努めた。883人の参加があった。	159
3. 幼児歯科保健事業	2,987	1歳6か月児健康診査から3歳児健康診査までの2年間に、むし歯が急速に増加するため、むし歯予防の教室を開催した。 ・むし歯バイバイ教室24回 908人 ・3歳児フッ化物塗布12回 772人	159
4. 子育て相談事業	723	乳幼児を持つ保護者を対象に、育児上の悩みや離乳食などについて適切なアドバイスを行い、自信を持って育児ができるように援助を行った。保健センターや地域等で開催し、延べ3,869人の相談に対応した。	159
5. 新生児等訪問指導事業	1,356	新生児をはじめ乳幼児、妊産婦のいる家庭を訪問し、相談に応じることで不安や悩みの解消、異常の早期発見に努めた。新生児986人、乳幼児550人、妊産婦1,052人の訪問を実施した。	159
6. <u>妊婦・乳児健康診査事業</u>	107,979	<p>妊娠中に14回及び乳児期に2回（4か月、10か月）計16回、県下の委託医療機関で健康診査を実施した。妊婦は延べ12,612（県外助成を含む）人、乳児は延べ1,987人受診した。このことにより、妊婦・乳児の異常の早期発見と健康の保持増進を図った。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 127,218,000円 妊婦健診県内委託数 延べ14,100人 妊婦健診県外予定数 延べ 500人 乳児健診県内委託数 延べ 2,200人</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成23年度 104,106,190円 妊婦健診13,200人 （県内：12,891人 県外：309人） 乳児健診1,957人 平成22年度 97,326,785円 妊婦健診12,966人 （県内：12,503人 県外：463人） 乳児健診2,015人</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・平成21年2月に国の妊婦健康診査は14回程度が望ましいとの指針を受け、21年度から14回の助成を実施している。 ・県内統一事業として、三重県、医師会、県内各市町で統一した内容と金額で実施している。 ・保険対象外である妊婦・乳児健康診査事業は、経済的負担の軽減と母子の健康管理の向上につながっている。また、虐待予防の観点からも、妊娠中から医療機関と連携が行えるなど重要な事業である。</p>	159

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 1歳6か月児健康 診査事業	3,049	身体発育、精神発達の面で歩行や言語発達の標識が容易に得られる1歳6か月時に健康診査を実施し、1,015人が受診した。また、児童虐待の徴候を早期発見し、育児不安等の解消と児童虐待の防止に努めた。	159
8. 3歳児健康診査事 業	4,539	身体発育及び精神発達の面で最も重要な時期である3歳の時点において、総合的な健康診査を実施し、907人が受診した。また、児童虐待の徴候を早期発見し、育児不安等の解消と児童虐待の防止に努めた。	159
9. 妊婦歯科健康診査 事業	1,059	歯周疾患の早期発見、早期治療により早産や低出生体重児の出生を予防し、健やかな子育てが開始できるよう、市内及び度会郡内の実施歯科医院で、394人の妊婦に歯科健康診査を実施した。	159
10. 母子健康手帳交付 事業	481	妊娠の届出を行った1,009人の妊婦に対し、窓口で母子健康手帳を交付した。また、妊娠中からの保健指導を行い、母子の健康の保持増進を図った。	159
11. 不妊治療費助成事 業	10,106	医師が必要と認めた不妊治療を受けた夫婦に対し、不妊治療費に要する費用の一部助成（費用の2分の1で年間10万円を限度とし通算5回まで）を行った。 一般不妊治療94件、特定不妊治療68件に助成を行った。	159

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 6. 墓地費

(単位 千円)

予算現額 5,092 千円
決算額 4,619 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			2,610	2,009

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 共同墓地整備事業 補助金	2,009	共同墓地内の環境整備を図るため、自治会等が行う共同墓地整備事業に対し、費用の一部を補助した。 補助金交付件数 8件	159

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 7. 診療所費

(単位 千円)

予算現額 107,444 千円
 決算額 87,565 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			83,991	3,574

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 医科診療所運営事業	80,606	夜間や休日などに救急医療が必要な市民に応急的な医療を行うため、休日・夜間応急診療所(内科・小児科)を開設し、一次救急医療を確保することにより、市民の健康管理を図った。	頁 161
2. 歯科診療所運営事業	6,959	休日の救急医療が必要な市民に応急的な医療を行うため、休日・夜間応急診療所(歯科)を開設し、一次救急医療を確保することにより、市民の健康管理を図った。	161

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 8. 公害対策費

(単位 千円)

予算現額 4,663 千円
 決算額 3,850 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				3,850

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 調査事業	3,850	公害防止、環境保全を図るため、水質・騒音・振動・悪臭等の調査を行い、現状の把握に努めた。	頁 161

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 1. 清掃総務費

(単位 千円)

予算現額 878,764 千円
 決算額 876,907 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			809	876,098

清 掃 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 伊勢広域環境組合負担金(ごみ)	806,054	1市3町で構成する伊勢広域環境組合清掃工場にて、ごみの適正処理を行った。 共通経費 6,230千円 (平等割10%加入事務数割90%) 運営経費 430,792千円 (実績割100%) 建設経費 202,049千円 (平等割10%人口割90%) 公債費 160,847千円 (元利補給金) 清掃事業所分担金 6,136千円	頁 161
2. きれいなまちづくり推進事業	207	伊勢市まちづくり市民会議環境分科会にて、ごみの減量化・資源化対策の啓発活動に取り組んだ。 ○伊勢市駅前ごみゼロ早朝清掃 (5月27日:参加人数約400人) ○ごみゼロポスターコンクール (応募作品926作品:受賞作品66作品) ○環境フェア	161
3. 廃棄物集積所設置補助金	5,226	ごみの排出場所の集積化を促進し、ごみ収集の効率化を図るとともに、ごみの散乱を防止し、市民の美化意識の高揚を図ることにより、市民の良好な生活環境を確保することを目的として、廃棄物集積所を設置した自治会等に対し補助金を交付した。 ○交付申請団体数 のべ45団体 ○補助金交付基数 57基 ○補助率 利用世帯数に応じて補助金限度額の設定	161
4. 不法投棄防止対策推進事業	1,130	市有地等に不法投棄された家電4品目及び処理困難物を適正に処理した。 不法投棄物:テレビ190台、冷蔵庫35台、洗濯機12台 エアコン14台、タイヤ215本 他	161
5. 廃棄物減量等推進審議会経費	32	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項の規定に基づき策定した伊勢市ごみ処理基本計画の推進に関する検討を行った。 平成24年度審議会委員:11人 審議会開催回数:1回	163

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 2. 資源循環推進費

(単位 千円)

予算現額 65,585 千円
 決算額 57,496 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			46,346	11,150

清 掃 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書頁
1. 指定袋制度運営事業	43,622	ごみの減量及び資源化を推進するため、可燃ごみの指定ごみ袋制を実施した。 ○目的 1. 可燃ごみへの資源物の混入の防止、ごみの減量と分別・資源化の推進 2. 危険物の混入によるごみ収集時やごみ処理施設での事故防止 3. 日常生活からのごみと事業活動から生じるごみとの区別化 ○指定袋種類 3種類 (大袋45ℓ、中袋30ℓ、小袋15ℓ) ○材質等 【材質】高密度ポリエチレン製 【色】半透明 ○販売方法 「伊勢市指定ごみ袋販売店」にて販売 (平成25年3月31日現在、販売店登録数296店舗) ○販売価格 希望小売価格制度にて販売 市の提示する希望小売価格 大袋75円、中袋54円、小袋37円(税別)	163
2. 再生資源回収推進事業	8,798	自治会、PTA等資源物の集団回収事業を行う団体に対して、回収量に応じ再生資源回収事業奨励金を交付することにより、ごみの減量・資源化を図った。 ・交付団体数 159団体 ・回収量 2,927t (内訳) 紙類2,809t、布類52t、缶類66t ・同(瓶) 5,309本 ※1kg当たり3円の奨励金 瓶については、1本当たり3円の奨励金	163
3. ごみ減量化容器設置補助金	1,180	生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入し、設置した者に対し補助金を交付した。 ○交付申請件数 85件 ○補助金交付基数 108基 ○補助率 購入額の1/2(限度額30千円)	163
4. ごみ減量・資源化事業一般経費	3,896	地区別ごみの収集日を記載した「平成25年度版ごみカレンダー」と「伊勢市(保存版)H25年度～ごみの分け方・出し方」を作成し、広報いせ3月1日号と同時に全戸に配布した。(平成25年度版作成部数 ごみカレンダー、分け方・出し方 各65,000部)	163

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 3. じん芥処理費

(単位 千円)

予算現額 673,303 千円
 決算額 668,330 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			24,907	643,423

清 掃 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 再資源分別回収事業	221,028	<p>ごみの減量・資源化のため、缶・金属類、資源びん（無色、茶色、その他の色）、紙・布類（新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、飲料用紙パック、布・衣類）、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス・くずびん類、陶磁器類、乾電池及び蛍光灯の分別回収を行った。</p> <p>○市内ステーション設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源ステーション 991箇所 ・資源拠点ステーション 19箇所 <p>(内訳) 伊勢中央、宇治、船江、城田、中島、佐八、明倫、神社、厚生、早修、北浜、宮本、沼木、大湊、いせトピア、二見、小俣、明野、御菌</p>	頁 163
2. 廃棄物投棄場管理一般事業	16,090	<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、市民から搬入されたガレキ類（ブロック、レンガ、瓦、コンクリート）の適正処理を行い、環境保全の推進を行った。</p> <p>また、小俣廃棄物投棄場浸出水処理施設の維持管理を行い、投棄場の環境保全を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伊勢年間搬入量 597,630kg ○小俣年間搬入量 48,390kg 	163

(款) 5. 労働費 (項) 1. 労働諸費 (目) 1. 労働諸費

(単位 千円)

予算現額 115,192 千円
 決算額 113,145 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	10,307	36,000	11,449	55,389

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 若年求職者等支援 事業	2,996	いせ若者就業サポートステーションと連携し、若年求職者を対象にカウンセリングを含む就職個別相談を実施したほか、若年無業者を支援するネットワークを構築するなど、若者の早期就職支援に努めた。 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 3,172,000円 ・厚生労働省が設置している「いせ若者就業サポートステーション」への支援として、臨床心理士配置や職業体験業務を実施する。 【過去2カ年度の実績】 平成23年度 1,521,870円 ・臨床心理士配置業務等委託 1,222,830円 ・就職個別相談業務委託 299,040円 平成22年度 1,271,059円 ・臨床心理士配置業務等委託 797,580円 ・就職個別相談業務委託 473,479円 【事業を取りまく状況等】 ・近隣市町の関係機関等との緊密な連携を図るべく、「ネットワーク会議」を開催していく。	163
2. 中小企業勤労者福祉サービスセンター補助金	13,284	中小企業で働く勤労者の福祉制度の充実を推進し、併せて勤労者福祉の向上と中小企業の発展を図るため、一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターに対し、管理運営費の補助を行った。	165
3. 勤労者ふれあい事業	1,500	(社)伊勢志摩勤労者福祉協議会等と共催で、福祉フェスティバルを10月21日に県営サンアリーナを会場に開催した。市内の事業所の勤労者とその家族を中心に約20,000人が参加し、ゆとりと豊かさを実感できる場、さらには家族ふれあいの場を提供した。	165
4. 高齢者労働能力活用事業費補助金	20,743	高齢化社会が急速に進む中、高齢者の多様化する就業ニーズに対応するため、労働対策及び生きがい対策の一環として設立した公益社団法人伊勢市シルバー人材センターの管理運営に対して補助を行った。	165
5. サンライフ管理運営事業	6,481	勤労者を対象とした趣味づくり、健康づくり講座を開催することで、心身の健康保持、体力増強及び教養文化の向上を図った。平成18年9月より指定管理者による運営となっている。	165

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. 労働福祉会館管理運営事業	3,187	労働者の福利増進及び市民の文化向上に寄与するため、伊勢市労働福祉会館を平成24年11月から再開し、会議室の貸室、維持管理を行った。	165
7. 労働福祉会館整備事業	49,601	市民の学習・研修・文化の向上の場として、また、伊勢地域で働く労働者の地位向上と福祉向上を目指す活動の拠点として、県伊勢庁舎会議棟を購入し、改修工事を実施した。	165
8. 勤労者持家促進資金貸付金	2,400	東海労働金庫と協調し、市内に居住又は県内事業所に勤務する勤労者が市内に自己が居住する住宅を新築・増改築及び購入時に、その利子の軽減を実施することで勤労者の負担を緩和し、持家の促進を図った。	165
9. 勤労者教育資金貸付金	1,000	市内に居住する勤労者とその扶養親族の教育資金について、東海労働金庫の貸付を利用した場合、その利子の軽減を実施することで、勤労者の負担を緩和し、教育の充実を図った。	165
10. やすらぎ公園プール管理運営事業	11,158	やすらぎ公園プールを管理運営し、勤労者と市民の福祉の増進と体力の向上を図った。	165

(款) 5. 労働費 (項) 1. 労働諸費 (目) 2. 緊急地域雇用対策事業費

(単位 千円)

予算現額 109,738 千円
決算額 94,183 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	94,183			

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 教育・文化関連雇用対策事業	28,137	失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、9事業を実施した。 ①外国人児童生徒支援事業 ②児童生徒自立サポート事業 ③学校図書館活性化支援事業 ④学校ICT活用活性化支援事業 ⑤歴史的資料等整理事業 ⑥社会スポーツ団体等育成事業 ⑦教育用コンピュータ機器台帳作成事業 ⑧学校図書館・教材備品台帳等整備事業 ⑨コミュニケーション支援事業 【新規雇用創出のべ人数：31名】	165

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 治安・防災関連雇用対策事業	6,072	<p>失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、4事業を実施した。</p> <p>①防犯対策支援事業 ②防災対策支援事業 ③道路占用物件調査事業 ④生活環境被害対策サポート事業 【新規雇用創出のべ人数：9名】</p>	165
3. 農林漁業関連雇用対策事業	5,464	<p>失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、2事業を実施した。</p> <p>①獣害対策強化事業 ②営農活性化事業 【新規雇用創出のべ人数：4名】</p>	165
4. 観光関連雇用対策事業	9,111	<p>失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、3事業を実施した。</p> <p>①伊勢市観光PR推進事業 ②主要観光地車椅子貸出事業 ③観光客受入体制整備事業 【新規雇用創出のべ人数：4名】</p>	165
5. 子育て関連雇用対策事業	2,062	<p>失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、1事業を実施した。</p> <p>①幼保一体化に係る推進事業 【新規雇用創出のべ人数：1名】</p>	165
6. 医療関連雇用対策事業	4,965	<p>失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、2事業を実施した。</p> <p>①特定健康診査受診勧奨事業 ②小学生医療費助成円滑導入事業 【新規雇用創出のべ人数：3名】</p>	165
7. 情報通信関連雇用対策事業	35,616	<p>失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、6事業を実施した。</p> <p>①事務事業データ整理事業 ②住居表示台帳データ整理事業 ③FMラジオ情報発信事業 ④転出入者の要因調査等に係るデータ化事業 ⑤収納確保対策事業 ⑥公共施設情報整理事業 【新規雇用創出のべ人数：15名】</p>	165
8. 介護・福祉関連雇用対策事業	2,756	<p>失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、2事業を実施した。</p> <p>①介護保険文書等整理事業 ②地域福祉計画改定準備事業 【新規雇用創出のべ人数：3名】</p>	165

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 2. 農業総務費

(単位 千円)

予算現額 170,889 千円
 決算額 168,558 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	12		2	168,544

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢地域農業共済事務組合負担金	34,746	農業災害補償法の規定に基づく農業共済事業を効率的・安定的に運営するため、伊勢地域農業共済事務組合の運営経費の一部を構成7市町で負担した。	167

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 3. 農業振興費

(単位 千円)

予算現額 16,946 千円
 決算額 16,063 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,895		10	7,158

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 農業近代化資金等利子補給補助金	824	地域農業の担い手として活躍が期待できる認定農業者を支援するため、その経営規模拡大等のため借り入れた資金の利子補給を行った。	167
2. 遊休農地活用事業	320	地域農業の担い手が遊休農地を活用して営農するにあたり、その再開に必要な草刈りや耕起など、遊休農地を営農可能な状態に回復するための支援を行った。	169
3. 新規就農者総合支援事業	2,250	経営の不安定な就農初期の青年就農者に対する給付金を給付し、青年就農者の増加及び就農後の定着を図った。	169
4. 農業振興地域整備促進経費	128	農業諸情勢の変化、地域の土地利用の動向を踏まえ、地域の活性化に向けた適切で有効な土地利用との調整を図り、農用地の見直しを行った。	169
5. 農業振興補助金	3,805	農業が持続的に営まれることにより、農村環境が良好に保たれることから、農業者等の地域農業や農村振興に資する取り組みを支援することで後継者の育成確保や生産活動強化を図った。	169
6. 戸別所得補償制度推進事業	6,500	農業作物の販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象に、その差額を交付することにより、農業経営の安定と国内生産力の確保を図った。	169

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 地産地消推進事業	1,344	<p>市内産農林水産物を食材として取り扱う飲食店等を、伊勢市地産地消の店として認定し、当該店の地産地消に係る取組を消費者に周知することにより、市内産農林水産物の消費及び需要の拡大を図った。また、100%市内産米の米飯給食の実施をめざし、学校給食用米（みえのえみ）の市内での生産を推進した。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 2,019,000円 ○「地産地消の店」認定制度の展開（759,580円） ・認定委員会経費 526,300円 ・認定店PRイベント経費 233,280円 ○学校給食用米確保業務委託（1,256,200円） ・生産者補填金（500円/1俵） 1,142,000円 ・JA事務手数料（10%） 114,200円</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成23年度 1,282,129円 ○「地産地消の店」認定制度の展開 58,104円 ○学校給食用米確保業務委託 1,224,025円 平成22年度 1,206,979円 ○「地産地消の店」認定制度の展開 50,879円 ○学校給食用米確保業務委託 1,156,100円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・高齢化等に伴う生産量の横ばい（供給量不足）、認定店のメリットの創出、学校給食における米以外の食材の地元産率の低迷などの課題がある。 ・今後は直売活動の推進、認定店メリットの模索、学校給食への地元食材導入の推進を図りたい。</p>	169
8. 特色ある農産物づくり支援事業	250	有機・減農薬栽培の促進、先進的又は地域の特色ある農産物づくりに取り組む農業者に対して支援を行い、地域農業の活性化を図った。	169
9. 農業体験学習事業	642	食育推進の一環として、農業体験を含む食育の機会を設け、食の大切さ、食を育む産業である農業の大切さなどについて考えてもらう機会を提供した。	169

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 4. 農業用施設管理費

(単位 千円)

予算現額 38,287 千円
決算額 35,629 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	100		1,369	34,160

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 二見しょうぶロマンの森維持管理経費	5,968	<p>指定管理者により伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設の管理運営を行った。</p> <p>・指定管理者 二見しょうぶロマンの森維持管理組合 ・開館日数 359日 ・来客人数 133,084人</p>	169

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 伊勢市都市農山村 交流促進施設維持 管理経費	3,621	横輪地区活性化事業で整備した伊勢市都市農山村交流促進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民と都市住民が集い触れ合う交流の場として地域の活性化を図った。 ・指定管理者 横輪町活性化委員会 ・開館日数 270日 ・来客人数 15,156人	169
3. 農地・水保全管理 支払交付金事業	13,775	○農業の持つ多面的機能の適正な発揮のため、農業者・非農業者の地域ぐるみでの保全向上活動を促進し、国・県と共に支援を行った。 活動実施組織 20組織 ○農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図るため、老朽化が進む農業用排水路、農道などの補修・更新等に対して支援を行った。 活動実施組織 7組織	169

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 5. 畜産業費

(単位 千円)

予算現額 3,390 千円
決算額 3,390 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				3,390

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 畜産振興事業	3,390	食肉の安全を確保するため、三重県松阪食肉公社施設の維持管理対策に要する経費を、主要株主により支援を行った。	171

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 6. 農地費

(単位 千円)

予算現額 768,077 千円
決算額 404,448 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
58,454		253,200	5,997	86,797

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 土地改良事業補助 金	58,055	土地改良区等の実施する事業に対して市の基準による補助金を交付し、農業農村の基盤整備や農業経営の安定を図った。 交付件数・・・19件	171

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 県営ため池整備事業負担金	51,274	<p>県営ため池等整備事業負担金</p> <p>○戸部神地区</p> <p>事業内容 仮設工、本体工等 一式</p> <p>事業期間 平成20年度～平成24年度</p> <p>事業費 205,000千円</p> <p>負担区分 国50% 県30% 市20%</p> <p>→伊勢市負担額 41,000,000円</p> <p>→うち現年21,174,400円、繰越19,825,600円</p> <p>H23繰越30,100,000円</p>	171
3. 県営かんがい排水事業負担金	47,015	<p>県営かんがい排水事業負担金</p> <p>○宮川2工区</p> <p>事業内容 用水路工 一式</p> <p>事業期間 平成17年度～平成24年度</p> <p>事業費 10,000千円</p> <p>負担区分 国50% 県25% 市町15% 宮川用水10%</p> <p>→受益面積割 伊勢市11.7%</p> <p>→伊勢市負担額 175,500円</p> <p>H23繰越43,875円</p> <p>○宮川4工区</p> <p>事業内容 用水路工L=200m</p> <p>事業期間 平成18年度～平成27年度</p> <p>事業費 255,000千円</p> <p>負担区分 国50% 県25% 市町15% 宮川用水10%</p> <p>→伊勢市負担額 38,250,000円</p> <p>→うち現年14,850,000円 繰越23,400,000円</p> <p>H23繰越24,750,000円</p> <p>○宮川4工区その2</p> <p>事業内容 水管理システム 一式</p> <p>事業期間 平成19年度～平成25年度</p> <p>事業費 50,000千円</p> <p>負担区分 国50% 県25% 市町15% 宮川用水10%</p> <p>→受益面積割 伊勢市99.938%</p> <p>→伊勢市負担額 7,495,350円</p> <p>→うち現年1,199,256円 繰越6,296,094円</p> <p>H23繰越5,996,280円</p>	171

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 経営体育成基盤整備事業負担金	22,604	<p>県営経営体育成基盤整備事業負担金</p> <p>○有田地区 事業内容 幹線用水施設工 一式 支線用水路L=1,549m 事業期間 平成17年度～平成25年度 事業費 95,000千円 負担区分 ・幹線(75,000,000円) 国55% 県27.5% 市町10% 地元7.5% →受益面積割 伊勢市13.5% ・支線(左岸20,000,000円) 国55% 県27.5% 市町3.5% 地元14% →受益面積割 伊勢市1.2% →伊勢市負担額 1,020,900円 (平成23年度までで充足済) H23繰越981,450円</p> <p>○小俣地区 事業内容 幹線用水路L=90m 支線用水路L=9,289m 事業期間 平成21年度～平成30年度 事業費 295,100千円 負担区分 ・幹線(10,447,694円) 国55% 県27.5% 市10% 宮川用水7.5% ・支線(284,652,306円) 国55% 県27.5% 市3.15% 小俣改14.35% →伊勢市負担額 10,011,317円 調整後7,200,856円 →うち現年2,808,600円 繰越4,392,256円 H23繰越18,575,000円</p> <p>○城田・下外城田地区 事業内容 実施計画策定 一式 事業期間 平成24年度 事業費 1,890千円 負担区分 国50% 県27.5% 市町22.5% →受益面積割 伊勢市56.09% →伊勢市負担額 238,383円</p>	171
5. 県営ふるさと農道整備事業負担金	12,250	<p>県営ふるさと農道整備事業負担金</p> <p>○二見町松下地区 事業内容 舗装工等 一式 事業期間 平成10年度～平成24年度 事業費 40,000千円 負担区分 県65% 市町村35% →伊勢市負担額 14,000,000円 →うち現年10,500,000円 繰越3,500,000円 H23繰越額1,750,000円</p>	171
6. 農道整備事業	18,555	<p>農道を整備することで、農道機能を保持し農村環境の整備を図った。 ・西豊浜町地内ほか 農道整備(その1) 工事 ほか9件</p>	171
7. 農業用排水路整備事業	10,214	<p>農業用排水路を整備することで、排水路の機能回復と農村環境の整備を図った。 ・上地町地内 農業用排水路(その1) 工事 ほか5件</p>	171

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
8. 給水栓整備事業	3,388	当該地区の農業用用水施設は水資源が十分に確保できず営農活動に支障をきたしている。このため給水栓整備を行い、農家の水資源有効活用と労働生産性の向上を行い農業経営の安定を図った。 ・西豊浜町地内 給水栓設置 55箇所	171
9. 農村振興整備事業	181,093	農業従事者の高齢化、後継者不足が進む中、基盤整備を実施することで離農者及び離農村者を抑制し、地域住民の定住化を図った。 ・西豊浜町地内 農排3-13号工事 ほかに9件 ・一之木4丁目地内ほか 環保3-1号工事に伴う測量業務委託 ほかに2件	171

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 7. 湛水防除事業費

(単位 千円)

予算現額 107,231 千円
決算額 77,470 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	119		13,763	63,588

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 排水機等補修事業	33,763	排水機場の定期的な除塵機等設備の整備補修等を実施することにより、施設の機能保持と耐用年数の確保を図り、流域への湛水による被害の未然防止を図ることを目的とする。 1. 土地改良施設維持管理適正化事業 事業費の90%が交付金対象 (国：30%、県：30%、市：30%) 90%のうち市負担30%及び事務費2.5%を5年間で均等に三重県土地改良事業団体連合会へ拠出している。 村松排水機場 自然流下ゲート扉体取替等 一式 小川排水機場 水位計取替 2基 西(新)排水機場 主ポンプ用エンジン分解整備 一式 2. 優良農地確保・有効利用対策事業 農業体質強化基盤整備促進事業を活用。 事業費の55%が補助対象(国：55%) 村松排水機場 除塵機更新 一式 (平成25年度へ一部繰越) 【農林水産課へ執行委任】	171

(款) 6. 農林水産業費 (項) 2. 林業費 (目) 2. 林業振興費

(単位 千円)

予算現額 36,064 千円
 決算額 22,490 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,827		60	19,603

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 森林病虫害防除事業	6,282	海岸防風林等の松林において、松くい虫防除事業を施行し、松林のもつ公益的機能の低下防止及び景観の保全を図った。 地上散布17.2ha 伐倒破砕21.6m ³ 樹幹注入150本	173
2. 獣害防止事業	2,151	○増加傾向にある野生鳥獣による農作物等被害防止を目的に、伊勢市鳥獣被害防止対策協議会が実施する事業に対して負担金を支出し、集落を含む関係機関が一体となって鳥獣害防止総合対策事業に取り組んだ。 また、伊勢地区猟友会に有害獣(猪・鹿・猿)捕獲を委託し、農林作物及び生活環境等の被害軽減に努めた。 ○集落への野生鳥獣の出現の減少を図るため、公益的機能が適正に発揮され、下草等の植生が豊かで野生鳥獣の生息しやすい森林づくりのため、更新伐を行った。 更新伐 15.0ha (平成25年度へ一部繰越)	173
3. 森林環境創造事業	854	音無山を環境林として適正に管理するため、20年間の環境林整備計画を作成し、それに基づき下刈り、受光伐等を行っている。平成14年度からいせしま森林組合に委託しており、本年度は4.24ha実施した。	173

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 2. 水産振興費

(単位 千円)

予算現額 4,060 千円
 決算額 3,706 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	165			3,541

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 魚礁効果調査事業	1,086	昭和54年から平成10年までの間に伊勢市地先に設置した魚礁と、平成14年から平成22年までの間に覆砂したアサリ漁場について、潜水等調査により、魚礁の設置状況や魚類等の集状況、覆砂漁場の現況を把握し、適切な施設の維持管理及び設置等効果を検証し、操業の効率性・安全性の向上を図った。	175

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 種苗放流事業補助金	1,599	伊勢湾・宮川各漁業協同組合が実施するアサリ、クルマエビ、アユ等の種苗放流事業に対して支援し、資源の増大・確保と漁家経営の安定を図った。	175
3. 水産教室実施事業	112	市立浜郷小学校5年生(58名)、市立北浜小学校5年生(29名)に対し、漁業に関する講習、体験実習、施設見学を実施し、将来就く職業の一つとして考えてもらうよう、漁業の啓発を図った。	175
4. 干潟保全活動支援事業	740	地区漁業者が中心となる活動組織が干潟保全活動を行い、干潟機能の回復と漁場環境の改善を図った。	175
5. 漁業近代化資金利子補給補助金	169	東日本大震災で被害を受けた漁業者の資金借りに生じる利子を補給し、復旧に必要な資金の借りに円滑化と漁業経営の再生を図った。	175

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 3. 漁港管理費

(単位 千円)

予算現額 41,461 千円
決算額 6,578 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,443		950	3,185

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 水産物供給基盤機能保全事業	4,759	漁港施設の経年による老朽化が著しいことから、効果的・効率的な施設の改良・更新による長寿命化を図るため、施設の老朽化機能診断に基づいて、機能保全計画書を作成した。	175

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 4. 漁港建設費

(単位 千円)

予算現額 36,722 千円
決算額 36,501 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
18,121	12,684	4,800	114	782

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 津波・高潮危機管理対策緊急事業	36,501	漁港区域内における護岸の老朽化が著しいことから、早期に改修を行い、背後地の住民の生命・財産を守るため、護岸工事を行った。 ・豊北漁港護岸改良工事 L=56.5m	175

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 1. 商工総務費

(単位 千円)

予算現額 221,816 千円
 決算額 221,319 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,919			218,400

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢志摩総合地方卸売市場出資金	171,070	株主が割合に応じて増資を行い、卸売市場の経営基盤の安定化を図り、消費者へ生鮮食料品の安定供給と地元生産者への安定的な販路の確立に努めた。増資株数 17,107株	177
2. 消費生活センター運営事業	5,202	架空請求や悪質商法、多重債務など消費生活にまつわるトラブルについて、専門相談員による相談を行った。また、被害を未然に防ぐため、紙芝居を作成し、高齢者クラブを中心にわかりやすい出前講座を行った。さらに、小さい頃からの消費者教育の重要性を認識し、小学校2校で出前授業を実施した。消費生活相談件数 518件	177

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 2. 商工業振興費

(単位 千円)

予算現額 48,399 千円
 決算額 40,544 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				40,544

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 商工制度資金利子補給事業補助金	5	平成18年末までに小俣町商工会の斡旋により小規模事業資金の融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じた利子の補給補助を行い、小俣町商工会管内の商工業者の設備資金及び運転資金の円滑化を図った。補助件数 1件	177
2. 小規模事業資金保証料補給補助金	3,887	伊勢商工会議所または平成19年以降に小俣町商工会の斡旋により三重県信用保証協会の保証を得て小規模事業資金の融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じて融資に係る保証料の補助を行い、設備資金及び運転資金の円滑化を図った。補助件数 148件	177
3. 経営改善普及事業補助金	17,760	中小企業の経営改善及び経営強化を支援するため、伊勢中小企業相談所(伊勢商工会議所内)及び小俣町商工会が行う経営指導事業等に要する経費に対して補助金を交付し、中小企業の振興に寄与した。	177

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁				
4. TMO構想推進事業補助金	3,034	<p>商店街の集客力及び機能回復を促進することを目的に、いせTMO（事務局：商工会議所）が実施する事業に補助金を交付した。</p> <p>(1)空店舗等対策事業</p> <table border="0"> <tr> <td>①空店舗活用モデル事業</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>②テナント確保支援事業</td> <td>5件</td> </tr> </table> <p>(2)商業まちづくり補助金事業 3件</p>	①空店舗活用モデル事業	1件	②テナント確保支援事業	5件	177
①空店舗活用モデル事業	1件						
②テナント確保支援事業	5件						
5. 商業活性化策推進事業	5,086	<p>地域住民や観光客等の買い物環境を整備することを目的に、消費者のニーズに応えた店舗や商店街づくり、商業環境の整備を新たに実施する店舗、商店街等に補助金を交付した。</p> <p>補助件数 8件</p>	177				
6. <u>住宅・店舗リ フォーム促進事業 補助金</u>	9,717	<p>市内住宅関連産業を中心とする地域経済の活性化を図るため、住宅や店舗のリフォーム又は増改築を行う者に対し、補助金を交付した。</p> <p>補助件数 121件</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 10,000,000円 ・住宅 60件 ・店舗等 20件</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成23年度からの新規事業 平成23年度 9,628,000円 補助件数 110件</p> <p>【事業を取りまく状況等】 本補助金制度が、リフォーム又は増改築を行うきっかけとなり、市内の住宅関連産業の活性化が図られ、地域経済の活性化につながった。</p>	177				
7. <u>地域産品販売促進 事業</u>	1,055	<p>式年遷宮に向けて、伊勢の魅力を全国に発信し、特産品のPR、販路拡大を図るため、首都圏等において物産展を開催した。 東京2回 大阪3回</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 1,104,000円 観光物産展 東京2回 名古屋1回 大阪1回</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成23年度からの新規事業 平成23年度 東京2回</p> <p>【事業を取りまく状況等】 伊勢の魅力を発信し、特産品などの地域資源の認知度を向上させるとともに販路拡大につなげ、地域産業の活性化を図っていく。</p>	177				

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 3. 産業支援推進費

(単位 千円)

予算現額 183,412 千円
 決算額 180,069 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			88,947	91,122

産業支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. ものづくり推進事業	1,651	中小製造業者等が行う新製品、新技術の研究開発に対し、「新産業創出支援事業補助金」を交付した。 また、伝統工芸品産業の再生と後継者育成に繋がる事業に対し、「伝統工芸品等再生支援事業補助金」を交付した。	頁 179
2. 企業立地推進一般経費	2,385	企業誘致用地の維持管理、及び企業誘致のための担当者の資質向上に努めた。	179

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. <u>企業立地推進事業</u>	7,754	<p>産業の振興、雇用の創出を図るべく、企業立地に向け、誘致活動や、首都圏での企業立地セミナー開催、全国の企業を対象とした企業動向調査、市内企業への情報収集などを実施した。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 9,855,000円 ・企業訪問の実施 ・企業立地セミナー開催 ・企業誘致パンフレット、チラシ作成 ・日経事業用地ナビ（事業用地検索サイト）への掲載 ・新聞広告掲載 5回 ・企業立地動向調査 ・伊勢志摩地域産業活性化協議会負担金</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成23年度 7,952,611円 ・企業訪問の実施 ・企業立地セミナー開催 ・企業誘致パンフレット、チラシ作成 ・日経事業用地ナビ（事業用地検索サイト）への掲載 ・新聞広告掲載 6回 ・神菌工業団地不動産鑑定評価 ・企業立地動向調査 ・企業情報抽出 ・立地用地PR用DVD修正 ・神菌工業団地案内看板設置 ・伊勢志摩地域産業活性化協議会負担金 平成22年度 1,442,907円 ・企業訪問の実施 ・企業誘致パンフレット作成 ・新聞広告等掲載 2回 ・企業立地動向調査 ・立地用地PR用DVD作成 ・伊勢志摩地域産業活性化協議会負担金</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・サン・サポート・スクエア伊勢については昨年度までに4件の企業を誘致し、全体面積の約66%が分譲済みとなった。 ・津波等の災害に対する危機管理意識の高まりから、高台の工業団地であるサン・サポート・スクエア伊勢については立地が進んでいるが、全国的に見ると生産拠点の統廃合などによる既存立地企業の地域外流出の動きも進んでいる為、既存立地企業の事業高度化や、地域内での二次投資の支援などの対策も必要となっている。</p>	179
4. 工場等誘致奨励事業	88,739	<p>「伊勢市工場等立地促進条例」に基づき、奨励金を交付した。 奨励金実績 88,738,950円（2件）</p>	179
5. 産業支援センター 管理運営経費	45,642	<p>平成24年度より、専門性を向上させ効率的・効果的に業務を進めるため指定管理制度を導入した。平成24年4月から5年間を指定管理期間とした。指定管理者は、施設の管理運営と企業訪問・課題解決、起業家育成、各種講習会の開催などに取り組んだ。</p>	179

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 1. 観光総務費

(単位 千円)

予算現額 301,299 千円
 決算額 215,337 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,958		10,600	2,850	190,929

観光企画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 伊勢活性化プロジェクト事業	570	「伊勢観光活性化プロジェクト会議」が平成24年度で終了となるため、各部会の今後について検討した。また事業全体の成果をまとめ、「外宮前名物・御饌井」のHPに掲載した。	頁 179
2. <u>バリアフリー観光向上事業</u>	17,379	<p>高齢者や障がいを持つ方に観光旅行を楽しんでいただく基盤を整え、国内の宿泊旅行者数を増加させることを目的に、市内観光宿泊施設に対し、バリアフリー観光の無料相談やバリアフリー改修補助金の交付（1/2補助・上限400万円）などの支援を行った。</p> <p>委託料 2,260,650円 補助金 15,099,000円（10施設）</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 委託料 2,688,000円 相談10件、改修に伴う業務10施設 補助金 20,000,000円 @2,000,000円×10施設</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 23年度（23年度からの事業のため22年度は無し） 委託料 2,832,000円 補助金 8,149,000円（7施設）</p> <p>【事業を取り巻く状況等】 ・高齢社会化や障がい者の社会進出により、障がい者、高齢者の来訪機会増加が予想される。 ・観光地としてバリアフリー対応が必須となりつつある。 ・宿泊施設以外の観光分野へも意識啓発を行うことが課題</p>	179

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 災害に強い観光地 づくり事業	296	<p>観光客の避難対策推進を目的に、観光地域の観光事業者等が主体的に観光客の防災対策を進められるよう、各種取り組みを実施した。</p> <p>講演会は、学識経験者を講師に招き、開催した。</p> <p>勉強会は、平成21年度～平成23年度に実施のモデル事業の受託者を講師に招き、その取り組み事例・手法等を伝えながら、市内二つの観光地域において勉強会を重ね、避難マップや避難マニュアルの検討を行った。</p> <p>講演会 51,628円 平成24年5月30日開催</p> <p>勉強会 244,598円 外宮地域 2回開催 二見地域 10回開催</p> <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>講演会当初予算額 106,820円 1回開催</p> <p>勉強会 344,170円 市内3地域×3回開催</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成24年度新規事業のため、過去の実績なし。</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <p>・発災時に住民をはるかに超える数の観光客を避難させるための取り組みは重要性、緊急性が高いため、今後も取り組みを継続したい。中でも、二見地域では観光客避難マニュアルの作成を進めたい。</p>	181
4. 観光振興基本計画 策定事業	154	<p>平成26年度以降の観光振興の指針となる新たな観光振興基本計画の策定に着手した。有識者や地元観光関連団体の代表者からなる会議を立ち上げた。プロポーザルにより委託先を決定し、一部調査を開始した。</p>	181

観光事業課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 海水浴場管理運営 事業	3,867	<p>二見浦海水浴場の施設維持管理及び開設に伴う管理委託等を行った。</p> <p>○委託料 1,866千円 (管理運営委託) ((公社)伊勢市観光協会へ委託) 750千円 (防護フェンス設置委託等)</p> <p>○修繕料 891千円 (水位計取替、制御盤改造 木製建具新設工事等)</p> <p>○その他諸経費 360千円</p> <p>○開設期間 平成24年6月30日～8月31日</p> <p>○来場者数 H24年度 17,030人</p>	179
2. 初参り旅客接遇事 業負担金	500	<p>(公社)伊勢市観光協会及び地元団体と共同で初詣客に対して、伊勢市駅前広場付近でおもてなしと文化の発信を行った。</p>	179

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>3. おもてなし推進事業</p>	<p>28,423</p>	<p>平成25年の御遷宮に向けて、増加する観光客に対するおもてなし・歓迎事業を行った。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 37,783,000円 ・車椅子貸出事業 1,000,000円 ・案内サイン整備事業 31,000,000円 ・奉祝団体歓迎事業 1,300,000円 ・観光人材育成事業 575,000円 ・キャラクターおもてなし事業 400,000円 ・音声ガイド事業 3,208,000円 ・二見浦にぎわいプロジェクト 300,000円</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成23年度 ・車椅子貸出事業 81,655円 ・案内サイン整備事業 818,272円 ・授乳コーナー設置工事 68,250円 ・観光人材育成事業 260,766円</p> <p>平成22年度 実績なし</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・車椅子貸出事業 伊勢市駅周辺においても実施するための調査、準備を行った。 ・案内サイン整備事業 サイン22か所の設置及び改修と8か所の案内標識の設置及び補修を行った。 ・奉祝団体歓迎事業 受入実行委員会を設立し、1団体の受入を決定した。 ・観光人材育成事業 観光業者、タクシー業者及び市内の学生を対象に研修会を実施した。 ・キャラクターおもてなし事業 はなてらすちゃんを観光PRキャラクターに位置付け活動を行った。 ・音声ガイド事業 日本人観光客及び外国人観光客に対して、音声ペンによる音声観光案内を行った。 ・二見浦駅にぎわいプロジェクト 二見浦を訪れる観光客に対するおもてなしを行うための活動を支援した。</p>	<p>181</p>
<p>4. 案内ガイド連携事業</p>	<p>200</p>	<p>市内で活動している観光ガイド団体及び案内所による「伊勢たびナビの会」において、観光客に対するおもてなし活動を行った。</p>	<p>181</p>

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 案内所運営委託事業	12,631	伊勢市駅・宇治山田駅・二見浦観光案内所で、観光客の案内を行った。（（公社）伊勢市観光協会、二見町旅館組合に委託） 三重県内では伊勢市駅及び宇治山田駅観光案内所が外宮前観光案内所とともに、唯一の外国人観光案内所カテゴリー2（注）に指定され、外国人旅行者に対しても積極的な観光案内を行った。 （注）外国人観光案内所カテゴリー2：少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐し、広域の案内を提供できる。 ・伊勢市駅観光案内所 80,946件 （うち外国人 2,244件） ・宇治山田駅観光案内所 36,579件 （うち外国人 528件） ・二見浦観光案内所 12,196件 （うち外国人 235件）	181
6. 観光協会負担金	8,294	（公社）伊勢市観光協会の財政基盤の強化と事業展開の推進のため財政的な支援を行った。	181
7. 伊勢市駅前手荷物預かり所（仮称）整備事業	2,063	式年遷宮により訪れる多くの観光客のニーズに対応するため、手荷物預かり所の整備を進めた。 伊勢市駅前手荷物預かり所新築工事 木造2階建 建築面積：99㎡ 延面積：139㎡ 【平成25年度へ繰越】	181

二見総合支所 地域振興課

（単位 千円）

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 賓日館管理運営事業	9,512	国指定重要文化財である賓日館の運営及び維持管理を、「NPO法人 二見浦・賓日館の会」を指定管理者とすることで、地域の雇用を創出するとともに、随時イベント等を開催し、文化水準及びまちづくり意識の向上を図り、より多くの集客に繋げた。また、施設の電気設備改修を行い、維持向上に努めた。 ○委託料 5,700千円（指定管理料） ○入館者数 H24年度 28,384人 ・賓日館電気設備改修工事等 838千円 ・AED・駐車場用地賃借料 1,651千円 ・賓日館庭園樹木剪定業務委託 1,323千円	179

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 2. 旅客誘致費

(単位 千円)

予算現額 134,259 千円
 決算額 130,989 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				130,989

観光企画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 観光情報発信事業	23,790	<p>誘客宣伝を目的に、広告、パンフレット、ホームページ、セールス活動等情報発信を行い、来訪者の新規開拓、リピーターの確保を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広告媒体を活用した情報発信 <ul style="list-style-type: none"> 掲載件数 75件 総発行部数 14,452,698部 ・ 観光バスへの全面広告掲載 228日間運行 ・ 各地域の主要旅行会社へのセールス活動 ・ インターネットを活用した情報発信 <ul style="list-style-type: none"> アクセス数 1,214,201件 ・ パンフレット等作成による情報発信並びに誘客活動 <ul style="list-style-type: none"> 郵送件数 1,988件 ・ 外宮周辺の魅力創出および発信事業 ・ 観光需要創出事業 ・ フェイスブックページ運用事業 <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>当初予算額 (主な内訳) 25,458千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広告媒体を活用した情報発信 6,500千円 ・ 観光バスへの全面広告掲載 1,512千円 ・ 誘客セールス活動 426千円 ・ インターネットを活用した情報発信 899千円 ・ パンフレット等作成 6,750千円 ・ 外宮周辺魅力創出・発信事業 3,000千円 ・ 観光需要創出事業 4,375千円 ・ フェイスブックページ運用事業 0円 <p>【過去2カ年度の実績】</p> <p>平成23年度 21,981千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広告媒体掲載件数 57件 ・ 観光パンフレット郵送件数 966件 ・ ホームページアクセス数 837,292件 <p>平成22年度 18,272千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広告媒体掲載件数 54件 ・ 観光パンフレット郵送件数 1,261件 ・ ホームページアクセス数 673,220件 <p>【事業をとりまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広告媒体への掲載件数については、空き紙面活用などの活用等により、掲載件数が前年より増加した。 ・ パンフレットの郵送数についても、御遷宮を目前に控え増加しており、今後も増加が見込まれる。 ・ ホームページへのアクセス件数についても、御遷宮が近づくとつれ増加傾向にある。 	頁 181

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 広域連携事業	8,940	近隣市町及び県内外の関係機関との連携を強化しながら多様化する観光客ニーズを的確に捉え、効率的かつ効果的な誘客宣伝並びに受入体制の充実を推進した。	181
3. 「はじまりのまち伊勢」誘客戦略推進事業	4,000	観光販売システムズに業務委託する形で、伊勢の観光資源を活用した旅行商品の開発等伊勢への誘客事業を積極的に推進した。	181
4. 各種集大会等誘致開催補助金	3,890	伊勢市への集大会の誘致を積極的に図り、市内への来訪・滞在者数を増加させることにより観光による経済波及を促すため、県大会規模以上の各種集大会の主催者に対し、補助金を交付した。	181
5. 伊勢志摩広域観光活性化事業	13,619	伊勢志摩観光の誘客宣伝・地域づくり活動のために、伊勢志摩観光振興プランの推進及び観光基盤整備事業、伊勢志摩キャンペーン事業等を実施した。	181
6. <u>外国人観光客誘致推進事業</u>	5,228	<p>外国人観光客の誘致事業として、関係各所と各種事業を協働するとともに、伊勢市単独での取り組みにも着手した。</p> <p>広域での取り組みにおいては、尖閣問題などで困難もあったが、ビジットジャパン事業として中国人ブロッガー招へい・情報発信等を行った。</p> <p>市単独としては、平成24年5月24日に東京都有楽町の日本外国特派員協会にて「日本のふるさと『伊勢』講演会及び交流会」を実施し、国外への情報発信を促進するとともに、伊勢の魅力発見事業として河崎在住のカナダ人落語家・桂三輝氏を起用した伊勢の紹介映像に英語字幕をつけ、ユーチューブにてインターネット配信した。また、観光情報HPの多言語化対応を行った。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 5,985,000円 ・東海地区外国人観光客誘致促進協議会 ・伊勢志摩地域・鳥羽市外国人観光客誘致促進協議会（ビジットジャパン事業） ・外国人観光客誘致促進講演会 ・観光情報HP多言語化 ・伊勢の魅力発見事業</p> <p>【過去2カ年度の実績】 ・平成23年度 2,151,319円 ・平成22年度 3,891,233円</p> <p>【事業をとりまく状況等】 ・日本国内での伊勢の知名度は申し分ないが、国外に目を転じた場合、知名度はまったくないに等しい。 ・人口減少社会においては伊勢への観光客は減少とならざるを得ず、国外からの誘客戦略展開が急務となっている。</p>	181

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 御遷宮誘客宣伝事業	23,058	<p>御遷宮に向けた誘客を行うため、「全国でのPRキャラバン」、「発地での旅行機会提供」等の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PRキャラバン実施 22箇所 ・伊勢単独旅行商品全国展開事業 <p>大手4社による伊勢専用パンフレットの作成 遷宮情報を入れた観光案内データ作成 共通ロゴの作成 「伊勢お餅三昧」クーポンの作成</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 23,516,000円 ・全国でのPRキャラバン実施15回 7,066千円 ・発地での旅行機会提供 15,000千円 ・媒体を介した発信 1,450千円</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 当該年度のみ事業のため、実績なし。</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・PRキャラバンについては目的とした地域全てでPRを行うことができ、遷宮に向け伊勢への誘客を推進するとともに、情報収集を行うことができた。 ・発地での旅行機会提供に資する伊勢単独旅行商品の造成については、当初の予定以上の企画数の旅行商品が作成できた。</p>	181

観光事業課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. フットボールヴィレッジ推進事業	76	伊勢フットボールヴィレッジを広く周知するため、施設のPR、誘客を行った。	181
2. 広域連携事業	5,298	近隣市町及び県内外の関係機関との連携を強化しながら多様化する観光客ニーズを的確に捉え、効率的かつ効果的な誘客宣伝並びに受入体制の充実を推進した。	181
3. おもてなしスキルアップ事業	180	外国人観光客に特化したおもてなしを考える団体「Welcomeいせの会」において、日本在住の外国人と交流するためのツアーを開催したほか、先進地視察を行うなど、今後の活動について勉強した。	181
4. 春の行事負担金	2,910	日本さくらの名所百選の宮川堤において(公社)伊勢市観光協会との共催、宮川保勝会の協力により、訪れた花見客の安全対策等を行った。(4月1日～10日)	181
5. 花火大会開催負担金	40,000	52業者の花火師が参加。打上花火の部52組、スターマインの部11基の2部門で競われ、また60回大会の記念大会として開催し、約10,000発が打ち上げられ、約25万人が観覧した。	181

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 3. 伝統文化推進費

(単位 千円)

予算現額 32,400 千円
 決算額 32,400 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				32,400

観光事業課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 民俗伝統行事推進 事業負担金	27,400	平成25年度に行われる「お白石持行事」に向けて、現場シミュレーションを実施するなど、準備を進めた。 また、「さっぽろ雪まつり」において、大雪像の制作を行うなど、式年遷宮の広報誘客を行った。	頁 183
2. 伊勢のまつりブラン ド化推進事業	5,000	10月15日に、日本全国の有名な祭り22団体約800名による響演「祭のまつり」が外宮周辺で開催され、前日の14日には前夜祭が行われた。 また、翌16日には伊勢神宮奉仕会主催の初穂曳が実施された。	183

(款) 9. 土木費 (項) 1. 土木管理費 (目) 1. 土木総務費

(単位 千円)

予算現額 238,855 千円
 決算額 235,695 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,862		10	227,823

用地課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 地籍調査推進事業	15,206	国土調査法に基づく地籍調査について、調査区域を定め、調査区域内の地籍（地番・所有者・地積・地目・境界）の整備に努めた。 ○調査区域 ①岩淵2丁目 調査面積 0.07 k m ² 実施工程 H工程 ②岩淵1丁目 調査面積 0.10 k m ² 実施工程 E2・F・G工程 ③本町・一志町・宮後1丁目 調査面積 0.10 k m ² 実施工程 E1工程 ④吹上1丁目 調査面積 0.01 k m ² 実施工程 E1工程 ⑤東豊浜町 調査面積 0.26 k m ² 実施工程 地籍調査スタートアップ事業 (県補助100%)	183

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 1. 道路橋梁総務費

(単位 千円)

予算現額 202,281 千円
 決算額 199,833 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
566			994	198,273

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路管理経費	9,738	適切な道路管理を行うため、道路の拡幅及び道路用地の寄付採納を行った。	185
2. 道路台帳整備経費	13,125	道路事業等に伴う市道の認定、改良等に基づき、道路台帳の修正業務を行った。 (概要) ・道路台帳修正 新規認定 8.8 km 廃止及び未共用 1.5 km 改良 0 km	185

用 地 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路管理経費	1,134	建築行為等に際して、道路後退用地の寄付採納を行い、狭あい道路の解消を図った。また、寄付採納した後退用地の舗装工事を行った。 (概要) 公共用地の取得(寄付) 1件 地権者数 2人 筆数 1筆 面積 2.93㎡ 舗装工事 2件 面積 122.44㎡	185

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 2. 道路維持費

(単位 千円)

予算現額 340,847 千円
 決算額 220,273 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				220,273

維 持 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路舗装事業	34,212	道路路面の舗装が荒廃し、通行に支障がある箇所の舗装整備を行った。 また、危険箇所、老朽箇所を補修し、道路の安全確保と生活環境の改善を図った。 (概要) ・舗装工事 4件 A = 5,874.0㎡	185

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 3. 道路新設改良費

(単位 千円)

予算現額 503,951 千円
 決算額 494,151 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		406,000	93	88,058

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 道路改良事業	172,535	市単独事業による道路拡幅整備等により道路機能の改善を行い、生活環境基盤の整備を進めている。 (概要) ①現年分 設計業務 一式 2件 測量業務 一式 3件 測量業務・設計業務 一式 3件 検討業務・調査業務 一式 1件 道路改良 L=594m 5件 安全施設設置 一式 1件 用地 A=4,409.63㎡ 補償 6名(延べ人数) ②平成23年度から一部繰越 補償 1名	頁 185

維 持 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>1. 道路側溝等改良事業</p>	<p>321,616</p>	<p>市民生活に密接した道路側溝等の整備を行うことにより、道路機能の改善、生活環境基盤の整備を図った。 また、危険箇所等の補修を行い、道路の安全確保と生活環境の改善を図った。</p> <p>現年分 321,615,990円 ・測量設計等 41件 ・一般改良 24件 L=6,425.5m (平成25年度へ一部繰越)</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 326,650,000円 ・測量設計等 一式 ・一般改良 19件 L=7,835.0m</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成23年度 現年分 292,137,300円 ・測量設計等 53件 ・一般改良 23件 L=5,922.1m</p> <p>繰越分 52,057,950円 ・一般改良 8件 L=1,164.6m</p> <p>平成22年度 現年分 210,542,850円 ・測量設計等 76件 ・一般改良 29件 L=3,967.66m</p> <p>繰越分 193,088,700円 ・一般改良 16件 L=3,963.9m ・排水工 1件 一式</p> <p>【事業を取りまく状況等】 道路施設は、破損、劣化、老朽化などにより、工事の必要な箇所は毎年生じるため、事業は永久的に必要となる。 これまで継続的に事業を実施してきたが、現在でも市民要望は多数寄せられており、要望に対処しきれていない状況である。</p>	<p>185</p>

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 4. 橋梁維持費

(単位 千円)

予算現額 21,971 千円
 決算額 21,651 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,272	7,100			12,279

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 禊橋橋梁整備事業	5,325	名勝二見浦の夫婦岩前に位置する禊橋は、老朽化が著しくその対応が必要である。このことから、名勝地の形状変更に必要な文化庁長官の許可を得て名勝地にふさわしい景観を生み出すとともに安全な橋梁を整備するため事業を推進している。 (概要) 設計業務・検討業務 一式 1件	187

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 5. 交通安全施設費

(単位 千円)

予算現額 42,413 千円
 決算額 39,197 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				39,197

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 交通安全施設整備事業	10,213	交通安全施設を新たに設置し、交通事故防止、交通安全環境の確保を図った。 (概要) ・道路反射鏡 73基 ・道路照明設備 8基	187

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 6. 道路整備事業費

(単位 千円)

予算現額 249,596 千円
 決算額 213,717 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
101,398		103,700	4,262	4,357

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 勢田5号線ほか1線整備事業(交付金)	25,875	本路線は、主要地方道伊勢磯部線と緊急時の拠点となる県庁舎を結ぶ重要路線であるが、道路幅員が狭く、急カーブがあるため安全性に欠ける。このことから、緊急時の道路機能を保持し、市民生活を守るため、本路線の事業を推進している。 (概要) 道路改良 L=15m 1件 ◇社会資本整備総合交付金事業	頁 187
2. 神久1号線ほか1線整備事業(交付金)	15,845	本路線は、道路幅員が狭く車両の対向も困難であり、特に朝夕の通勤通学時には車両と歩行者が混在し、非常に危険な状態となっていることから、安全性の確保及び道路機能の向上を図るため、本路線の事業を推進している。 (概要) ①現年分 道路改良 L=15m 1件 ②平成23年度から繰越 道路改良 L=192m 1件 (平成24年度分と合併施行) 補償 1件 ◇社会資本整備総合交付金事業	187
3. 西36号線ほか1線整備事業(交付金)	3,615	本路線周辺の主要道路は、小学生児童の通学路として、またバス路線としても利用されているが、道路幅員が狭く、地域住民の安全に支障をきたしていることから、安全性の確保及び道路機能の向上を図るため、本路線を整備した。 (概要) ①平成23年度から一部繰越 道路改良 L=25m 1件 ◇社会資本整備総合交付金事業	187

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 茶屋25号線整備 事業(交付金)	75,106	<p>名勝二見浦がある本地区は、特に休日に駐車場不足による混雑が発生し、住民の生活環境が悪化している。このため交通結節点である二見総合駐車場の整備と合わせて、国道42号からのアクセスが円滑になるよう本路線の整備を行った。</p> <p>(概要)</p> <p>①現年分 道路改良 L=101m 1件 用地 A=42.13㎡ 補償 1名</p> <p>②平成23年度から繰越 用地 A=223.71㎡ 補償 5名(延べ人数)</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	187
5. <u>桧尻川22-10</u> <u>号線整備事業(交</u> <u>付金)</u>	93,276	<p>本路線周辺は、大型商業施設及び集合住宅、さらには伊勢赤十字病院の開院に伴い、交通渋滞がますます悪化している。このため、周辺の交通機能を充実させ、渋滞緩和及び防災道路としての機能向上を図るため、本路線を整備した。</p> <p>(概要)</p> <p>道路舗装 A=539㎡ 1件 用地 A=739.7㎡ 補償 1名</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 87,110,000円 ・道路舗装 一式 1件 ・用地・補償 一式</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成23年度 33,508,125円 ・道路改良 一式 1件 (平成22年度から繰越) ・安全施設設置 一式 1件 (平成22年度から繰越) ・用地 一式 (平成22年度から繰越)</p> <p>平成22年度については、実績なし。</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・事業完了によって、病院、学校、商業施設への交通の円滑化や安全性の向上が図れた。 ・今後は、本事業の周辺道路の整備を進めることで、さらなる交通環境の向上を図っていく。</p>	187

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 2. 勢田川対策費

(単位 千円)

予算現額 15,419 千円
 決算額 15,254 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
9,899				5,355

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 勢田川浄化経費	13,918	平成5年10月から、宮川7.4km地点(辻久留2丁目地内)で取水し、勢田川5.1km地点(小田橋下流)に、0.7m ³ /秒以下、4.4km地点(吹上ポンプ場付近)に0.3m ³ /秒以下の導水を行っている。 (平成24年度稼働日数344日)	頁 187

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 4. 河川改良費

(単位 千円)

予算現額 82,301 千円
 決算額 59,166 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				59,166

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 河川改良事業	59,166	流下断面の不足や護岸、河床の浸食等により人家等への災害発生が危惧される河川において、河川拡幅や護岸改良を行い、浸水被害や災害の防止対策を進めた。 (概要) 管理業務 一式 1件 調査業務 一式 1件 境界杭復旧業務 一式 1件 測量業務・調査業務 一式 1件 設計業務・地質調査業務 一式 1件 側道舗装 A=174m ² 1件 河川改良 L=173m 2件 既設構造物撤去 一式 1件 ろ過装置撤去 一式 1件 補償 1名	頁 189

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 6. 排水路整備費

(単位 千円)

予算現額 166,374 千円
 決算額 48,987 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		35,100	13,472	415

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 排水施設整備事業	48,987	豪雨時の急激な増水等による浸水を防止するため、排水路の整備を進めた。また、自然排水が困難な地域においては、ポンプ場の新設・増設等を行うことで、浸水被害の防止対策を進めている。 (概要) ①現年分 測量業務 一式 1件 設計業務 一式 2件 調査業務 一式 1件 電気設備工 一式 1件 (平成25年度へ一部繰越) 機械設備工 一式 1件 (平成25年度へ繰越) 補償 1名 ②平成23年度から一部繰越 排水路改良 L=200m 2件 ポンプ場整備 一式 1件 ③平成23年度から繰越 ポンプ場整備 一式 2件 機械設備工 一式 1件 防雨カバー設置工 一式 1件 除塵設備改良 一式 1件 補償 1名	189

(款) 9. 土木費 (項) 4. 港湾海岸費 (目) 1. 港湾海岸費

(単位 千円)

予算現額 27,392 千円
 決算額 23,791 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,235	15,300	242	4,014

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 県営事業地元負担金	16,974	三重県が施行した海岸環境整備事業、港湾改修事業に対し、負担を行った。 海岸維持：宇治山田港（大湊・二見）、北浜地区、神前地区、松下地区 港湾改修：宇治山田港（大湊）	191

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 2. まちづくり推進費

(単位 千円)

予算現額 256,539 千円
 決算額 22,014 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,188			2,488	18,338

都市計画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 中心市街地都市機能再生促進事業	2,489	<p>本事業は、中心市街地の活性化を図るため、伊勢市駅周辺地区で民間事業者が実施する商業施設・駐車場整備等に対し補助金の支援を行うものである。</p> <p>なお、平成24年度においては、平成23年度から繰り越した「伊勢市駅前民間都市開発事業調査委託」(2ヵ年施行)の初年度分を施行することにより、伊勢市駅前民間開発事業(ジャスコ跡)について事業者信用調査および事業評価を行った。</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊勢市駅前民間都市開発事業調査委託(平成23年度分) 2,488,500円 (平成23年度から繰越) <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>当初予算額 229,760,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊勢市駅前民間都市開発事業調査委託(平成24年度分) 1,700,000円 (1,239,000円に減額し、平成25年度へ繰越) 伊勢市市街地再開発事業等補助金(ジャスコ跡) 228,060,000円 (160,000,000円に減額し、平成25年度へ繰越) <p>繰越予算額 2,489,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊勢市駅前民間都市開発事業調査委託(平成23年度分) 2,489,000円 <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成23年度からの新規事業であるが、平成24年度へ繰越されたため、実績はなし。</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業に関連し、経済状況の急激な悪化等により、進捗が停滞している市街地再開発事業等について市が緊急的に上乘せ支援を行い、事業を促進することで中心市街地の活性化を図ることを目的とした「中心市街地都市機能再生促進事業(緊急促進分)」を6月補正にて予算計上した。 <p>補正予算額 68,000,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊勢市市街地再開発事業等・地域再生緊急促進事業補助金(ジャスコ跡) 68,000,000円 (平成25年度へ繰越) <p>・平成25年8月に伊勢市駅前民間都市開発事業(ジャスコ跡)が完了予定。</p>	頁 191

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 5. 街路事業費

(単位 千円)

予算現額 996,805 千円
 決算額 649,022 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
276,155		342,900	12,545	17,422

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 県営事業地元負担金	37,345	三重県が施行した街路整備事業に対し、負担を行った。 (秋葉山高向線、新国道)	頁 193

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. <u>八日市場高向線ほか1線(2工区)整備事業(交付金)</u>	163,054	<p>八日市場高向線ほか1線は、市内の幹線道路として、伊勢市地域防災計画において緊急輸送道路に位置づけるなど、防災機能の強化、都市内交通の円滑化並びに市街地の活性化を目的として整備を進めた。</p> <p>(概要)</p> <p>除草業務 一式 2件 調査業務 一式 1件 再積算業務 一式 1件 用地 A=551.57㎡ 補償 2名(延べ人数)</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 250,089,000円 ・除草業務 一式 2件 ・調査業務 一式 6件 ・再積算業務 一式 2件 ・用地・補償 一式</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成22年度については、実績なし。 平成23年度 113,671,927円 ・除草業務 一式 1件 ・調査業務 一式 2件 ・用地 一式</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・道路整備プログラムにより、優先順位を決定して整備する都市計画道路である。 ・現況道路が狭小なため、緊急車両がスムーズに通行できるようにし、また車両対向時の歩行者の安全を確保するよう整備する。</p>	頁 193

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁																																	
2. <u>八日市場高向線整備事業(交付金)</u>	167,133	<p>八日市場高向線は、市内の幹線道路として、伊勢市地域防災計画において緊急輸送道路に位置づけるなど、防災機能の強化、都市内交通の円滑化並びに市街地の活性化を目的として整備を進めた。</p> <p>(概要)</p> <table border="0"> <tr> <td>除草業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>再積算業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>道路改良</td> <td>L = 46m</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>用地</td> <td>A = 353.92㎡</td> <td></td> </tr> </table> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p> <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>当初予算額 373,966,000円</p> <table border="0"> <tr> <td>・除草業務</td> <td>一式</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>・再積算業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>・道路改良</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>・用地・補償</td> <td>一式</td> <td></td> </tr> </table> <p>【過去2カ年度の実績】</p> <p>平成22年度 14,256,847円</p> <table border="0"> <tr> <td>・用地</td> <td>一式</td> <td></td> </tr> </table> <p>平成23年度 184,979,446円</p> <table border="0"> <tr> <td>・道路改良</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>・用地・補償</td> <td>一式</td> <td></td> </tr> </table> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路整備プログラムにより、優先順位を決定して整備する都市計画道路である。 ・現況道路が狭小なため、緊急車両がスムーズに通行できるようにし、また車両対向時の歩行者の安全を確保するよう整備する。 	除草業務	一式	1件	再積算業務	一式	1件	道路改良	L = 46m	1件	用地	A = 353.92㎡		・除草業務	一式	2件	・再積算業務	一式	1件	・道路改良	一式	1件	・用地・補償	一式		・用地	一式		・道路改良	一式	1件	・用地・補償	一式		193
除草業務	一式	1件																																		
再積算業務	一式	1件																																		
道路改良	L = 46m	1件																																		
用地	A = 353.92㎡																																			
・除草業務	一式	2件																																		
・再積算業務	一式	1件																																		
・道路改良	一式	1件																																		
・用地・補償	一式																																			
・用地	一式																																			
・道路改良	一式	1件																																		
・用地・補償	一式																																			
3. <u>街路施設改良事業(交付金)</u>	93,267	<p>名勝二見浦がある二見町茶屋地区は、特に休日に駐車場不足による混雑が発生し、住民の生活環境が悪化している。このため、交通結節点として二見総合駐車場の整備を行った。</p> <p>(概要)</p> <p>①現年分</p> <table border="0"> <tr> <td>二見総合駐車場整備</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>用地</td> <td>A = 267.29㎡</td> <td></td> </tr> </table> <p>②平成23年度から繰越</p> <table border="0"> <tr> <td>用地</td> <td>A = 8.46㎡</td> <td></td> </tr> </table> <p>◇社会資本整備総合交付金事業(①)</p> <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>当初予算額 84,536,000円</p> <table border="0"> <tr> <td>・二見総合駐車場整備</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>・用地</td> <td>一式</td> <td></td> </tr> </table> <p>繰越予算額 297,000円</p> <table border="0"> <tr> <td>・用地</td> <td>一式</td> <td></td> </tr> </table> <p>【過去2カ年度の実績】</p> <p>平成22年度については、実績なし。</p> <p>平成23年度 5,328,750円</p> <table border="0"> <tr> <td>・測量業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>・設計業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> </table> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場整備を行い駐車台数を確保し、市民や来訪者が快適に移動できる交通体系を整備した。 	二見総合駐車場整備	一式	1件	用地	A = 267.29㎡		用地	A = 8.46㎡		・二見総合駐車場整備	一式	1件	・用地	一式		・用地	一式		・測量業務	一式	1件	・設計業務	一式	1件	193									
二見総合駐車場整備	一式	1件																																		
用地	A = 267.29㎡																																			
用地	A = 8.46㎡																																			
・二見総合駐車場整備	一式	1件																																		
・用地	一式																																			
・用地	一式																																			
・測量業務	一式	1件																																		
・設計業務	一式	1件																																		

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁																																																												
4. <u>伊勢市駅前広場整備事業(交付金)</u>	75,712	<p>伊勢の顔づくりとして、伊勢市駅南口の景観を創造し、交通結節点としての機能の向上を図るとともに、広場機能の充実を図るための整備を進めた。</p> <p>(概要)</p> <table border="0"> <tr> <td>便所ほか解体</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>広場整備</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(平成25年度へ一部繰越)</td> </tr> <tr> <td>照明灯設置</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(平成25年度へ一部繰越)</td> </tr> <tr> <td>天蓋施設設置</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(平成25年度へ一部繰越)</td> </tr> <tr> <td>補償</td> <td>2名(延べ人数)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(平成25年度へ繰越)</td> </tr> </table> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 213,378,000円</p> <table border="0"> <tr> <td>・測量業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>・広場整備</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>・天蓋施設設置</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>・照明灯設置</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>・便所解体</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>・補償</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> </table> <p>【過去2カ年度の実績】 平成22年度については実績なし。 平成23年度 44,214,400円</p> <table border="0"> <tr> <td>・設計業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>・便所新築</td> <td>1棟</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>・試掘</td> <td>3箇所</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>・仮駐輪場整備</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>・駐輪場整備</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> </table> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊勢市駅前広場は、老朽化が進んでいることに加え、バス・タクシー、一般車両が集中し、運転者や歩行者にとって大変危険な状況となっている。平成25年の神宮式年遷宮に向けて交通結節点としての機能の向上、また広場機能の充実を図ることが急務となっていたが、平成25年7月末に完成予定である。 用地の約半分がJR東海所有地であり、現在の駅前広場管理協定に基づいて工事を行うことから、JR東海との協議・調整が必要である。工事完了後駅前広場管理協定を再度見直し、締結する予定である。 	便所ほか解体	一式	1件	広場整備	一式	1件			(平成25年度へ一部繰越)	照明灯設置	一式	1件			(平成25年度へ一部繰越)	天蓋施設設置	一式	1件			(平成25年度へ一部繰越)	補償	2名(延べ人数)				(平成25年度へ繰越)	・測量業務	一式	1件	・広場整備	一式	1件	・天蓋施設設置	一式	1件	・照明灯設置	一式	1件	・便所解体	一式	1件	・補償	一式	1件	・設計業務	一式	1件	・便所新築	1棟	1件	・試掘	3箇所	1件	・仮駐輪場整備	一式	1件	・駐輪場整備	一式	1件	193
便所ほか解体	一式	1件																																																													
広場整備	一式	1件																																																													
		(平成25年度へ一部繰越)																																																													
照明灯設置	一式	1件																																																													
		(平成25年度へ一部繰越)																																																													
天蓋施設設置	一式	1件																																																													
		(平成25年度へ一部繰越)																																																													
補償	2名(延べ人数)																																																														
		(平成25年度へ繰越)																																																													
・測量業務	一式	1件																																																													
・広場整備	一式	1件																																																													
・天蓋施設設置	一式	1件																																																													
・照明灯設置	一式	1件																																																													
・便所解体	一式	1件																																																													
・補償	一式	1件																																																													
・設計業務	一式	1件																																																													
・便所新築	1棟	1件																																																													
・試掘	3箇所	1件																																																													
・仮駐輪場整備	一式	1件																																																													
・駐輪場整備	一式	1件																																																													

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. <u>宇治山田駅前広場 整備事業</u>	112,511	<p>宇治山田駅前広場の再生・活用を図るとともに、市民及び来訪者の安全を確保するための整備を行った。</p> <p>(概要)</p> <p>横断歩道橋撤去 一式 1件 (平成23年度から繰越)</p> <p>広場整備 一式 1件 (平成23年度から一部繰越)</p> <p>照明灯設置 一式 1件 (平成23年度から繰越)</p> <p>歩道整備 一式 1件 (平成23年度から一部繰越)</p> <p>道路舗装 A=2, 211m² 1件 (平成23年度から繰越)</p> <p>信号灯取替 一式 1件 (平成23年度から繰越)</p> <p>補償 1名(延べ人数) (平成23年度から繰越)</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p> <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>繰越予算額 127,324,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横断歩道橋撤去 一式 1件 ・広場整備 一式 1件 ・照明灯設置 一式 1件 ・歩道整備 一式 1件 ・補償 一式 <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成23年度 30,010,000円</p> <p>横断歩道橋撤去 一式 1件 (平成24年度へ繰越)</p> <p>広場整備 一式 1件 (平成24年度へ一部繰越)</p> <p>照明灯設置 一式 1件 (平成24年度へ繰越)</p> <p>歩道整備 一式 1件 (平成24年度へ一部繰越)</p> <p>平成22年度(まちづくり推進費にて執行) 6,224,400円</p> <p>設計業務 一式 1件 (平成23年度へ繰越)</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <p>・宇治山田前広場は、老朽化が進んでいることに加え、バス・タクシー、一般車両が集中し、運転者や歩行者にとって大変危険な状況となっていた。そのため、平成25年の神宮式年遷宮に向けて交通結節点としての機能の向上、また広場機能の充実を図ることが急務となっていたが、平成24年11月末に整備が完了した。</p>	193

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 6. 公園費

(単位 千円)

予算現額 378,357 千円
 決算額 127,874 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
38,440		52,300	15,110	22,024

観光事業課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 朝熊山麓公園サッカー場整備事業	23,477	<p>朝熊山麓公園を健康増進及び生涯スポーツの拠点と位置付け、市民がよりスポーツに親しみやすい環境づくりを行うため、伊勢フットボールヴィレッジ人工芝2面の寄贈を受け、電話配線工事等を行った。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 伊勢フットボールヴィレッジ構想を推進するために整備を行った。 主な工事 ・電話等配線工事 ・サイン設置工事 ・目隠しネット設置工事</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成23年度 決算額：135,659千円 主な工事 ・フットボール場整備に伴う造成工事 ・フットボール場整備に伴う詳細設計業務委託 ・フットボール場整備に伴う造園工事</p> <p>平成22年度 実績なし</p> <p>【事業を取りまく状況等】 平成25年3月3日に伊勢フットボールヴィレッジ人工芝サッカーピッチ2面及びクラブハウスが完成し、平成25年4月1日から一般供用を開始した。</p>	195

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁												
1. 公園整備事業(交付金)	38,703	<p>都市公園における総合的な安全・安心対策事業を緊急かつ計画的に実施し、子供や高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備を進めた。</p> <p>(概要)</p> <table> <tr> <td>調査業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>便所改築</td> <td>1棟</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>公園改修</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>東屋等設置</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> </table> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	調査業務	一式	1件	便所改築	1棟	1件	公園改修	一式	1件	東屋等設置	一式	1件	195
調査業務	一式	1件													
便所改築	1棟	1件													
公園改修	一式	1件													
東屋等設置	一式	1件													

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 高向西公園整備事業（防衛）	30,469	御菌町高向地区の非常時における緊急避難場所の確保を図るとともに、地区住民の快適なレクリエーション・コミュニティ活動の場を提供するために公園整備を行った。 （概要） 公園整備 一式 1件 ◇防衛施設周辺民生安定施設整備事業	195
3. <u>倉田山公園整備事業（防災交付金）</u>	20,586	倉田山公園については、防災公園としての防災機能の充実を図るため、大規模災害時における避難場所や災害活動拠点地として活用できるよう整備するとともに、平常時における市民の防災意識の向上を目的とした教養施設や、憩いの場、スポーツレクリエーションの場としての整備を行った。 （概要） 設計業務 一式 1件 【当初予算における内容・計画】 当初予算額 23,000,000円 ・設計業務 一式 【過去2カ年度の実績】 平成24年度新規事業 【事業を取りまく状況等】 ・倉田山公園は防災公園として充実を図るとともに、新消防庁舎を本地に建設する予定である。	195

建築住宅課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>倉田山公園整備事業（防災交付金）</u>	1,580	倉田山公園については、防災公園としての防災機能の充実を図るため、大規模災害時における避難場所や災害活動拠点地として活用できるよう整備するとともに、平常時における市民の防災意識の向上を目的とした教養施設や、憩いの場、スポーツレクリエーションの場としての整備を行った。 （概要） 設計業務 一式 1件 (平成25年度へ繰越) 地質調査業務 一式 1件 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 34,216,000円 ・設計業務 一式 【過去2カ年度の実績】 平成24年度新規事業 【事業を取りまく状況等】 ・倉田山公園は防災公園として充実を図るとともに、新消防庁舎を本地に建設する予定である。	195

(款) 9. 土木費 (項) 6. 住宅費 (目) 1. 住宅管理費

(単位 千円)

予算現額 210,190 千円
 決算額 156,520 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,426			106,227	39,867

建築住宅課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 公営住宅維持管理 経費	56,118	平成24年10月より、入居者サービスの向上と効率的かつ経済的な管理運営を目的に、指定管理者による市営住宅の管理を開始した。 指定管理者：FE住宅管理共同企業体 期 間：平成24年10月1日 ～平成29年3月31日 期間全体の 指定管理料：375,072,000円	195
2. 高齢者向け優良賃 貸住宅家賃対策事 業	6,565	民間の土地所有者等による賃貸住宅の経営を誘導することにより、公営住宅を補完し高齢者の安全で安定した居住を確保するため、平成14年3月29日付で三重県知事より認定を受けた高齢者向け優良賃貸住宅供給計画に基づき、民間事業者により建設された高齢者向け優良住宅に対し、昨年度に引き続き住宅の家賃減額補助を行った。 (施設概要) 名 称 仲林マンション正邦苑竹ヶ鼻 所在地 伊勢市竹ヶ鼻町字沖田198番地 概 要 鉄筋コンクリート造 5階建 24戸 1DK 43.22㎡ 20戸 2DK 54.42㎡ 4戸 エレベーター、緊急通報装置の設置、内装の バリアフリー化	195
3. 住宅等改修事業	14,324	市営住宅の機能保持と安全性確保のため、下記の工事を実施した。 (概要) 外部倉庫取替 一式 1件 空家解体 一式 2件	195
4. 住宅等整備事業	22,251	平成23年度に策定した「社会資本総合整備計画(地域住宅支援分野)」に基づき、市営住宅の機能改善のため、下記の工事等を実施した。 (概要) 駐車場整備(舗装) A=1,750㎡ 1件 高齢者仕様改善 一式 1件 屋根改修 一式 1件 移転補償 1件	197

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 1. 常備消防費

(単位 千円)

予算現額 1,994,673 千円
 決算額 1,906,293 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
22,176		32,800	395,073	1,456,244

消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 応急手当普及啓発事業	1,525	「いつでも・どこでも・誰でも」応急手当が可能となるよう、自動体外式除細動器 (AED) の取り扱いを含めた講習を行い、市民への普及を図った。 応急手当法指導講習に係る消耗物品等を購入 1,525千円 【実績】 平成24年度救命講習実施回数 118回 受講延人数 5,454人	197
2. 各種資機材購入経費	11,814	救急・救助・警防活動に必要な資機材の充実を図った。 軽量空気ボンベ 20本 1,111千円 軽量消防用ホース 40本 1,462千円 半自動除細動器一式 1台 2,783千円 防火外套一式 40着 4,725千円ほか	197
3. 消防緊急システムハードウェア更新経費	7,875	消防緊急指令システムの最適な運用を目的とし不慮の事故に備え、無停電電源装置を交換した。 消防緊急指令施設用無停電電源装置等交換業務委託 7,875千円	197
4. 消防自動車購入事業	74,700	車両更新計画により、老朽化した消防自動車2台を更新した。 水槽付消防ポンプ自動車 (1-B型) 西分署配備 1台 37,223千円 度会出張所配備 1台 37,223千円ほか	199
5. 消防緊急指令施設更新事業	4,333	老朽化した消防緊急指令施設を庁舎新設に合わせて高機能消防指令センターとして導入するため、平成24年度は消防救急デジタル無線活動波推進事業と共に設計業務委託を行った。 消防無線整備及び消防指令センター 整備実施設計業務委託 《うち消防緊急指令施設更新事業 4,333千円》	199

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. 消防救急デジタル無線活動波推進事業	3,577	平成28年5月に電波法関係審査基準（総務省訓令）の改正により現行の消防アナログ無線が使用できなくなることから消防無線をデジタル化するため消防緊急指令施設更新事業と共に設計業務委託を行った。 消防無線整備及び消防指令センター整備実施設計業務委託 《うち消防救急デジタル無線活動波推進事業3,577千円》	199
7. 消防本部庁舎新設事業	6,119	平成27年度内の完成を目指し、平成24年度は建築設計業務委託等の事業を実施した。 予算は、消防本部と防災センターを併設するため、都市整備部建築住宅課と合わせて計上した。 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 37,121千円 建築設計業務委託 地質調査業務委託 【過去2ヵ年度の実績】 平成24年度新規事業 【事業を取りまく状況等】 ・現消防本部庁舎は、施設の老朽化やスペースの不足に加え、発生が予測されている南海トラフ巨大地震の津波浸水地域にあるため、災害対応力が懸念される。 ・完成後は、平時の消防本部機能の強化に加え、大災害時は市及び防災関係機関が救難活動を円滑に行う拠点施設として防災公園機能と共に活用することができる。	199

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 2. 非常備消防費

(単位 千円)

予算現額 104,287 千円
決算額 99,805 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,215		5,000	8,307	78,283

消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 各種資機材購入経費	1,708	消防車両に積載してある消防用ホース等を購入した。 軽量消防用ホース 47本 1,080千円 自動車用消火器 28本 544千円ほか	199
2. 小型動力ポンプ付積載車購入事業	14,157	消防団車両更新計画に基づき経年の小型動力ポンプ付積載車3台を更新した。 小型動力ポンプ付軽積載車 1台 小型動力ポンプ付普通積載車 2台 計 3台 14,031千円ほか	199

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 消防団安全対策設備整備事業	1,499	東日本大震災等を教訓とし、消防団員の安全対策の強化を図るため、また、情報伝達手段として各物品を購入した。 ライフジャケット369着 922千円 拡声器 48台 577千円	199

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 3. 消防施設費

(単位 千円)

予算現額 61,895 千円
決算額 52,143 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		14,500	283	37,360

消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 消火栓新設負担金	5,828	市内の水道管布設工事に併せ消火栓の不足地域に消火栓11基を設置し、消防水利の普及を図った。 単口消火栓11基 5,828千円	199
2. 消防団車庫改修事業	546	消防団車庫の前に下水道管が埋設されたため引込工事を行った。 消防団厚生・早修分団車庫下水道引込工事 537千円ほか	199
3. 消防署庁舎改修経費	9,354	経年により老朽化した各消防署庁舎を機能維持を目的として改修した。 消防署小俣分署屋根防水工事 4,984千円 消防署西分署下水道工事 1,055千円ほか	201
4. 消防団車庫建替事業	15,991	防災拠点である、消防団車庫を老朽化のため建替えし、消防力の向上を図った。 消防団小俣分団小俣第3班車庫改築工事設計業務委託 1,160千円 消防団小俣分団小俣第3班車庫改築工事 鉄骨造2階建：延面積77.49㎡ 14,181千円ほか	201

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 5. 災害対策費

(単位 千円)

予算現額 1,102,877 千円
 決算額 720,796 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
292,834	38,301	236,400	1,818	151,443

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 自主防災隊資機材購入事業	570	新規結成の自主防災隊に対して、資機材倉庫や消火器などを交付し、地域防災力の向上を図った。 資機材配備 1 隊：宮本団地自主防災隊	201
2. 自主防災隊補助事業	10,092	伊勢市自主防災補助金等交付要綱に基づき、自主防災隊及び自治区の行う防災事業・活動に対し補助を行った。 自主防災隊訓練助成金 2,520千円 84件 防災補助金 7,572千円 86件	201
3. 防災気象情報収集システム運用経費	1,897	災害対応に必要な初動体制を確保するため、気象予報事業者に委託し、気象情報の早期収集を図った。	201
4. 地域防災力向上支援事業	4,093	自治会、自主防災隊、企業及び小中学校等からの要請に応じ、防災講習や防災講座を実施した。 地域住民主体のタウンウォッチングを行い、避難経路等の意識共有を行うとともに、防災情報を記載した地区の防災マップを作成した。	201
5. 災害時要援護者対策事業	495	高齢者、障がい者などの災害時要援護者を対象に家具固定事業を実施した。 取付世帯 40世帯	201

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. <u>避難対策事業</u>	15,128	<p>①避難所の立地箇所や施設構造等の専門的な分析を行い、避難所の見直し業務を行った。</p> <p>②避難所見直しに伴い、新たに設定する避難所の周知を目的としてハザードマップを作成し、各戸に配布した。</p> <p>③二見町全域において、津波避難訓練を実施した。</p> <p>④自治会の協力を得て、海拔表示シールの取り付けを行った。</p> <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>①避難所検討業務経費 6,876千円</p> <p>②ハザードマップ更新業務委託 1,453千円</p> <p>ハザードマップ印刷費 1,460千円(55,000部)</p> <p>③津波避難訓練実施経費 1,213千円</p> <p>④標高表示板設置業務委託 4,621千円</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成23年度</p> <p>避難所検討業務委託 4,673千円</p> <p>避難勧告等の判断伝達マニュアル修正業務 2,930千円</p> <p>平成22年度</p> <p>平成23年度からの新規事業のため実績なし</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所の見直しにあたっては、地元との意見交換会を開催し、市民意見等を取り入れて作成を行った。 ・避難所の追加・変更が随時行われることから、最新のハザードマップの情報提供手段について検討が必要。 ・海拔表示シールは、当初、表示板での設置を予定していたが、近隣市町との表示を合わせるためシールでの設置となった。 	203

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁																																										
7. <u>備蓄物資整備事業</u>	36,336	<p>●備蓄物資 伊勢市地域防災計画に定める備蓄計画に基づき、非常用食料等を購入し、物資の整備推進を図った。</p> <p>契約額 31,516千円 主な購入品目</p> <table border="0"> <tr><td>ビスケット</td><td>7,020食</td></tr> <tr><td>アルファ米（アレルギー対応）</td><td>5,850食</td></tr> <tr><td>アルファ米（梅かゆ）</td><td>200食</td></tr> <tr><td>飲料水</td><td>20,160^{リットル}</td></tr> <tr><td>毛布</td><td>3,000枚</td></tr> <tr><td>カセットガス式発電機</td><td>108台</td></tr> <tr><td>畳ロール</td><td>108枚</td></tr> </table> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 46,240千円</p> <table border="0"> <tr><td>ビスケット</td><td>7,040食</td></tr> <tr><td>アルファ米（アレルギー対応）</td><td>6,050食</td></tr> <tr><td>飲料水</td><td>20,160^{リットル}</td></tr> <tr><td>毛布</td><td>3,000枚</td></tr> <tr><td>カセットガス式発電機</td><td>108台</td></tr> <tr><td>畳ロール</td><td>108枚</td></tr> </table> <p>【過去2カ年度の実績】 平成23年度 18,718千円</p> <table border="0"> <tr><td>ビスケット</td><td>7,040食</td></tr> <tr><td>アルファ米</td><td>8,250食</td></tr> <tr><td>アルファ米（アレルギー対応）</td><td>2,500食</td></tr> <tr><td>飲料水</td><td>20,160^{リットル}</td></tr> </table> <p>平成22年度 4,610千円</p> <table border="0"> <tr><td>ビスケット</td><td>4,800食</td></tr> <tr><td>アルファ米</td><td>5,000食</td></tr> <tr><td>アルファ米（アレルギー対応）</td><td>2,000食</td></tr> <tr><td>飲料水</td><td>5,040^{リットル}</td></tr> </table> <p>【事業を取り巻く状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルファ米については、安全性の観点から平成24年度以降はアレルギー対応食のみを購入している。 ・平成25年度中に三重県における南海トラフ地震の被害想定が更新されるため、備蓄目標の検討が必要である。 <p>●備蓄倉庫 小中学校に備蓄している既存物資を高所へ移転するため、また、新規に物資を備蓄するため、校舎に備蓄倉庫等を整備した。</p> <p>工事費 4,820千円 実施校数 11校</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 17,691千円 実施予定校数 36校</p> <p>【過去2カ年度の実績】 実施なし</p> <p>【事業を取り巻く状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初36校を予定していたが、工事を行わずに備蓄物資保管用のスペースを確保することができた校舎や、倉庫整備が可能なスペースがなく、今後の検討となった校舎があったことなどから、11校の実施となった。 ・備蓄倉庫として提供可能なスペースが確保された場合には、順次、備蓄倉庫の整備を進めていく。 	ビスケット	7,020食	アルファ米（アレルギー対応）	5,850食	アルファ米（梅かゆ）	200食	飲料水	20,160 ^{リットル}	毛布	3,000枚	カセットガス式発電機	108台	畳ロール	108枚	ビスケット	7,040食	アルファ米（アレルギー対応）	6,050食	飲料水	20,160 ^{リットル}	毛布	3,000枚	カセットガス式発電機	108台	畳ロール	108枚	ビスケット	7,040食	アルファ米	8,250食	アルファ米（アレルギー対応）	2,500食	飲料水	20,160 ^{リットル}	ビスケット	4,800食	アルファ米	5,000食	アルファ米（アレルギー対応）	2,000食	飲料水	5,040 ^{リットル}	203
ビスケット	7,020食																																												
アルファ米（アレルギー対応）	5,850食																																												
アルファ米（梅かゆ）	200食																																												
飲料水	20,160 ^{リットル}																																												
毛布	3,000枚																																												
カセットガス式発電機	108台																																												
畳ロール	108枚																																												
ビスケット	7,040食																																												
アルファ米（アレルギー対応）	6,050食																																												
飲料水	20,160 ^{リットル}																																												
毛布	3,000枚																																												
カセットガス式発電機	108台																																												
畳ロール	108枚																																												
ビスケット	7,040食																																												
アルファ米	8,250食																																												
アルファ米（アレルギー対応）	2,500食																																												
飲料水	20,160 ^{リットル}																																												
ビスケット	4,800食																																												
アルファ米	5,000食																																												
アルファ米（アレルギー対応）	2,000食																																												
飲料水	5,040 ^{リットル}																																												

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
8. <u>防災行政無線整備事業</u>	356,683	<p>○災害発生時に市民の生命・財産の安全確保を図り、応急対策、災害復旧・復興に関する業務を遂行するため、平成22年度から『伊勢市防災行政無線（デジタル同報系）整備工事』による無線設備の更新及び統合を進めている。平成24年度は、現在難聴地域となっている地域への屋外拡声子局の新設及び既設子局の更新を実施した。</p> <p>(1) 平成24年度予算分 屋外拡声子局整備工事等 280,757,895円 屋外拡声子局 68基 うち、再送信子局 1基（高麗広）</p> <p>(2) 平成23年度繰越予算分 屋外拡声子局整備工事 75,925,500円 屋外拡声子局 23基</p> <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>(1) 平成24年度予算額 425,781,000円 屋外拡声子局設備 110基 うち、再送信子局設備 1基（高麗広）</p> <p>(2) 平成23年度繰越予算額 75,977,900円 屋外拡声子局設備 22基</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成23年度 326,206,125円 ・遠隔制御卓整備 2台（二見・小俣） ・B型屋外拡声子局設備 83基 うち、再送信子局 2基（鍛冶屋峠、松下社） うち、再々送信子局 1基（菖蒲公民館）</p> <p>平成22年度 339,115,545円 ・親局設備（親卓）1基 ・東庁舎通常通信所（A型遠隔制御卓）1基 ・B型遠隔制御卓整備 1台（消防本部） ・中継局設備 1局（三郷山） ・屋外拡声子局設備 35局</p> <p>【事業を取りまく状況等】 防災行政無線の整備については、平成25年度でデジタル化、合併後の一元化は終了する予定であるが、災害時の情報伝達がより円滑に行われるよう、防災行政無線を中心とした伊勢市防災総合システムの充実及び市民への一層の周知を図る。</p>	203
9. 住宅・建築物耐震改修等促進事業	68,877	<p>○阪神・淡路大震災では昭和56年の建築基準法の新耐震基準施行前に建築された木造住宅が多数倒壊したことを教訓に、東海・東南海・南海地震による木造住宅の倒壊からの被害を最小限にするため、木造住宅の無料耐震診断を実施した。 診断件数 86件</p> <p>○木造住宅耐震診断の結果、「倒壊の危険性が高い」と診断された木造住宅を対象として、耐震補強工事等に要した費用に対する一部補助を行った。 耐震補強設計 47件 耐震補強工事 39件 除却工事 13件 リフォーム工事 37件</p> <p>○木造住宅の耐震診断の結果、「倒壊の危険性が高い」と診断された木造住宅を対象として、耐震シェルターの設置に要した費用に対する一部補助を行った。 耐震シェルター設置事業補助 1件</p>	203

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
10. 避難所等整備事業	161,229	<p>津波の浸水が予測されている地域の小中学校等の避難所に次の設備を整備した。</p> <p>①外付階段及び屋上フェンス設置工事 浜郷小学校ほか13校 142,067千円</p> <p>②外付階段照明等設置工事 今一色小学校ほか15校 7,531千円</p> <p>③地震自動オープン錠付防災ボックスの設置 有緝小学校ほか20箇所 4,631千円</p> <p>④津波避難誘導看板設置工事 今一色小学校ほか18校 6,138千円</p> <p>⑤アマチュア無線用アンテナ設置 伊勢市役所ほか2箇所 300千円</p> <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>①外付階段及び屋上フェンス設置工事 浜郷小学校ほか12校 120,666千円</p> <p>②外付階段照明等設置工事 今一色小学校ほか14校 8,370千円</p> <p>③地震自動オープン錠付防災ボックスの設置 御菌小学校ほか3校 628千円 学校避難所進入工具物置設置工事 今一色小学校ほか19校 818千円</p> <p>④津波避難誘導看板設置工事 今一色小学校ほか19校 7,184千円</p> <p>⑤アマチュア無線用アンテナ設置 伊勢市役所ほか2箇所 438千円</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成24年度からの新規事業</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発生が危惧されている南海トラフ巨大地震等の災害から市民の生命を守るため、更なる避難環境の整備が必要である。 津波からの避難困難地に対する緊急避難所として、津波避難タワー等の整備が急務である。 ハード整備と平行して、市民の防災意識の向上と、避難行動のスキルアップを図る。 学校避難所へ進入工具の設置を予定していたが、学校との協議により防犯上の観点から、地震自動オープン錠付防災ボックスの設置となった。 	203

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 災害ボランティア 支援事業	206	<p>災害発生時に市と伊勢市社会福祉協議会が関係団体などと協働で運営を行う伊勢市災害ボランティアセンターの運営・設置に関する体制の構築に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊勢市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの策定 講演会、運営訓練などの開催 	203

御菌総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. CATV緊急防災 システム管理運営 経費	1,478	御菌町地域は災害時の緊急連絡手段としてCATVを利用した情報システムを運用しているため、転入、転居者等のCATVへの加入金、機器の設置費を負担し、地域の防災情報連絡手段の整備を実施した。 負担金支出世帯 39世帯	201

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 2. 事務局費

(単位 千円)

予算現額 691,642 千円
 決算額 678,731 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
21,246	674		22,221	634,590

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. スクールバス運行 事業	8,276	横輪・矢持地区では三重交通㈱にスクールバス運行業務を委託し、また高麗広地区では直営のスクールバスを運行し、児童生徒の通学上の安全を確保した。	205
2. <u>小中学校適正規模 化・適正配置推進 事業</u>	358	<p>少子化の進行による様々な課題を解消し、より望ましい教育環境の構築と教育の質の向上を図るため、各地域での説明会等の開催や統合準備会の設置を行い、小中学校の適正規模化・適正配置の推進を図った。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 1,502,000円 ・旅費 142,000円 ・需用費 100,000円 ・使用料及び賃借料 1,260,000円</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成24年度新規事業</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・地域住民及び保護者等への説明会等を開催した。 開催回数 計124回 参加人数 延べ1,637人</p> <p>・豊浜中学校・北浜中学校統合準備会を設置した。 平成24年度 計4回開催</p>	205
3. 奨学金育英事業補 助金	4,308	<p>国家社会に貢献する有用な人材を育成するため、学校教育法による大学・高等専門学校・高等学校に在学する学生・生徒で、経済的理由により修学困難な者に対し、奨学金を支給した。</p> <p>県外大学：9人 県内大学：7人 公立高校：29人 私立高校：7人 公立高専(1～3年)：1人 私立高専(1～3年)：1人</p>	205

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 私立学校等振興助成事業	102,483	<p>○私立幼稚園就園奨励費補助金（国の補助事業） 国の基準に基づき、私立幼稚園に在園する市内在住園児の保護者に対して世帯の所得状況に応じて入園料及び保育料の補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金支給者数： 910人 ・補助金支給額： 88,609千円 <p>○私立幼稚園保育料補助金 市内の私立幼稚園に在園する市内在住の4歳～5歳児の保護者に対し、保育料の補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金支給者数： 771人 ・補助金支給額： 3,855千円 <p>○幼児教育育成補助金 市内私立幼稚園の幼稚園経営の健全化を図るため、幼稚園の運営費に対して補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金支給額： 10,019千円 	205

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校行事開催事業	3,414	<p>子どもたちが音楽や美術・科学等に触れる機会を支援した。</p> <p>○科学創作展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：児童生徒の科学的な作品や創意工夫した創作的な作品を展示し、一般に公開した。 ・委託先：伊勢市科学創作教育振興会 ・開催日：平成24年9月8日(土)・9日(日) ・開催場所：伊勢市生涯学習センター ・委託料：217,600円 <p>○教育美術展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：児童生徒の絵画、書写作品を展示し、一般に公開した。 ・委託先：伊勢市教育美術展運営委員会 ・開催日：平成24年12月1日(土)・2日(日) ・開催場所：伊勢市生涯学習センター ・委託料：300千円 <p>○音楽演劇発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：児童生徒による合唱・吹奏楽・太鼓の演奏会が行われた。 ・委託先：伊勢市中学校連合音楽演劇発表会 ・開催日：平成24年11月16日(金) ・開催場所：伊勢市観光文化会館 ・委託料：1,832,160円 <p>○伊勢まつり「小学生連合鼓笛パレード」「中学生吹奏楽」「公立幼稚園ダンス」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：伊勢市駅前小学生による鼓笛パレード、中学生による吹奏楽、公立幼稚園児によるダンスが行われた。 ・委託先：伊勢まつり鼓笛・イベント実行委員会 ・開催日：平成24年10月6日(土)・7日(日) ・開催場所：県道鳥羽松阪線 尼辻交差点～伊勢市駅前 ・委託料：1,063,832円 	205
2. 学校教育支援事業	115,951	<p>学習支援員や教育支援ボランティアを配置し、特別支援学級や通常学級に在籍する児童生徒の生活面や学習面の支援を行った。また、個に応じた指導・支援を行い、確かな学力の定着や、さまざまな教育活動の充実を図った。</p>	205

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 就学指導委員会事業	160	次年度就学予定児及び小中学校に在籍する児童生徒について、障がいの種類や程度等を的確に把握するとともに、その保護者等に適切な情報を提供し、観察活動・教育相談を通じ、一人ひとりに応じた就学指導を行った。	205
4. 特別支援教育推進事業	498	子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援を行うために、特別支援教育体制整備をすすめた。専門家（臨床心理士・大学教授・特別支援学校教諭・保健師等）による市内保幼小中への巡回相談や、教職員の研修会、保護者啓発のための講演会等を実施した。	205
5. 子どもたちとつくる「やさしいまち伊勢市」支援事業	1,000	児童生徒が地域の人との交流（ふれあい）や地域探検を通して、高齢者や障がい者が住みやすいまちづくりについて考え、気づき、行動する取組を支援した。 ①「やさしいまち伊勢市発見大賞」の実施 ユニバーサルデザインの部、発見・体験エピソード作文の部、俳句・川柳・短歌の部の3部門に分けて市内の小中学生を対象に、作品を募集した。今年度の応募総数は751点。そのうち、市長賞3点、教育長賞3点、優秀賞各部門小中学校で計6点、入賞各部門小中学校で計18点を決定した。入賞作品集を作成し、入賞者の他小中学校36校、各関係機関に配布した。 ②事業委託校の取組 事業委託をうけた小学校6校、中学校3校が、児童生徒が地域の人との交流（ふれあい）や地域探検を通して、高齢者や障がい者が住みやすいまちづくりについて考え、気づき、行動する取組を展開した。	205
6. 非核・平和運営事業	1,017	各中学校から生徒代表2名（男女各1名）と、引率教員2名、指導主事2名を派遣し、平和学習を深めた。報告会を開催するとともに、広報いせ、ケーブルテレビ、報告文集を作成し、広く市民に平和の尊さを伝えた。	205

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 3. 教育研究所費

(単位 千円)

予算現額 228,946 千円
決算額 221,295 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			35,938	185,357

教育研究所

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 不登校対策ハートケア事業	520	不登校児童生徒のための教育支援センター「NEST」では、通級生一人ひとりの社会的自立を目指した学校復帰に向けて、個に応じた生活や学習の指導及び支援を行った。 通級児童生徒数 25名 相談件数(述べて件数) 1430件 (電話1119件、来所155件、学校訪問156件)	205

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 教育研究研修推進 経費	3,541	教育に関する今日的、将来的な課題について研究を進めるとともに、教職員・保護者・市民対象の研修講座を開催し、市内保幼小中学校の教育力向上を図った。 研究運営 課題研究プロジェクト 他 9件 研修運営 研修講座 他 27講座	207
3. <u>子どもリレーションシップ総合推進事業</u>	30,536	<p>「いじめ」の早期発見・早期対応・未然防止のため「子どもの人間関係づくり」の研究を行った。 研究推進のためモデル校24校を指定し、非常勤講師の配置による研究体制の強化を図るとともに、Hyper-QUの結果・分析に基づいた研修会を実施し、学級集団づくりを支援した。また、不登校の理解と対応のための教職員資料集『ハーモニーハート』を作成し、全教職員に配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師賃金 24,912千円 ・活動消耗品 15千円 ・研修会参加経費 239千円 ・実践事例集等制作助言者経費 67千円 ・実践事例集等印刷経費 551千円 ・Hyper-QU実施委託経費 4,012千円 ・生活指導負担金 740千円 <p>【当初予算における内容、計画】 32,754千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師賃金 26,143千円 ・活動消耗品 53千円 ・研修会参加経費 266千円 ・実践事例集等制作助言者経費 104千円 ・実践事例集等印刷経費 1,260千円 ・Hyper-QU実施委託経費 4,158千円 ・生活指導負担金 770千円 <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成23年度 29,463千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師賃金 23,014千円 ・研修会講師経費 512千円 ・活動消耗品 52千円 ・実践事例集印刷経費 1,126千円 ・Hyper-QU実施委託経費 4,005千円 ・生活指導負担金 754千円 <p>平成22年度 11,280千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師賃金 7,747千円 ・研修会講師経費 795千円 ・活動消耗品 43千円 ・実践事例集印刷経費 570千円 ・Hyper-QU実施委託経費 2,125千円 <p>【事業を取り巻く状況】 いじめが社会問題になっている今、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向け、平成22年度に13校、23年度に24校、24年度に24校で、非常勤講師の配置により研究体制の強化を図るとともに「子どもの人間関係づくり」の研究を進めている。 子どもが安心して通える学校づくり、居心地のよい学級集団づくりを行うには、全校への支援の継続が必要であることから、今後の支援の方向について早急に検討する必要がある。</p>	207

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. スクールサポート 事業	19,478	小中学生の教育、不登校及びいじめ等の問題について、学校及び保護者等からの相談に対し、教育コンサルタントが電話及び面接等により対応するとともに、状況に応じ学校訪問・家庭訪問を行った。さらに、児童生徒・保護者を対象に、臨床心理士によるカウンセリングを実施し、専門的且つ継続した指導及び心のケアを図った。 ・教育相談件数 112件 ・カウンセリング 684件	207
5. 小学校教育用コン ピュータ管理経費	81,877	小学校教育用コンピュータの整備・管理により、次世代型の学習環境構築を進め、わかりやすい授業の実現、児童生徒の情報活用能力の育成を図った。	207
6. 中学校教育用コン ピュータ管理経費	48,100	中学校教育用コンピュータの整備・管理により、次世代型の学習環境構築を進め、わかりやすい授業の実現、児童生徒の情報活用能力の育成を図った。	207

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 4. 人権教育費

(単位 千円)

予算現額 42,207 千円
決算額 41,697 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,068			40,629

人権政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 講演会研修開催事 業	906	○ 第7回人権を考える市民の集い 井上浩義さん(慶応義塾大学医学部教授)を講師として招き、平成24年7月26日いせトピアで開催(約300人参加)し、人権に対する正しい理解と認識を広めることができた。 ○ 伊勢市人権講演会 山田パンダさん(ミュージシャン・子どもサポーター・市民科先生)を講師として招き、平成24年12月16日いせトピアで開催(約200人参加)し、人権に対する正しい理解と認識を広めることができた。	207
2. 同和問題地域啓発 推進事業	254	3地域を指定し、推進委員を委嘱して6回の合同研修を開催した。その後、推進委員がリーダーとなり地域住民の同和問題への正しい理解を広めるため、各地域2回の啓発活動を行った。最後に全員で報告会を開催し事業を終えた。	207
3. 小学校区別人権・ 同和教育推進連絡 協議会事業	786	小学校区を単位として、人権教育推進のための協議会を組織し、自主的な啓発活動を進めた。 平成24年度、豊浜東小学区を設立し、結成団体数21団体から22団体となった。	207

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 講演会研修開催事業	216	<ul style="list-style-type: none"> ○ 管理職（教頭）人権教育研修会 みえハートセンター看護部長 中村可奈さんを講師に迎え、人権感覚溢れる組織づくり、人材育成について講演をしていただいた。 ○ 人権教育リーダー養成研修会 市内小中学校の人権教育推進委員を対象に、年間5回各学校での人権教育を推進するための実践的な研修を実施した。 ○ 教職員用人権学習資料集 「人権学習ナビゲーション」作成（850冊） 	207
2. 人権教育研究委託経費	800	人権教育に関わる事業の充実を図るため、人権教育の研究や研修会の開催などを伊勢市人権・同和教育研究会に事業委託し、市内各小中学校等の加盟団体にて、実践の交流・研修会の開催・人権教育のカリキュラムの研究等が行われ、成果として研究紀要が発行された。	207
3. 子ども人権フォーラム21開催事業	610	市内全小中学校の代表者が、小学生の部（11月28日）・中学生の部（12月5日）に分かれ、観光文化会館にて一堂に会し、人権問題に係る人権作文の発表を聞いた後、自校の人権学習や生活の場で学んだことをもとに自らの体験等を発表しあった。その学びをすべての学校で還元し、人権学習をより充実させることができた。	207
4. 人権教育推進一般経費	354	先進的な取組を学ぶことができる研修会に参加し、最新の情報や資料を得ることができた。 「小中学校人権教育授業実践事例集（300部）」「人権の芽（1,150部）」を作成・印刷し、各学校へ配付するとともに活用を促すことで、人権学習の推進に役立たせることができた。	207
5. 中学校区ヒューマン・ライツ推進事業	480	それぞれの中学校区で人権教育の指導の改善・充実について実践研究に取り組むとともに、幼稚園・小学校・中学校がそれぞれ授業交流に努めた。平成24年度は、倉田山・厚生・北浜・沼木・城田・二見中学校区を研究指定校区に指定し実施した。	207

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 5. 教育集会所費

(単位 千円)

予算現額 21,040 千円
 決算額 17,871 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				17,871

人権政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 教育集会所人権教育事業	37	人権問題に関する理解と認識を深めるため、成人学習講座を開き、市民に学習の場と機会を提供した。	209

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 教育集会所人権教育事業	399	子ども人権スクールを開き、市内小中学生及び高校生に人権学習の場と機会を提供した。また、小中学校への出前学習やコラボ学習、教職員研修を実施し、人権教育の推進に努めた。	209
2. 教育集会所管理経費	17,435	人権教育の拠点としての教育集会所を管理運営するために、嘱託職員(5名)を設置するとともに、光熱水費・消耗品費・備品費・法定点検費等を支出し、利用者(市内小中学生等)が安全快適に利用できるように体制を整えることができた。	209

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 1. 小学校管理費

(単位 千円)

予算現額 467,290 千円
 決算額 454,875 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,368			7,192	439,315

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小学校整備事業	44,814	小学校の施設整備及び学習環境の一層の充実を図った。 ・校舎防水改修工事 (浜郷小・繰越) 7,049千円 ・ " (城田小) 10,025千円 ・空調設備改修 (厚生小、御菌小) 3,696千円 ・塩素注入装置取付工事 (中島小、大湊小、小俣小) 1,652千円 ・受電設備改修工事 (修道小、城田小、豊浜東小、神社小、明倫小) 3,494千円 ・プール塗装工事 (北浜小、修道小、有緝小) 10,736千円 ・プールろ過機取替工事 (有緝小) 4,592千円 ・洋式トイレ設置工事 (修道小) 2,541千円 ・シャワー設置工事 (豊浜東小) 1,029千円	209
2. <u>空調設備整備事業</u>	22,984	近年の猛暑により室内でも熱中症を発症する恐れがあるため、空調設備未整備の19校中4校に空調機を設置した。(豊浜東小、豊浜西小、北浜小、東大淀小) 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 33,423,000円 ・4校に空調機設置 (豊浜東小、豊浜西小、北浜小、東大淀小) 【過去2ヵ年の実績】 平成24年度新規事業 【事業を取りまく状況等】 ・残る15校については、平成25年度から平成27年度にかけ整備する。	209

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校評議員設置経費	618	学校評議員から学校運営に関する助言や地域の情報を得て、校長は学校運営に生かし、特色ある学校づくりや地域や社会に開かれた学校づくりに努めた。	209

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 2. 小学校教育振興費

(単位 千円)

予算現額 68,537 千円
 決算額 67,347 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,444	338		60	65,505

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 要保護及び準要保護児童生徒援助事業	35,321	経済的理由により、就学困難な児童に学用品費、修学旅行費、学校給食費等を給与し、必要な援助を行った。 ・支給対象者 585人 (要保護 8人、準要保護 577人)	211
2. 遠距離児童通学費扶助事業	1,841	遠距離通学等を行っている児童の安全と保護者負担の軽減を図るため、通学定期代金の助成を行った。 対象校：中島小学校、佐八小学校、二見小学校	211

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小学校教材整備経費	12,871	○教育現場で必要とする教材及び著しく老朽化した教材を整備した。 ・整備校 24校(小学校全校) ・整備額 11,750,071円 ○理科教育設備整備 科学技術教育の基盤となる小学校における理科教育のための設備(理科教育振興法に基づく)を国の補助を受け整備した。 ・整備校 7校(進修小学校ほか) ・整備額 786,323円 ○特別支援教育設備整備 新設された特別支援学級において、障がいに対応した教育を実施するために必要な教材を整備した。 ・整備校 3校(神社小学校ほか) ・整備額 335,020円	211
2. 学校図書館充実経費	9,109	学校図書館がその機能を十分に発揮できるよう、学校図書館の充実を図った。 ・整備校 24校(小学校全校)	211
3. 教科書等購入経費	1,936	主たる教材の「教科書」と参考資料である「指導書」を購入することにより、教職員による効果的な指導を支援し、児童生徒に学習内容の確実な定着を図った。23年度に全教科書の買い替えがあったため、24年度は学級数増や少人数指導による、不足分を購入した。	211

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 学びのグレード アップ総合推進事 業	3,501	小学校新学習指導要領に対応した学力の向上を図ることを目的として、児童の学習到達度を明らかにし指導に生かすとともに、研究指定校による実践研究を展開した。	211

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 1. 中学校管理費

(単位 千円)

予算現額 307,368 千円
決算額 297,065 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,770				293,295

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中学校整備事業	49,486	<p>中学校の施設整備及び学習環境の一層の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールコートライン書換 3,715千円 (御菌中、城田中、厚生中、五十鈴中、宮川中、港中、倉田山中) ・給水管改修工事(宮川中) 5,569千円 ・防球ネット設置工事 29,201千円 (厚生中、北浜中、港中) ・プール解体工事(倉田山中) 7,619千円 ・駐輪場設置工事(倉田山中) 2,154千円 ・高圧電気設備改修工事(港中) 1,187千円 ・建築確認、完了検査手数料 41千円 	211
2. 空調設備整備事業	13,006	<p>近年の猛暑により室内でも熱中症を発症する恐れがあるため、空調設備未整備の9校中2校に空調機を設置した。(豊浜中、北浜中)</p> <p>また空調設備増設に伴う設計業務を行った。(厚生中)</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 17,490,000円 ・2校に空調機設置(豊浜中、北浜中)</p> <p>【過去2カ年の実績】 平成24年度新規事業 【事業を取りまく状況等】 ・厚生中学校においては、伊勢赤十字病院の開業に伴うドクターヘリ、救急車の騒音により授業に支障を来していたため、平成25年度中に空調機が設置できるよう設計業務委託を実施した。 ・残る7校については、平成25年度から平成27年度にかけて整備する。</p>	211

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校評議員設置経 費	258	学校評議員から学校運営に関する助言や地域の情報を得て、校長は学校運営に生かし、特色ある学校づくりや地域や社会に開かれた学校づくりに努めた。	211

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 2. 中学校教育振興費

(単位 千円)

予算現額 128,585 千円
 決算額 120,622 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,628	373			118,621

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 要保護及び準要保護児童生徒援助事業	34,722	経済的理由により、就学困難な生徒に学用品費、修学旅行費、学校給食費を給与し、必要な援助を行った。 ・支給対象者 382人 (要保護 10人、準要保護 372人)	213
2. 遠距離生徒通学費扶助事業	13	遠距離通学等を行っている生徒の安全と保護者負担の軽減を図るため、通学定期代金の助成を行った。 対象校：宮川中学校 利用者：1名	213

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中学校教材整備経費	19,743	○教育現場で必要とする教材及び著しく老朽化した教材を整備した。 ・整備校 12校(中学校全校) ・整備額 17,912,283円 ○理科教育設備整備 科学技術教育の基盤となる中学校における理科教育のための設備(理科教育振興法に基づく)を国の補助を受け整備した。 ・整備校 9校(倉田山中学校ほか) ・整備額 1,438,760円 ○特別支援教育設備整備 新設された特別支援学級において、障がいに対応した教育を実施するために必要な教材を整備した。 ・整備校 4校(倉田山中学校ほか) ・整備額 391,837円	213
2. 学校図書館充実経費	7,736	学校図書館がその機能を十分に発揮できるよう、学校図書館の充実を図った。 ・整備校 12校(中学校全校)	213
3. 教科書等購入経費	11,071	主たる教材の「教科書」と参考資料である「指導書」を購入することにより、教職員による効果的な指導を支援し、児童生徒に学習内容の確実な定着を図った。24年度からの小学校新学習指導要領の実施に伴い、平成23年度に教科書採択が行われ教科書が変わったため、24年度は、全教科書、指導書を購入した。	213

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. ALT活動事業	39,017	英語を母語とする青年を招致し、中学校の英語科及び小学校の外国語活動等で、担当教員とともに指導に当たった。 JETプログラムによる雇用3名と民間派遣の7名の計10名を1～2の中学校区に派遣し、小中学校の連携を図った。	213
5. スクールカウンセラー活用事業	391	中学校にスクールカウンセラーを配置し、児童生徒や保護者の教育相談を実施した。また、教職員に対する臨床心理学的な観点から適切な助言を行い効果をあげた。	213
6. 未来へチャレンジ！職場体験推進事業	1,474	キャリア教育の一環として、働くことの意義・目的を学び、職業観・勤労観を育てるために、中学2年生を対象として3日間の職場体験学習を実施した。職場体験学習参加生徒数：1,168名、協力事業所数：のべ375事業所	213
7. 学びのグレードアップ総合推進事業	3,251	中学校新学習指導要領に対応した学力の向上を図ることを目的として、生徒の学習到達度を明らかにし指導に生かすとともに、研究指定校による実践研究を展開した。	213

(款) 11. 教育費 (項) 4. 幼稚園費 (目) 1. 幼稚園費

(単位 千円)

予算現額 157,390 千円
決算額 153,044 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,259		8,800	16,875	125,110

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 幼稚園整備事業	840	伊勢市内の幼稚園施設及び学習環境の一層の充実を図った。 電気設備改修工事 (小俣幼稚園)	213
2. 空調設備整備事業	9,356	近年の猛暑により室内でも熱中症を発症する恐れがあるため、空調設備未整備の3園に空調機を設置した。 ・神社幼稚園 3,843千円 ・北浜幼稚園 2,048千円 ・城田幼稚園 3,465千円	215
3. 幼稚園施設防災対策事業	3,249	地震時に飛散したガラス片での怪我を防止するために、市内幼稚園5園に飛散防止フィルムを貼った。	215

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 1. 社会教育総務費

(単位 千円)

予算現額 82,712 千円
 決算額 81,817 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				81,817

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 社会教育推進事業	480	社会教育委員兼公民館運営審議会委員 ○委員会議 市の社会教育の推進を図り、社会教育に関する諸事業に対して協議した。(3回開催) ○先進地視察 第54回全国社会教育研究大会(山梨大会)へ参加 ○研修会への参加 三重県社会教育委員連絡協議会主催の研修会等に参加	215
2. 女性学級開設事業	1,008	修道・有緝第1・有緝第2・明倫・厚生・中島・早修・浜郷婦人会が開催する婦人学級活動に対する支援を行った。 開講数 599回 延参加者数 5,414名	215

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 2. 公民館費

(単位 千円)

予算現額 19,882 千円
 決算額 18,944 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			946	17,998

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 公民館管理運営経費	18,944	公民館施設を市民が安心して、快適に利用できるよう老朽化に伴う施設の改修等を行い施設の維持管理に努めた。	215

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 3. 文化振興費

(単位 千円)

予算現額 51,384 千円
 決算額 46,463 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,043	566	3,100	1,023	37,731

文化振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 市民芸能祭開催事業	1,280	第56回伊勢市民芸能祭を10月から11月の日祝を中心に観光文化会館・伊勢市生涯学習センターにおいて開催した。市内の舞台芸能73団体、1,616名が参加し、2,971人が鑑賞した。	頁 215
2. 美術展覧会開催事業	1,195	第59回美術展覧会を平成24年10月30日～11月4日までの6日間にわたり開催した。また、美術に対する理解を深めるため、会期中に三重県立美術館友の会との共催による「美術セミナー」を開催した。 ○出品点数 317点 ○観覧者数 2,096人	215
3. 文化財保存整備事業補助金	249	指定文化財等の適正な保存管理を図るため、補助金を交付した。 【平成24年度対象事業及び市補助金決算額】 ○市無形民俗文化財中小俣かんこ踊り修理事業 ・補助事業者 中小俣自治区 ・補助金 150千円 ○市天然記念物弥栄の松環境整備事業 ・補助事業者 日保見山八幡宮 ・補助金 92千円 ○県天然記念物松下社の大クス環境整備事業 ・補助事業者 松下社 ・補助金 7千円	217
4. 造船資料保存調査経費	572	所管する旧市川造船所資料の価値を明らかにして、適切な保存を図るための調査を継続的に実施している。平成24年度は、船舶設計図等紙資料の調査を行った。	217
5. 指定無形民俗文化財等保存継承事業補助金	1,944	伊勢市内で伝承されている指定無形民俗文化財等の連綿とした保存継承を支援するため、補助金の交付を行った。 【交付先】 ・馬瀬狂言保存会他21団体	217
6. 二見浦保存管理計画運営経費	247	平成18年に指定された国名勝「二見浦」の適切な整備、活用及び運営を行うためのものである。平成24年度は現状変更等の取扱いを調査審議するため、名勝二見浦保存管理計画運営委員会を3回開催した。	217

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 旧豊宮崎文庫保存 修理経費	8,113	<p>「旧豊宮崎文庫」には、往時の文庫を偲ぶ建築物として門と練塀(ねりべい)が現存しているが、いずれも経年による破損がみられるため、平成23～25年にかけて保存修理を行っている。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 8,088,000円 ・門と練塀の解体工事等</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成23年度 8,730,000円 ・調査設計委託 ・門と練塀の一部解体工事等</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・解体工事後の調査により、瓦の追加発注と練塀の補強工事などを実施したため事業費が増額となった。 ・事業完了後は、別途事業で策定している保存管理活用計画によって史跡の公開等をすすめていく。</p>	217
8. 旧豊宮崎文庫保存 管理活用計画策定 経費	87	<p>大正12年3月7日に国史跡に指定された「旧豊宮崎文庫」について、適切な保存管理及び活用を行うため、その基準となる保存管理活用計画を策定するものである。平成24年度は、計画策定に向けて関係分野の専門家により組織した史跡旧豊宮崎文庫保存管理活用計画策定委員会を2回開催した。</p>	217
9. 旧豊宮崎文庫史跡 境界確定経費	1,778	<p>今後、国史跡旧豊宮崎文庫の史跡整備を進めていく上で、史跡境界の位置を明らかにすることは不可欠の前提であるため、保存管理活用計画の策定と並行して測量業務及び分筆登記等を行い、史跡境界の明確化を図った。</p>	217
10. 宮川堤保存管理指 針策定経費	87	<p>昭和12年6月30日に県名勝に指定された「宮川堤」について、国交省が予定している宮川堤改修計画の現状変更に対応するため、その判断基準となる保存管理指針を策定するものである。策定期間は平成24年度から25年度の2ヶ年の予定で、24年度は関係分野の専門家等による名勝宮川堤保存管理指針策定委員会を組織し、計画策定に向けて委員会を3回開催した。</p>	217
11. 山田奉行所記念館 特別展開催事業	450	<p>山田奉行所記念館友の会に委託して、山田奉行所に関連する特別展示を開催し、常設展示を補完した。</p> <p>・夏季特別展「災害と山田奉行③地震・津波について」 入館者数 1,041人</p> <p>・冬季特別展：「宮川水運」 入館者数 624人</p>	217
12. 全市博物館構想推 進経費	212	<p>博物館等の文化資産を紹介するためのマップ「伊勢まるごと博物館」を10,000部作成し、市内博物館等で配布した。また、文化資産の情報を発信するため、市内の観光ガイドを対象に「案内人養成講座」を1回開催した。</p>	219

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 4. 青少年対策費

(単位 千円)

予算現額 8,801 千円
 決算額 8,075 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				8,075

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 青少年健全育成推進事業	1,686	1. 全国的に展開される青少年健全育成活動に合わせ、横断幕や懸垂幕を掲示し、啓発を行った。 2. 青少年が安心して暮らせる安全なまちをつくるため、また、さまざまな自然体験や生活体験で有意義に過ごせる受け皿を整えるために、青少年育成市民会議への事業委託、地域指導者の育成など、地域主導型による青少年健全育成活動を実施した。 ○平成24年8月25日、地域の青少年健全育成活動者を対象に、研修会「子どもが主役で大人はコーチ～地域で取り組む子育て支援～」を開催。伊勢市ならびに南勢志摩エリアの活動者126人が出席した。	頁 219
2. 飯田市交流会実施事業	886	山のまち飯田市と海に面した伊勢市の小学生が児童会活動や学校内外の生活、住んでいる地域社会について交流し、友情と連携の輪を強め、次代のリーダーとしての親睦を深めることを目的に実施した。 平成20年度より夏季の隔年訪問交流とし、24年度は本市児童代表が飯田市を訪問した。 ○平成24年8月2日～3日、伊勢市の小学生36人と飯田市の小学生28人が、ブルーベリー狩り体験、五平餅作り体験、美術博物館見学、プラネタリウム鑑賞、レクリエーション、児童会活動発表等により交流を深めた。	219
3. 成人式開催事業	1,520	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励ますため、成人の日になみ、平成25年1月13日、伊勢市観光文化会館 大ホールにて、「新成人のつどい」を開催した。 新成人代表26人からなる実行委員会において企画運営を行い、地元企業から協賛をいただき、思い出の写真上映や実行委員作成の記念冊子を配布した。 成人者数 男649人 女668人 計1,317人 出席者数 男545人 女577人 計1,122人	219
4. 青少年対策一般経費	60	平成25年2月15日、伊勢市青少年問題協議会を開催し、青少年の非行概況と傾向、市内小中学校の生徒指導の状況、相談センターの現状、平成24年度の主な活動についての確認と、平成25年度の方針を決定した。	219
5. 相談センター管理運営事業	3,923	青少年指導員による街頭指導を505回実施し、延1,633名が参加した。合計408名の少年(内女子133名)を指導した。 環境浄化活動として、市内、コンビニ、カラオケ等に立入調査を10回実施し、78名が参加し、延べ147箇所を調査を行った。	219

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 5. 図書館費

(単位 千円)

予算現額 159,450 千円
 決算額 158,587 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			50	158,537

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 図書整備経費	27,778	閲覧用図書、雑誌、視聴覚資料を購入し、図書館利用の促進を図った。 購入図書 伊勢図書館 8,268冊 小俣図書館 5,497冊 購入雑誌 伊勢図書館 2,029冊 小俣図書館 2,212冊 購入視聴覚資料 伊勢図書館 35点 小俣図書館 49点	頁 219
2. ブックスタート支援事業	1,527	子育て支援の一環として、家庭内で絵本を通じた親子の交流のきっかけとなるよう、対象乳幼児に絵本の2冊入ったブックスタートパックを配付した。 配付数 1,134人	219
3. 図書館運営経費	129,282	伊勢市立伊勢図書館では、平成18年4月より、民間の能力を活用し施設の効果的、効率的な管理運営を行うため、指定管理者制度を導入している。 伊勢市立小俣図書館でも、伊勢図書館の指定管理者制度更新に合わせ、平成21年4月から指定管理者制度を導入している。 指定管理者は、施設の維持管理ほか、各種図書館行事を開催するなど、市民の図書館利用促進に取り組んだ。	219

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 6. 生涯学習費

(単位 千円)

予算現額 8,113 千円
 決算額 7,703 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	724		490	6,489

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 生涯学習推進事業	4,316	1. 生涯学習講座の実施 生涯学習のきっかけづくりの場として、公民館等を利用し住民の生涯学習への参加・啓発を目的とし、通年講座・前期講座・後期講座・短期講座として各種教室を実施した。 (小俣公民館講座) 全19講座 受講者数326名 (二見公民館) 全13講座 受講者数161名 (御菌公民館) 全14講座 受講者数227名 2. 団体への助成 小俣、二見、御菌地域において、サークル活動や文化祭等生涯学習事業に取り組む伊勢文化サークル協会の活動を補助し、地域における文化活動を支援した。	頁 219
2. 放課後子どもプラン推進事業	1,066	放課後等の子どもたちの安全で健やかな活動場所を確保するため、教育委員会と福祉部局が連携を図り、総合的な放課後対策として実施している。 教育部局が実施する「放課後子ども教室」は、委託先を伊勢文化サークル協会一本に絞り、市内の小学生を対象としたさまざまな体験活動を中心とした教室として、事業を実施した。 ○実施教室数：46教室 ○参加人数：1,018人	221

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 7. 生涯学習センター費

(単位 千円)

予算現額 101,926 千円
 決算額 101,027 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,524			696	96,807

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生涯学習センター施設維持管理経費	101,027	1. 伊勢市生涯学習センター(いせトピア) 平成18年4月より、民間の能力を活用し施設の効果的、効率的な管理運営を行うため指定管理者制度を導入し、平成21年4月からは第2期目の指定管理期間となった。(平成21年4月～平成26年3月) 指定管理者は、施設の維持管理ほか、各種講座やイベントを開催するなど、市民の生涯学習へのきっかけづくりに取り組んだ。 2. 二見生涯学習センター 市民が安心して快適に利用できるよう、施設の修繕等維持管理を行った。	221

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 8. 学習等供用施設費

(単位 千円)

予算現額 6,262 千円
 決算額 5,972 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			656	5,316

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学習等供用施設維持管理経費	5,972	市民が安心して、快適に利用できるよう施設の維持管理に努めた。	221

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 9. 観光文化会館費

(単位 千円)

予算現額 78,946 千円
 決算額 75,181 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		33,900	1,285	39,996

文化振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 観光文化会館施設維持補修経費	35,700	施設運営に必要な維持補修工事として、会館の舞台吊物設備工事及び昇降機改修工事を施工した。	221

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 2. 学校保健費

(単位 千円)

予算現額 82,060 千円
 決算額 80,533 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			15,004	65,529

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童生徒保健管理事業	75,385	学校保健安全法に基づく健康診断として、児童生徒及び幼児に対し、校医等による内科、歯科検診を実施するとともに、専門医、学校薬剤師による各種検診、検査を実施し、幼児児童生徒の健康管理に努めた。	223
2. 児童生徒結核検診事業	24	結核問診と学校医による定期健康診断により結核の早期発見・早期治療及び児童生徒への感染防止に努めた。また、結核対策委員会を開き、感染が疑われる対象者に精密検査を実施した。	223
3. 教職員健康管理事業	3,830	県費負担教職員を対象に定期健康診断を実施し、健康の保持増進を図った。	223

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 3. 学校給食費

(単位 千円)

予算現額 569,263 千円
 決算額 561,684 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				561,684

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校給食管理経費	137,379	「安全でおいしい学校給食」が円滑に実施できるよう、衛生面に重点を置き、設備の充実、食中毒の防止等に努めた。	223
2. 学校給食施設維持管理経費	2,779	学校給食が円滑に実施できるよう、施設の維持管理に努めた。	223
3. 給食施設整備経費	9,735	老朽化による備品の更新、及び衛生を維持するために施設の改修を行った。	223

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 中学校給食共同調理場管理経費	134,272	中学校給食共同調理場における「安全でおいしい学校給食」が円滑に実施できるよう、衛生面に重点を置き、設備の充実、食中毒の防止等に努めた。	223
5. <u>食育推進事業</u>	717	<p>児童生徒が生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性を育む基礎を作ることを目的に、栄養教諭・学校栄養職員、食育担当者が連携しそれぞれの地域にあった取組を実施した。</p> <p>【当初予算における内容、計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校における食育推進体制整備事業 業務委託 4校 ・地域の力を活用した特色ある食育推進事業実施校 5校 ・給食調理士調理講習会 2回・食育担当者連絡協議会 3回 ・第2次伊勢市食育推進計画の策定 <p>【過去2カ年度の実績】</p> <p>平成23年度 有緝小学校（委託校）が、食育の研究会を実施し研究成果を伊勢市内小中学校及び幼稚園に周知した。</p> <p>平成22年度 三重県委託事業『栄養教諭を中核とした食育推進事業』（委託料1,000,000円）</p> <p>【事業を取りまく状況】 新学習指導要領に食育が明記され学校は教育活動全体を通じて食育を推進する責務があり、本事業の役割は大きい。</p>	223

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 4. 体育振興費

(単位 千円)

予算現額 66,011 千円
決算額 63,708 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			4,091	59,617

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. スポーツ推進委員事業	2,312	いせスポーツフェスティバルを筆頭に、各種スポーツ教室やウォーキング等の様々なスポーツ行事を開催し、市民の健康の維持・増進と生涯スポーツの普及を図ることができた。	225
2. 総合型地域スポーツクラブ育成事業	3,491	<p>生涯スポーツ社会の実現に向けて、地域のスポーツ施設を拠点として、子どもから高齢者まで全ての地域住民が各自のニーズに沿って気軽にスポーツに参加できる地域住民主体の総合型地域スポーツクラブの育成を図った。各クラブにおいては、年間を通じて多くのスポーツ教室や大会等を開催し、スポーツをする場を提供した。</p> <p>なお、平成24年度においては市内に7団体あり、会員数は総数約2,700人であった。</p>	225

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 集客誘致大会開催 事業	17,350	集客による伊勢市への経済波及効果を図り、全国規模の大会を開催した。 お伊勢さんマラソン（当日参加者数10,031人）、全日本ジュニア体重別相撲選手権大会（27人）、神宮奉納社会人野球JABA伊勢大会（498人）、神宮奉納全日本ソフトテニス大会（260人）、都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会（883人）の5大会を開催した。	225

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 5. 体育施設費

(単位 千円)

予算現額 1,232,456 千円
決算額 377,217 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		263,500	24,545	89,172

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 体育施設整備事業	23,832	主な事業 ①五十鈴公園球技広場グラウンド 改修工事 3,285千円 ②二見テニスコート人工芝張替工事 18,537千円 ③小俣総合体育館排煙窓オペレーター 修繕工事 504千円 ④大仏山公園スポーツセンター吊橋 修繕工事 1,295千円	225

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. <u>倉田山公園野球場 改修事業</u>	258,992	<p>建築後40年が経過した倉田山公園野球場の改築を行うため、次の事業を実施した。</p> <p>①倉田山公園野球場設計業務委託 14,359千円 (平成23年度からの繰越)</p> <p>②倉田山公園野球場メインスタンド 改築工事監理業務委託 9,430千円 (内、平成25年度への繰越額9,430千円)</p> <p>③倉田山公園野球場メインスタンド 解体工事 23,277千円</p> <p>④倉田山公園野球場メインスタンド 改築工事(建築工事) 430,500千円 (内、平成25年度への繰越額258,500千円)</p> <p>⑤倉田山公園野球場メインスタンド 改築工事(電気設備工事) 61,583千円 (内、平成25年度への繰越額36,953千円)</p> <p>⑥倉田山公園野球場メインスタンド 改築工事(機械設備工事) 60,375千円 (内、平成25年度への繰越額36,225千円)</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額(2号補正含む) 1,092,871千円 ・倉田山公園野球場メインスタンド 改築工事監理業務委託 13,500千円 ・倉田山公園野球場メインスタンド 解体工事 33,695千円 ・倉田山公園野球場メインスタンド 改築工事(建築工事) 431,267千円 ・倉田山公園野球場メインスタンド 改築工事(電気設備工事) 67,998千円 ・倉田山公園野球場メインスタンド 改築工事(機械設備工事) 63,357千円 ・倉田山公園野球場グラウンド 改修工事 240,000千円 ・倉田山公園野球場内外野スタンド 整備工事 89,870千円 ・倉田山公園野球場スコアボード 整備工事 153,000千円 繰越予算額 15,010千円 ・倉田山公園野球場設計業務委託 14,359千円</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成23年度 20,237千円 ・倉田山公園野球場設計業務委託(メインスタンド) ・倉田山公園野球場設計業務委託(グラウンド) ・倉田山公園野球場測量業務委託 ・倉田山公園野球場地質調査業務委託 平成22年度 2,363千円 ・倉田山公園野球場耐震調査業務委託</p> <p>【事業取りまく状況等】 ・当初、スポーツ振興くじ助成金を活用し、工事を進める予定であったが、最終的に社会資本整備総合交付金と合併特例債を財源とすることとなった。財源の変更により工事発注に一部遅れを生じているが、概ね工程どおりであり、平成26年2月中の完成を予定している。 ・県内初の全面人工芝グラウンド、LEDスコアボードの設置など施設面の充実により、市民を中心とした利用に加え、伊勢フットボールヴィレッジに続くスポーツ誘客施設として、大会・合宿等の誘致が期待される。</p>	225

(款) 12. 災害復旧費 (項) 1. 農林水産業施設災害復旧費

(目) 3. 漁港災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 1,033 千円
 決算額 1,031 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				1,031

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 漁港等災害復旧事業	1,031	平成24年9月30日に発生した台風17号により、漁港内にゴミが漂着し、漁船の航行に支障となっていたため、これらの撤去を行い、船舶の航路回復と安全航行の確保を図った。	227

(款) 12. 災害復旧費 (項) 2. 公共土木施設災害復旧費

(目) 2. 河川災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 12,914 千円
 決算額 11,726 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,821		3,800	40	65

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 河川災害復旧事業	11,726	平成23年9月1日から5日の台風12号及び豪雨、平成23年9月20日から21日の台風15号及び豪雨、平成24年6月19日の台風4号により被災した箇所の施設の機能回復を図るため、復旧事業を進めた。 (概要) 河川災害復旧 【補助分】 ①現年分 3件 L=34m 大倉川左岸 五十鈴川左岸 古屋川左岸 ②平成23年度から繰越 2件 L=18m 五十鈴川左岸(その3) 大倉川右岸	227

(款) 13. 公債費 (項) 1. 公債費 (目) 1. 元金

(単位 千円)

予算現額 4,526,607 千円
 決算額 4,526,605 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			59,641	4,466,964

行政経営課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市債償還元金	4,525,118	過去に借入れた市債の元金の支払いを行った(通常償還)。 ・借入利率 0.2%~4.9% ・借入年度 昭和62年度~平成22年度 ・未償還残高 48,232,297千円(生活支援課分含む)	231

生活支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市債償還元金	1,487	過去に三重県より市が借入した災害援護資金県貸付金について、それぞれ県に償還した。 (施策の概要) 災害援護資金県貸付金 … 1,487,176円 ・平成24年度上半期償還額 … 1,193,175円 ・平成24年度下半期償還額 … 294,001円 県貸付要綱に基づき、上記のとおり災害援護資金貸付金の償還を行った。	231

(款) 13. 公債費 (項) 1. 公債費 (目) 2. 利子

(単位 千円)

予算現額 669,750 千円
 決算額 668,348 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			15,850	652,498

行政経営課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市債利子	668,316	過去に借入れた市債の利子の支払いを行った。 ・借入利率 0.2%~4.9% ・借入年度 昭和62年度~平成23年度	231

【国民健康保険特別会計】

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 1. 一般被保険者療養給付費

(単位 千円)

予算現額 7,846,241 千円
決算額 7,637,308 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,878,900	460,429		1,132,927	4,165,052

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者療養給付費	7,637,308	一般被保険者の療養給付費 (1) 診療延件数(薬剤、訪問看護を含む) 513,562件 (2) 年度平均被保険者数 32,961人	247

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 2. 退職被保険者等療養給付費

(単位 千円)

予算現額 397,759 千円
決算額 397,759 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			365,303	32,456

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 退職被保険者等療養給付費	397,759	退職被保険者等の療養給付費 (1) 診療延件数(薬剤、訪問看護を含む) 27,057件 (2) 年度平均被保険者数 1,419人	247

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 3. 一般被保険者療養費

(単位 千円)

予算現額 78,301 千円
決算額 73,267 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
16,641	1,590			55,036

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者療養費	73,267	一般被保険者の療養費支給額 (1) 支給件数 9,586件	247

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 4. 退職被保険者等療養費

(単位 千円)

予算現額 3,360 千円
 決算額 3,176 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			2,917	259

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 退職被保険者等療養費	3,176	退職被保険者等の療養費支給額 (1) 支給件数 461件	247

(款) 2. 保険給付費 (項) 2. 高額療養費 (目) 1. 一般被保険者高額療養費

(単位 千円)

予算現額 956,809 千円
 決算額 942,462 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
214,055	20,447		141,701	566,259

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者高額療養費	942,462	一般被保険者の高額療養費支給額 (1) 支給件数 25,362件	247

(款) 2. 保険給付費 (項) 2. 高額療養費

(目) 2. 退職被保険者等高額療養費

(単位 千円)

予算現額 61,991 千円
 決算額 61,991 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			56,933	5,058

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 退職被保険者等高額療養費	61,991	退職被保険者等の高額療養費支給額 (1) 支給件数 1,034件	249

(款) 2. 保険給付費 (項) 4. 出産育児諸費 (目) 1. 出産育児一時金

(単位 千円)

予算現額 65,520 千円
決算額 54,096 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
110				53,986

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 出産育児一時金	54,096	出産育児一時金の支給額 (1) 支給件数 129件	249

(款) 2. 保険給付費 (項) 5. 葬祭諸費 (目) 1. 葬祭費

(単位 千円)

予算現額 13,200 千円
決算額 10,400 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				10,400

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 葬祭費	10,400	葬祭費の支給額 (1) 支給件数 208件	249

(款) 8. 保健事業費 (項) 1. 特定健康診査等事業費

(目) 1. 特定健康診査等事業費

(単位 千円)

予算現額 185,432 千円
決算額 151,397 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
30,336	30,336			90,725

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 特定健康診査事業費	138,337	特定健康診査の実施 (1) 受診件数 14,038人	253
2. 特定保健指導事業費	13,060	特定保健指導の実施 (1) 動機付け支援 651人 (2) 積極的支援 58人	253

【後期高齢者医療特別会計】

(款) 2. 後期高齢者医療広域連合納付金

(項) 1. 後期高齢者医療広域連合納付金

(目) 1. 後期高齢者医療広域連合納付金

(単位 千円)

予算現額 2,455,877 千円
 決算額 2,408,752 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				2,408,752

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 後期高齢者医療広域連合負担金	2,408,752	三重県後期高齢者医療広域連合の市町負担金 ・後期高齢者医療保険料 市が徴収した保険料及び延滞金を広域連合へ納付 1,047,662千円 ・保険基盤安定制度負担金 低所得者にかかる保険料軽減分を負担 229,808千円 ・保健事業負担金 広域連合の行う保健事業経費の市分担金 12,377千円 ・事務費負担金 広域連合事務経費(共通経費)の市分担金 50,575千円 ・療養給付費負担金 伊勢市の被保険者に係る医療給付費の1/12の額 1,068,330千円	263

【介護保険特別会計】

○保険事業勘定

(款) 1. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 2. 介護保険推進費

(単位 千円)

予算現額 519 千円
決算額 453 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				453

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護保険推進協議会運営事業	453	本市における介護保険事業について、市民等から意見を聴き円滑な運営を図るため伊勢市介護保険推進協議会を開催した。	275

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 介護サービス等諸費

(目) 1. 介護サービス等給付費

(単位 千円)

予算現額 10,786,086 千円
決算額 10,595,440 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,541,368	1,535,316		3,082,144	3,436,612

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護サービス等給付事業	9,497,601	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護サービス給付費負担金 支給件数 90,412件 4,744,304千円 ・地域密着型介護サービス給付費負担金 支給件数 5,428件 939,085千円 ・施設介護サービス給付費負担金 支給件数 13,375件 3,262,916千円 ・居宅介護福祉用具購入費負担金 支給件数 540件 12,634千円 ・居宅介護住宅改修費負担金 支給件数 426件 39,727千円 ・居宅介護サービス計画給付費負担金 支給件数 36,502件 498,935千円 	277
2. 介護予防サービス等給付事業	475,508	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防サービス給付費負担金 支給件数 16,338件 391,138千円 ・地域密着型介護予防サービス給付費負担金 支給件数 145件 9,433千円 ・介護予防福祉用具購入費負担金 支給件数 162件 3,329千円 ・介護予防住宅改修費負担金 支給件数 215件 22,838千円 ・介護予防サービス計画費負担金 支給件数 11,461件 48,770千円 	277

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 高額介護サービス等給付事業	169,088	<ul style="list-style-type: none"> ・高額介護サービス費負担金 支給件数 17,905件 168,933千円 ・高額介護予防サービス費負担金 支給件数 171件 155千円 	277
4. 特定入所者介護サービス等給付事業	435,107	<ul style="list-style-type: none"> ・特定入所者介護サービス費負担金 支給件数 12,939件 434,784千円 ・特定入所者介護予防サービス費負担金 支給件数 63件 323千円 	277
5. 高額医療合算介護サービス費等給付事業	18,136	<ul style="list-style-type: none"> ・高額医療合算介護サービス費負担金 支給件数 757件 18,026千円 ・高額医療合算介護予防サービス費負担金 支給件数 11件 110千円 	279

(款) 3. 地域支援事業費 (項) 1. 地域支援事業費 (目) 1. 介護予防事業費

(単位 千円)

予算現額 11,697 千円
決算額 8,541 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,987	2,494		1,060	

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 運動器機能向上事業	656	<p>基本チェックリストの結果、運動器の機能が低下している高齢者を対象に、転倒骨折予防教室を開催した。筋力トレーニングや体操等を行い、転びにくい体づくりに取り組んだ。</p> <p>延べ104回、485人の参加を得て要介護状態になることを予防した。</p>	279
2. 口腔機能・低栄養改善事業	172	<p>基本チェックリストの結果、口腔機能が低下している高齢者を対象に、口腔訓練教室を実施した。口の健康を保つための相談や嚥下機能が向上する訓練などを集団指導や個別の相談で行った。</p> <p>延べ29回、52人の相談指導を行い、口腔機能の向上を図った。</p> <p>また低栄養状態に陥る高齢者を対象に、栄養状態を改善するための食べ方や食事作りなどの個別相談を行った。</p> <p>延べ12回、17人の相談指導を行った。</p>	279
3. 認知症予防事業	898	<p>基本チェックリストの結果、認知機能低下の恐れのある高齢者を対象に、脳活性化教室を実施した。脳機能検査により脳の働き具合を把握し脳を刺激する生活改善リハビリや音楽療法などを行い認知症予防に努めた。</p> <p>延べ53回、192人の参加があり、参加者の脳機能の改善・維持がみられるなど、要介護状態になることを予防した。</p>	279

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 訪問型介護予防事業	32	基本チェックリストの結果、運動器の機能低下や脳機能低下等があり、介護予防事業への参加が望ましいと認められるが通所が困難な市民を対象に訪問指導を実施した。保健師や看護師などが延べ13人に相談指導を行った。	279
5. 介護予防普及啓発事業	1,665	65歳以上の高齢者を対象に、中央保健センター及び地域において介護予防講座、すこやか教室（老人クラブ）、通所型介護予防事業、訪問指導などを実施し、延べ170回、2,883人に要介護状態になることを予防するための様々な知識の普及啓発を行い、介護予防の推進に努めた。	279
6. 地域介護予防活動支援事業	86	地域における介護予防に関する自主的な活動が実施されるよう認知症予防や転倒骨折予防を目的とした自発的な活動の育成・支援を行った。 延べ433回、4,974人が活動を行い、その内の延べ63回、957人に支援を行い、活動が継続された。	279

(款) 3. 地域支援事業費

(項) 1. 地域支援事業費

(目) 2. 包括的支援事業・任意事業費

(単位 千円)

予算現額 144,846 千円
決算額 135,214 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
57,965	28,983		1	48,265

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護用品支給事業	22,226	介護保険において要介護4・5に認定された高齢者等（施設入所者を除く）に対し、介護に必要な紙おむつ・尿取りパッド、紙パンツ、清拭剤、ドライシャンプーの購入費用の一部をクーポン券により補助した。 クーポン券配布者数 520人	281
2. 介護相談員派遣事業	3,251	通所サービスや施設サービスを提供している事業所を介護相談員が2人1組で訪問し、利用者から不満や要望などを聞き取り、利用者・事業所・事務局との橋渡しを行った。 介護相談員 8名 延べ活動日数 590日	281
3. 介護給付費等費用適正化事業	2,544	利用者へ給付費通知書を発送することで、適切な介護サービスの利用を促した。 発送回数 4回	281

長 寿 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護予防ケアマネジメント事業	95	要支援・要介護状態になる恐れがある高齢者（二次予防事業対象者）に対して、保健師が家庭訪問等を通じて、介護予防事業の参加勧奨を行い、必要な対象者にケアプラン作成を行った。	281
2. 総合相談事業・権利擁護事業	5,282	高齢者の生活を福祉、介護など総合的に支えるため、高齢者本人及び家族からの相談に対して、さまざまな制度や社会資源の紹介や支援を行った。また、高齢者虐待、成年後見制度等の啓発を行った。	281
3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	3,426	包括的・継続的なケアマネジメントが行えるよう、関係機関との関係づくりに努めるとともに、地域の介護支援専門員への助言・支援及び資質向上研修への協力を行った。	281
4. 地域包括支援センター運営事業	51,000	地域包括支援センターを委託し、保健・医療・福祉の連携の拠点のさらなる充実と、高齢者の生活を総合的に支える地域包括ケア体制の実現にむけ、高齢者の支援体制の強化・充実を図った。	281
5. 在宅介護支援事業	6,300	在宅の高齢者や要介護高齢者の介護者に対し在宅介護に関する総合的な相談に応じるとともに、当該高齢者及びその介護者のニーズに対応した保健福祉サービスが総合的に受けられるよう、関係機関との連絡調整を行った。	281
6. 食の自立支援事業	8,090	おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯で、買い物と調理が困難な者に対し、栄養のバランスがとれた食事を定期的に提供するとともに安否確認を行い、要介護状態への進行の予防・生活支援を行い、高齢者への福祉の増進を図った。	281
7. 高齢者住宅等安心確保事業	10,402	高齢者の生活面・健康面での不安に対応するため、高齢者向け有料賃貸住宅正邦苑竹ヶ鼻、高齢者世話付住宅市営リバーサイドせせらぎに居住する高齢者に対し、生活援助員を派遣し生活指導・相談、安否確認、一時的な家事支援、緊急時の対応などのサービスを提供することによって高齢者が安全かつ快適な生活を営むことができるよう自立した在宅生活を支援した。	281

○介護サービス事業勘定

(款) 1. 事業費 (項) 1. 介護予防サービス事業費

(目) 1. 介護予防サービス事業費

(単位 千円)

予算現額 30,338 千円
 決算額 28,908 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			9,593	19,315

長 寿 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 介護予防サービス 計画作成事業	11,507	介護認定審査会において、要支援1または要支援2と認定された要支援者に対して、適切な介護予防ケアマネジメントを行い、要支援状態の改善や重症化予防を行った。	頁 287

【観光交通対策特別会計】

(款) 1. 観光交通対策事業費 (項) 1. 管理費 (目) 1. 管理費

(単位 千円)

予算現額 272,669 千円
 決算額 231,642 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			231,642	

交通政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 駐車場管理運営経費	231,642	<p>内宮周辺では、交通渋滞が頻繁に発生しており、来訪された方だけでなく、地域住民の生活にも支障をきたしている。このため、内宮周辺の駐車場を有料化し交通誘導や情報発信、パーク&バスライドなどの交通対策を行い観光振興や地域住民の生活環境の改善を図った。</p> <p>【駐車場使用料収入】 428,749,100円 【利用台数】 857,974台</p>	<p>頁 305</p>

(款) 1. 観光交通対策事業費 (項) 2. 事業費 (目) 1. 事業費

(単位 千円)

予算現額 283,649 千円
 決算額 283,606 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			283,606	

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. <u>駐車場整備事業</u>	283,606	<p>内宮周辺への交通の集中によって交通渋滞が頻繁に発生するなど、同地域周辺の交通環境の悪化は、来訪者の不満のみならず、地域住民の生活にも支障をきたしている。渋滞の原因のひとつである駐車場容量不足を軽減するため、長期間・長時間駐車を排除し駐車機能の向上を図るとともに、交通対策の充実を図るため、有料化整備を行った。また、駐車場の満空情報を発信するための誘導標示板の整備を行った。</p> <p>(概要)</p> <p>《宇治駐車場》 設計業務 一式 1件 (平成23年度から繰越) 料金システム修正業務 一式 2件 照明灯設置 一式 1件 (平成23年度から繰越) 表示パネル更新 一式 1件 標識ほか設置 一式 1件 誘導標示板設置 一式 1件</p> <p>《五十鈴公園》 広場整備 一式 1件 (平成23年度から一部繰越・平成23年度分と合併施行) 照明灯設置 一式 1件 (平成23年度から繰越)</p> <p>《内宮前駐車場》 管理棟設置 一式 1件 (平成23年度から繰越) 料金システム整備 一式 1件 (平成23年度から繰越) 駐車場整備 一式 2件 (平成23年度から繰越・平成23年度分と合併施行)</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 157,000,000円 ・誘導看板設置 一式 1件 ・市道拡幅 一式 1件 ・道路改良 一式 1件 繰越予算額 126,670,800円 ・設計業務 一式 1件 ・駐車場整備 一式 2件 ・照明灯設置 一式 2件 ・管理棟設置 一式 1件 ・料金システム整備 一式 1件</p>	頁 305

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
		<p>【過去2ヵ年度の実績】 平成22年度については、実績なし。 平成23年度 291,381,200円 《宇治駐車場》 設計業務 一式 3件 (平成24年度へ一部繰越) 駐車場整備 一式 2件 照明灯設置 一式 2件 (平成24年度へ一部繰越) 管理棟設置 一式 1件 料金システム整備 一式 1件 《五十鈴公園》 測量業務 一式 1件 設計業務 一式 2件 広場整備 一式 1件 (平成24年度へ一部繰越・平成24年度分と合併施行) 照明灯設置 一式 1件 (平成24年度へ繰越) 《内宮前駐車場》 管理棟設置 一式 1件 (平成24年度へ繰越) 料金システム整備 一式 1件 (平成24年度へ繰越) 駐車場整備 一式 1件 (平成24年度へ繰越・平成24年度分と合併施行)</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・平成24年3月1日から宇治駐車場、平成24年7月1日から内宮前駐車場を有料化し、市が運営及び管理している。 ・平成23年度からの繰越事業において、内宮前駐車場の有料化整備を行うとともに、平成24年度は各市営駐車場の満空情報を表示し、駐車場へのスムーズな誘導を行うための誘導表示板を、国道、県道、市道等に設置した。</p>	305

平成24年度 都市計画税充当状況

都市計画税は、「都市計画法」に基づいて実施する都市計画事業の財源として課税する目的税であり、本市では一般会計の歳出において下表のとおり各事業に充当した。

(単位:千円)

事業名	都市計画税 充当対象 経費決算額	財源内訳				一般財源のうち 都市計画税 充当額
		国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	
街路・道路整備事業	720,480	317,157	374,800	12,235	16,288	14,056
八日市場高向線整備事業(交付金)	166,787	87,553	75,200	0	4,034	
八日市場高向線ほか1線(2工区)整備事業(交付金)	162,062	85,065	73,100	0	3,897	
街路施設改良事業(交付金)	92,925	50,538	37,400	0	4,987	
【線越】宇治山田駅前広場整備事業	111,055	27,208	79,600	4,247	0	
伊勢市駅前広場整備事業(交付金)	75,310	25,790	47,000	0	2,520	
【線越】茶屋25号線整備事業(交付金)	57,337	31,385	24,300	1,652	0	
茶屋25号線整備事業(交付金)	17,659	9,618	7,600	0	441	
【線越】県営事業地元負担金(街路分)※	28,736	0	22,400	6,336	0	
県営事業地元負担金(街路分)※	8,609	0	8,200	0	409	
公園整備事業	29,033	18,775	8,900	0	1,358	1,172
高向西公園整備事業(防衛)	29,033	18,775	8,900	0	1,358	
公債費(都市計画事業分)	632,554	0	0	0	632,554	545,888
旧伊勢分	495,949	0	0	0	495,949	
旧二見 H18借入以降分	0	0	0	0	0	
旧小俣 H18借入以降分 (下卯起宮川駅野依橋線)	54,965	0	0	0	54,965	
旧御園 H18借入以降分 (八日市場高向線ほか1線、秋葉山高向線、高向神田線、高向西公園)	81,640	0	0	0	81,640	
下水道整備事業	992,588	0	0	0	992,588	856,593
公共下水道事業繰出金(建設改良事業費)	41,531	0	0	0	41,531	
公共下水道事業繰出金(地方債償還金・旧伊勢分)	861,527	0	0	0	861,527	
" (地方債償還金・旧二見 H18借入以降分)	20,034	0	0	0	20,034	
" (地方債償還金・旧小俣 H18借入以降分)	35,135	0	0	0	35,135	
" (地方債償還金・旧御園 H18借入以降分)	34,361	0	0	0	34,361	
合 計	2,374,655	335,932	383,700	12,235	1,642,788	1,417,709

※県営事業地元負担金(街路分)は、次の県事業が対象

- (1)無電柱化推進事業 (2)ウォークギャラリー整備事業 (3)地方特定道路整備事業(街路)

【費目別不納欠損の状況】

※上段()書は平成23年度実績値

(単位 人、円)

費目	事由	対象人数	不納欠損額	所管課
○一般会計				
市税				
市民税		(1, 206)	(46, 162, 388)	課税課(収税課)
		936	40, 936, 602	
	消滅時効	864	33, 496, 876	
	処分執行停止の継続	25	3, 987, 392	
	無財産等徴収不能	47	3, 452, 334	
固定資産税		(791)	(95, 430, 935)	課税課(収税課)
		749	45, 889, 516	
	消滅時効	711	35, 961, 265	
	処分執行停止の継続	6	530, 500	
	無財産等徴収不能	32	9, 397, 751	
軽自動車税		(811)	(4, 272, 500)	課税課(収税課)
		756	5, 483, 733	
	消滅時効	700	3, 849, 200	
	処分執行停止の継続	15	1, 042, 733	
	無財産等徴収不能	41	591, 800	
都市計画税		(791)	(14, 747, 385)	課税課(収税課)
		749	7, 724, 633	
	消滅時効	711	6, 053, 401	
	処分執行停止の継続	6	89, 300	
	無財産等徴収不能	32	1, 581, 932	
分担金及び負担金				
保育所負担金		(58)	(3, 882, 460)	子ども課
	消滅時効	74	3, 651, 565	
諸収入				
生活保護法第63条返還金		(0)	(0)	生活支援課
	消滅時効	4	1, 407, 431	
生活保護法第78条返還金		(0)	(0)	生活支援課
	消滅時効	1	70, 000	
一般会計 計		(3, 660)	(165, 811, 498)	
		3, 269	105, 163, 480	
○国民健康保険特別会計				
国民健康保険料				
国民健康保険料		(1, 385)	(131, 966, 722)	医療保険課
		1, 046	96, 919, 200	
	消滅時効	1, 046	96, 919, 200	
国民健康保険税				
国民健康保険税		(53)	(5, 336, 100)	医療保険課
		32	5, 653, 400	
	消滅時効	32	5, 653, 400	
国民健康保険特別会計 計		(1, 438)	(137, 302, 822)	
		1, 078	102, 572, 600	

費 目	事 由	対 象 人 数	不 納 欠 損 額	所 管 課
○後期高齢者医療特別会計				
後期高齢者医療保険料				
後期高齢者医療保険料		(29)	(822,440)	医療保険課
		19	516,462	
	消滅時効	19	516,462	
○介護保険特別会計				
保険料				
介護保険料		(314)	(7,784,600)	介護保険課
		272	7,751,820	
	消滅時効	272	7,751,820	
○農業集落排水特別会計				
使用料及び手数料				
荘地区過年度使用料		(1)	(13,300)	料金課
	消滅時効	2	4,200	
西地区過年度使用料		(1)	(8,000)	料金課
	消滅時効	2	4,200	